

官報

號外

明治二十五年十二月二十二日 木曜日 內閣官報局

第四回衆議院議事速記録第十八號

明治二十五年十二月二十一日(水曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十八號 明治二十五年十二月二十一日

午後一時開議

第一 豫算案

第二 取引所法案(政府提出)

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 外國工藝觀察員派遣建議案(島田三郎君外三名提出)

第五 貯蓄銀行條例廢止法律案(小坂善之助君外一名提出) 第一讀會

第六 日本銀行課稅法案(石田貫之助君外三名提出) 第一讀會

第七 日本銀行條例改正案(石田貫之助君外三名提出) 第一讀會

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ開會致シマス

(水野書記官長朗讀)

明治二十四年四月一日ヨリ同二十五年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財產増減異動目錄ヲ政府ヨリ送付セラレタリ

政府提出ニ係ル商法及商法施行條例中改正並施行法律案ヲ貴族院ヨリ送付セラレタリ

天春文衛君ヨリ本會川改修工事ノ件ニ付、工藤行幹君百萬梅治君武市安哉君ヨリ北海道施設ノ方針ニ關シ政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

本會川改修工事ニ付質問

水會川改修工事ニ付左ノ件々ヲ質問ス

第一 昨明治二十四年十月ノ震災ニ付水會堤長長二川沿岸地方ノ地盤陥落ニヨリテ生スル震災前後平水水量ノ差違如何

第二 水會堤長二川注水口ニ於ケル震災前後潮水干満ノ差違如何

第三 前二項ニ於ケル水量ノ差違果シテ之レアリトセハ其影響ハ一時ノモノナルヤ將タ永久ニ及ホスモノナルヤ如何

第四 前各項質問ノ如ク増減ノ差違永久ニ及ホスモノトスレハ水會堤長長三川改修工事設計上ニ變更ヲ來サ、ルヤ如何

右至急答辯アラントヲ望ム

明治二十五年十二月二十日

質問者 天春 文衛

贊成者 伊東 祐賢

外三十五名

質問書

一 第三期議會ニ於テ河野廣中外一名ヨリ提出セル北海道殖民開拓施設方針

ノ質問ニ對スル政府ノ答辯ハ要スルニ從來屢々施設ノ方針ヲ變更セシハ

衆議院議事速記録第十八號

明治二十五年十二月二十一日

議長ノ報告

必要ヨリ生セシト云フニ過キス然レトモ既往二十年間ニ於テ殆ント五千萬圓ナル巨額ノ國費ヲ投セシニモ拘ハラス其成績ノ甚タ見ルヘキ者ナキハ畢竟政府ハ從來北海道ニ對スル施設ノ針路其當ヲ得サルニ源因スル者ト云ハサルヲ得ス果シテ然ラハ向後政府ニ於テ北海道ニ對スル行政ノ組織如何ニ改良スル見込ナルヤ又如何ナル方法ヲ以テ拓地殖民ノ實效ヲ期スル見込ナルヤ

一 北海道集治監ハ明治十四年ニ創置シ爾來益々之ヲ擴張ヲ計リ今ヤ北海道ノ三集治監ニ要スル費用ハ實ニ五拾六萬餘圓ノ多キニ達セリ然ルニ尙ホ明治二十六年年度豫算ニ於テ十勝分監新營費四萬九千六百八拾餘圓ヲ繼續費トシテ要求セラレタリ是ニ依リテ之ヲ觀レハ今後政府ハ益々進シテ北海道ニ集治監ヲ増設セントスル者ノ如シ然ラハ政府ハ北海道ニ囚徒ヲ移サルハ如何ナル理由ナルヤ且ツ飽迄集治監ノ囚徒ヲ以テ拓地殖民ノ實效ヲ期スル見込ナルヤ又囚徒ノ出獄シテ北海道ニ業ヲ營ム者逐年増加スルモ將來ノ拓殖上ニ障害ナキ見込ナルヤ

一 北海道炭鐵鑛鐵道會社ナル者ハ其資本金六百五拾萬圓ニシテ其內鐵道ノ資本金五百萬圓ニ對シ政府ヨリ其利益ヲ補助スルニヨリ該會社ハ炭鑛ニ限リ非常ノ廉價ニ運搬シテ他ノ炭鑛ト競争シ隨テ他ノ炭鑛ノ價格ヲ妨害シ而シテ運賃廉價ノ爲メニ生スル鐵道ノ損失ハ政府ノ補助金ヲ以テ之ヲ填充スル所云フ然ルトキハ炭鑛鐵道會社ナル者ハ一方ニハ他ノ炭鑛ト競争シテ得ル所ノ利益ハ自ラ之ヲ收メ一方ノ損失ハ政府ノ補助金ヲ以テ之ヲ補充スルニ依リ炭山ニ關スル資金ニ對シテハ敢テ政府ヨリ補助スルノ名目ナシト雖モ其實炭山ニ關スル資本金五百五拾萬圓ニ對シテモ其政府ヨリ補助スルモノト同一一般ノ結果ナリ果シテ然ルヤ否ヤ

一 北海道ニ在ル會社ニシテ政府ノ補助ヲ受クル者四アリ(炭鑛鐵道會社ヲ除ク)曰ク北海道製糖會社北海道紋別製糖會社北海道札幌製糖會社北海道興產會社是ナリ而シテ此四會社中數年前ヨリ開業セシモ未タ一金ノ利益アルナク現ニ二十六年度ノ豫算ニ於テモ四會社資本金ノ總額ニ對シ悉ク政府ヨリ補助スルノ豫定ナリ是ニ依テ之ヲ見レハ右四會社ハ向後幾年間ヲ期スルモ到底其利益ヲ見ル能ハスシテ政府ヨリ補助スル豫約ノ期限ノ充ツルト同時ニ悉ク破滅スルニ至ラントスル者ノ如シ政府ハ果シテ此四會社ヲシテ後來長ク繼續セシム從テ北海道ノ物產ヲ増殖セシムルノ見込アルヤ果シテ然ラハ今後幾年間ヲ期シテ其目的ヲ達セシムルヤ北海道土地貧下及拂下ノ處分其當ヲ得サル者數多アリ之レト云フニ拓地殖民上ニ妨害ハ未タ其處分ヲ爲サス現ニ即今出願中ノ者四萬七千餘通ナルモ北海道廳ハ未タ其處理スル見込ナリヤ

一 政府カ北海道ニ屯田兵ヲ置カレシ所以ノ者ハ畢竟北海道ハ帝國北門ノ鎖鑰ナルヲ以テ屯田兵ノ制ヲ設ケ一面ハ北門ノ兵備ヲ嚴シ一面ハ拓殖ノ業ヲ爲サントスル外ナカルヘシ其豫望スル所或ハ美ナルカ如シト雖トモ

今ヤ其結果タル殆ント反對ニ出テ屯田兵ノ效用ハ到底北海道ノ警備ヲ完
フスルニ足ラサルノミナラス兵役滿期後ハ此極要ノ地ヲ如何トスル乎又
却テ移民ノ拓殖ヲ妨クルノ實況アリト云フ然レニモ拘ハラス政府ハ
益屯田兵ヲ擴張シテ北門鎮鑰ノ警備ヲ全フシ併セテ拓殖ノ實效ヲ期スル
見込ナルヤ或ハ更ニ警備ノ方法ヲ設クル見込ナキヤ
右議院法第四十八條ニ據リ提出ス
明治二十五年十二月二十一日

提出者 工藤行幹

外二名

賛成者 小笠原貞信

外三十二名

鈴木萬次郎君野出鎬三郎君ヨリ自家用料酒製造稅法案ヲ、神樂知常君立川
雲平君水落簡君津田守彦君武者傳二郎君牛場卓藏君魚住逸治君五十嵐力助
君熊谷孫六郎君安東九華君有友正親君朝倉親爲君鹽田與造君内藤利八君ヨ
リ生絲検査所法案ヲ、中村彌六君ヨリ日本銀行ニ關スル建議案ヲ、鈴木萬
次郎君牧朴眞君福田久松君ヨリ昆布輸出稅免除法律案ヲ提出セラレタリ
海軍改革建議案審查特別委員ニ杉田定一君江原素六君小林樟雄君尾崎行雄
君犬養毅君柴四朗君中村彌六君牛場卓藏君石原半右衛門君ヲ指名セリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ニ掛リマス

○百萬梅治君(四十二番) 一寸北海道質問ノ趣意ヲ說明……

○議長(星亨君) 宜シ

(百萬梅治君演壇ニ登ル)

○小西甚之助君(九十三番) 緊急動議ヲ提出致シタウゴザイマス

○議長(星亨君) 今質問ノ事ニ就イテ説明スルコトガアルサウデス

○小西甚之助君(九十三番) ヲノ後トデドウゾ

○百萬梅治君(四十二番) 此北海道ノ事ニ就キマシテ質問書ヲ提出致シマシ
タガ、簡單ニ質問ノ趣意ヲ一言致サウト思ヒマス、デ此度私共ガ提出致シマシ
タ所ノ質問ノ點ハ北海道施政ノ方針北海道集治監北海道炭礦鐵道會社ノ件、
又北海道ニ在ル所ノ此炭礦鐵道會社ヲ除イタ所ノ外、四會社ハ對シテ補助
ヲ致シテ居ル所ノコトニ就イテ質問致シマシタ、又一ツハ北海道土地處分
ノ件屯田兵ノ件、此六ツノ件ヲ政府ニ對シテ質問ヲ致シタイト思ヒマス、
尤モ此六ツノ要點ハ北海道拓地植民上ニ餘程關係致シテ重要ナル質問デゴ
ザイマスルカラ、政府ハ是迄御答辯ニナル様ナ、質問者ノ唯口ヲ塞グバエ
ト云フ様ナ御答辯ニナラズシテ、願クハ責任ヲ擔フテ御答辯ニナランコトヲ
前以テ希望シテ置キマス、ソレデ此北海道ノ施政ノ方針ニ就キマシテハ諸君
モ御承知ノ通り此第三議會ニ於キマシテ河野廣中君又工藤行幹君ヨリ政府ニ
對シテ質問ヲ致シマシタコトガゴザイマスルガ、其質問ニ對シテ政府ガ如何
ナル答辯ヲ爲シタカト申シマスルト、政府ノ答辯ハ唯漠然タル質問者ノ口ヲ
塞グバエイト云フ様ナ答辯ノ仕方デアル、我々ハ斯ノ如キ答辯デハドウシテ
モ満足シ且ツ了解スルコトガ出來ナイデゴザイマスルカラ、茲ニ重ネテ此施
政ノ方針ニ就イテ質問ヲ致ス次第デゴザイマス、而シテ此施政ノ方針ト云フ

モノニ就キマシテ諸君モ度々述べラレマスル通り、政府ノ北海道ノ施政ノ方
針ハ從來ノ方針ハ度々變更致シテ來ッテ居ル、此方針ニ就イテ政府ガ此變更
ヲ致シタノハ必要ヨリ致シタモノデアルト云フコトデゴザイマスカラ、是
ハ最早既往ニ屬シタモノデゴザイマスカラ今更質問ヲ要スル次第デモゴザ
イマセヌガ、將來ニ對シテ政府ガ如何スル見込デアルカト云フコトヲ質問
ヲ致シタイデアリマス、其所以ト云フモノハ即チ北海道今日ノ有様ト云フ
モノハドウデゴザイマスルカ、諸君モ御承知ノ通り北海道廳ノ施政ト云フ
モノハ、此拓地植民ノ事業ト云フモノニ殊ニ最モ注意ヲ致サンケレバナラ
ズ、又地方一般ノ行政モ處理シナケレバナラヌ、又集治監モアル、地方
稅……、徵稅等モアル、警察ノ方モアル、實ニ北海道ノ此行政ノ組織ト
云フモノハ其事多岐ニ涉ッテ實ニ煩雜ヲ來シテ居ル有様デゴザイマスルカ
ラ、此行政ノ組織ヲ更ヘマシテ、政府ハ宜シク行政ノ組織ヲ更ヘンケレバ
ナラナイト思ヒマス、然ルニ未ダ其行政ノ組織ノ改革ニモ著手ニナラズ
シテ北海道ノ緊急ナル拓地植民ノ事業舉ラズ、又自ラ地方行政ノ一般ノ事
務モ滯滞ヲ生ズルト云フ様ナ有様デゴザイマスルカラ、政府ハ此行政組織
ヲ改革致サナケレバナラヌト思フニ、今以テ此行政組織ノ改革ノ無イハ
ドウ云フ譯デアルカ、又十分ニ改革ヲ將來ナサルヤ否ヤト云フ要點デゴ
ザイマスル、又此將來ノ拓地植民ノ事業ハドウスルト云フコトハ、第三期
ノ時ニ質問ヲ致シマシタ時ニ政府ガ如何ナル答辯ガアツタカト申シマス
ト、其政府ノ答辯ハ將來ハ此國家經濟ノ發達スルニ從ッテ、民業ノ保護ヲ止
メテ公共事業ヲ處理セントスル、斯ウ云フコトニ外ナラナイ、斯ノ如キ答辯
ハ實ハ政府ガ御答辯ニナラナクテモ、政治ノ方針ヲ致シマシテハ斯ノ如キ答
辯ヲナサラナケレバナラナイ、斯ウ云フ譯然トシタ答辯ハ政府ノ方針ニ就
ナサレデモ知ッテ居ル、斯ウ云フ質問ヲ致シマシタモノハナカラウト思
ヒマス、即チ此拓地植民ノ事業ヲ舉ゲルニ於キマシテハ、今日世ノ中ニ八釜シ
ク言フテ居ル所ノ或ハ縱橫ニ鐵道ヲ敷クトカ、又土地ヲ拓クヲ先キニスル
カ、何トカ此政府ガ方針ヲ立テ一定ノ方針ヲ立テ、サウシテ此方針ニ
所謂著手致サンケレバナラヌコト、思フ、然レバ政府ニ質問ヲ致スト誠ニ
漠然タル答辯ノミデアル、然レバ政府ガ此方針ガ立ッテ居ルカ立ッテ居ナイ
カ、立ッテ居ルナラバ茲ニ明瞭ノ御答辯ニナルコトヲ希望致ス次第デゴザイ
マス、立ッテ居ラネバ致方ガナイガ、是ガ第一北海道ノ施政ノ方針ニ對スル
質問ノ要點デゴザイマス、ソレカラ第二即チ北海道集治監デゴザイマス
ガ、諸君ノ御承知ノ通り此集治監ト云フモノハ明治十四年ニ創設セラレマシ
テ以來、今日マデハ幾ド此集治監ニ經費ヲ費シタコトガ五拾六萬餘圓ノ經
費ヲ費シテ居ル、而シテ本年ハドウデアルカト云フニ、本年ノ豫算ニ於テ十
勝分監ノ費用四萬九千六百餘圓ト云フモノヲ求メラレタル、是ニ由ッテ見
マスルト云フト是ハ政府ガ北海道……、將來北海道ノ拓地植民ノ事業ヲ舉
致シマスル、サウシテ此集治監ニ依ッテ北海道ノ拓地植民ノ事業ヲ舉
トセラレル様ナ方針デアル、ソレデ私ハ思フニ北海道ニ此集治監ヲ置キ
内地ノ囚徒ヲ移スト云フコトハ、表面上ハ誠ニ内地ノ囚徒ヲ遣ッテ北海道
ノ拓地植民ノ事業ヲ舉ゲルト云フコトハ、表面ハ誠ニ内地ノ囚徒ヲ遣ッテ北海
道ニ囚徒ヲ移スト云フコトハ、北海道ノ拓地上ニ於テハ拓地植民上ニ於テハ

私ハ妨害ニナルデハナイカト云フ觀念ヲ起スデゴザイマス、ソレハ何ゼナラ
バト申シマスルト、成程此集治監ヲ移シテサウシテ置イテ囚徒ヲ移シテ、其
囚徒ヲ工夫ノ代リニ使ヒマスレバ、工金所謂囚徒ノ工金ニ至リマシテハ或
安クナルカモ知レマセヌケレドモ、此工金ノ安クナシテ使フモノ、利益ト云
フハ北海道廳カ又炭礦鐵道會社トカ云フ様ナニ三ノモノガ利益ガアルカモ
知レマセヌケレドモ、到底此囚徒ヲ以テ一般ノ工夫ノ必要ニ充テルト云フ
コトハ私ハ出來マシト思フデゴザイマス、然ラバ北海道一般ノタメニ
取テハ此囚徒ヲ移シテサウシテ工夫ニ使フト云フコトハ、一般ノ住民ヨリ
見レバ工夫ノ妨害ニナラウト私ハ思フデゴザイマス、又此囚徒ガ北海道ニ
アルガタメニ北海道ハ丁度所謂人間ノ住ム所デハナイ、所謂鬼ノ住ム所カト
云フ觀念ヲ懷イテ、北海道ニ移住シヤウト云フ所ノ念慮アル者ヲシテ、北海
道ハ誠ニ罪人カ又ハ浪人カ、サウ云フ者ノ外ハ移ル所デナイト云フ所謂内地
ノ移住心アル者ヲシテ觀念ヲ起サシムルコトガアラウト存シマスルカラ、是
ハ北海道ニ集治監ヲ移シテ擴張スルコトハ私ノ意見カラ見ルト甚ダ不賛成デ
アル、然ルニ政府ハ此處ニ集治監ヲ起シテ益、擴張シナケレバナラヌト云フ
趣意ハ如何ナル趣意デアルカ、ドウ云フ理由ガアル、斯ウ云フコトノ簡單ニ
申シマスルト質問ノ趣意デゴザイマス、ソレカラ第一ノ炭礦鐵道會
社デゴザイマス……第三デゴザイマスルガ、此炭礦鐵道會社ハ諸君モ御承
知ノ通り幌內郡春別ノ鑛山ノ採掘ト鐵道事業ヲ兼ネテ營業スル所ノ炭礦鐵
道會社デゴザイマス、而シテ此炭礦鐵道會社ノ資本ト云フモノハ諸君モ
御承知ノ通り六百五十萬圓デアル、サウシテ政府ガ此炭礦鐵道會社ニ補
助シテ居ルコトハ、諸君モ御承知ノ通り炭礦鐵道會社中ノ鐵道ノ保護ヲ政府
ガ補助ヲ致シテ居ル、其鐵道等ガドウ云フ鐵道デアルカ諸君モ御承知ノ通り、
百萬圓デアルカ、其鐵道等ガドウ云フ鐵道デアルカ諸君モ御承知ノ通り、
室蘭カラ空知太ニ到ル即チ鐵道並ニ同線路カラタタ張空知ニアル所ノ炭山ニ
達スル所ノ一支援、此支援ニ向テ政府ガ即チ五百萬圓ニ對シテ補助ヲ致シ
テ居ル、シテ見マスルト此鐵道ノ事業ト炭礦ノ事業ト云フモノニハ、自ラ區
別ガアルト云フハ分ッテ居リマス、然ルニ炭礦鐵道會社ハ如何ナル事ヲ致シ
居ルカト申シマスルト、此炭礦鐵道會社ハ諸君ノ御承知ノ通りニ隨分八釜シ
イ、我國庫ニ隨分是ガ影響ノアル誠ニ世ノ中ニ八釜シイ所ノ炭礦鐵道會社
デアル、然ルニ尙ホ又此炭礦鐵道會社ガ此炭礦ニ限ッテ極ク廉價ニ致シテ
サウシテ石炭ヲ載セテ、所謂此鐵道ニ載セマシテサウシテ他ノ炭礦ト競争ヲ
致シテ、極ク炭礦ノ價格ト云フモノ、世界日本一般ノ炭礦ノ價格ト云フモノ
ヲ妨害致シマス、シテ見マスルト炭礦ハ成程鐵道ハ、炭礦會社ノ鐵道ハ此五
朱ノ補助ガアルタメニ、所謂炭礦ノ方ニ幾ラ補助ガアルタメニ、此炭礦トソレカラ
鐵道トノ關係ト云フモノガ九デ密約ヲ致シテ、其補助ヲ炭礦ニ補助スルカ
一般デアラウト私ハ思フデゴザイマス、斯ノ如ク自ラ事業ノ分ッテ居ル以上
ニハ、自然ニ經濟ニモ區別ヲ致サンケリヤナラヌモノデアル、然ルニ經濟ヲ
一ニシテ斯ノ如キコトヲサレト云フハ、私ハ政府カラ補助シテ居ル補助ノ
趣意ニ違フデアラウト思ヒマス、政府ガ此一點ニ於テドウ云フ御考デアリ
マスルカ、此一點モ質問致シタイト思ヒマス、又北海道ハ諸君モ御承知ノ
通り、炭礦會社ヲ除イテ其他ニ製麻會社、札幌製糖會社、北海道製糖會社

鑛山社、北海道鑛山社此四會鑛ニ對シ、政府ガ五朱ノ補助ヲシテ居ルモ、若シ
五朱ノ補助ヲシテ居ル此四會社ノ有様ハドウカト云フト、從來ト云ヘバ餘程
遠イウナ話デアリマスガサウデハゴザリマセヌ、是迄四會社ノ有様ヲ聞キ
マスルト利益ガ無い、全ク此政府ノ補助ガアルタメニ、此四會社ト云フモノ
ハ立ッテ居ル有様デアリマス、シテ見ルト補助ノ年限ガ切レ、バ自然ニ此四會
社ハ潰レテ往クヤウナ今日ノ有様デアリマス、然ルニ政府ガ尙ホ是デモ補助
ヲシテ此四會社ヲ維持シ、且ツ北海道ノ產業ヲ發達サセ……若シ此四會社ガ
此補助ノ年限ガ切レタ時分ニハ、政府ガ此四會社ノミデ居ル、物產事業ニ
サル積リデアリマス、又此北海道ノ四會社ノミデ居ル、物產事業ニ
對シテドウ云フ御考デアリカ、此四會社ノ補助年限ノ切レタ時分ニハドウ云
フコトニスルカ、質問致シタイノデゴザリマス
又此土地處分ノ件デゴザリマスガ、此土地處分ノ事ニ就イテハ諸君モ御承知
ノ通り、大變八釜シク云フテ居リマス、特ニ土地處分ノ當ヲ得ナイガタメニ拓
地植民上ニ餘程妨害ニナッテ居ルト云フコトハ、諸君ハ既ニ私ノ今日申ス迄モ
無イコトデゴザリマスガ、而シテ北海道ノ土地ノ有様ヲ見マスルト、ドウデア
ルカト申シマスルト、北海道ノ土地ノ今日迄賣買約定済ノモノガ殆ド二十何
萬町ニナッテ居ル、又而シテ今日北海道ノ既ニ開墾地ニナッテ居ルノガドウ
デアルカト言ヘバ、田畑ヲ合シテ四萬餘町步デアリマスノミナラズ、或ハ上
川トカ札幌トカ總テ北海道ノ緊要ナル土地ノ宜イ所ノ地面ハ、今日悉ク賣買
約定或ハ拂下許可ニナッタトカ、或ハ貸下許可ニナッタトカ、總テモウ約定
濟ガ出來テ仕舞ッテ居リマス、之ガタメニ眞ニ北海道ニ移リ北海道ノ拓地植
民……北海道ノ拓地植民ヲシヤウト云フ所ノ念慮ノアル者ハ、之レカタメニ
其出來ナイト云フヤウナ今日ノ有様ヲ來シテ居リマス、故ニ政府ハ之ニ向ッ
テ何カ處置ヲシナケレバナラヌト思フ、願フニ此結果ト云フモノハ明治十九
年ノ閣令ノ所謂北海道土地拂下規則ノ、不完全カラ來タモノデアラウト思
フ……思フガ之ニ對シテハ矢張政府ガ法律デモ拵ヘテ、此土地ノ處分ト云フ
モノヲ早クナサラスト、此北海道ノ拓地植民ノタメニ餘程妨害ニナルデア
ラウト思ヒマス、然ルニ第三期議會ニ於テ河野君等ノ質問ニ對シテ、政府カ
ラ如何ナル御答辯ニナッタカト申シマスルト、此土地ノ貸下ヲ許
可シタモノニシテ、當初ノ目的ヲ達セザルモノ亦少シトナサマシテ、十
九年閣令ニ依ッテ追々處分セントスル、追々處分セントスル云フヤウナ御答
辯デアリマス、此土地處分法ガ全ク決了致サナケレバ、全ク北海道ノ拓地植
民事業ハ遂ニ舉グルコトガ出來マセヌ、然ルニ政府ガ追々處分セントスルト云
フハ、誠ニ之ニ不届千萬ノ御答辯デアルト思ヒマス、故ニ此事ハ何カ早
ク法律デモ設ケラレテ、サウシテ早く御處置ヲナサレナイト、北海道ノ拓
地植民上ニ大變非常ニ妨害ニナルダラウト思ヒマス、故ニ是ハ如何ナル
處分ヲ以テ此處置ヲナサル御考デアルカト云フノ質問デゴザリマス、又第六
ニハ屯田兵ノ事デゴザリマス、屯田兵ハ諸君ノ御承知ノ通り屯田條例ト云
フモノガ出來マシテ、サウシテ所謂兵農ヲ兼ネサセタ所ノ名稱デアリマス、
實ニ一方ハ北海道ノ警備ヲ全ウシ、一方ハ北海道ノ拓地植民ヲ全ウスルト
云フコトハ、其名目ニ至ッテハ實ニ是ハ宜イ名目デアル、併ナガラ其實地ニ
就イテ取調ベテ見マスレバ、到底北海道ノ北門ノ鎮鑛ト云フ所ノ此警備ニハ、
此屯田兵ハ取ルニ足ラナカラウト思ヒマス、殊ニ道理上カラ申シテモ所謂屯

田兵ハ兵ト農ト云フモノハ、生産的ノモノト不生産的ノモノト兼備シテヤル
ト云フハ極ク宜イ話デアリマスガ、實地地理上ニ於テハ是ハ適シナイコトデ
アラウト思ヒマスノミナラス、其今日ハ屯田兵ノ有様ハドウデアアルカト申
シマスレバ、實ニ北海道ノ警備トスルニ足ラナイノミナラス、此餘程拓地植
民上ニ却テ移住スル者ノ妨害トナツテ居ルト、私ハ聞イテ居リマス、是ハ
精シク申シマセヌガ、就イテハモウ一ツ私ハ此處ニ質問ヲ要サンケレバナラ
ヌ事ガアル、諸君モ御承知ノ通り屯田兵ハ兵役年限ト云フモノガアル、兵役
年限ガゴザリマシテ、屯田兵ハ北海道警備ノ地ニ於テ、北海道ヲ護ラシメル
ト云フ屯田兵モアリマス、然ルニ兵役年限ガ過ギルト、其極要ノ地ヲ政府ハ
如何ナル如何ニシテ警備セントスルノ意デアアルカ、兵役中ハ成程屯田兵ガ
其極要ノ地ヲ護ラナケレバナラヌ義務ガアルケレドモ、兵役ガ済ミタナラバ、
其北海道ノ極要ノ地ト云フ地ヲ護ル義務ノ無イ者デアリマス、シテ見レ
バ其極要ノ地ヲ如何ニシテ政府ハ警備ナサル御考デアリマス、此邊ハ私ハド
ウシテモ了解ニ苦シム所デアリマス、故ニ此質問ヲ提出致シマシタ次第デ
ザリマス、是ハ最モ極ク簡單ニ申シマシタ次第デゴザリマシテ、精シク申上
ゲマスルト随分長クナリマス故極ク簡單ニ摘ンデ置キマスガ、此質問ハ、
私ノ質問ノ六點ハ餘程北海道將來ノ拓地植民ノ上ニ關係シテ居ラウト思ヒマ
スカラ十分明瞭ニ御答辯アラント希望致シマスノミナラス、此質問ニ對
シテハ政府ニ早ク答辯ヲ願ヒマスノハ豫算上ニモ關係ガアラウト思ヒマス
カ、政府ニハ早ク此事ニ就イテ御答辯アラント希望致シマス

○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ノ豫算ニ掛リマス、就イテハ諸君ニ
御諮リ申スノハ過日此豫算案ニ就イテ全院委員會ガ開カレテ居ラト、其時間
ガ參リマシタメニ大藏省ノ部分ニ於テ其質問ハ止メラレタヤウニ成ツテ居
リマスガ、今日ハ尙ホ引續イテ全院委員會ヲ開イテ相當ト考ヘマスノデゴザ
リマス

(然リミ異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○尾崎行雄君(百五十二番) 全院委員會ヲ開クノ必要ノナイコトハ過日開カ
レタ結果ヲ見テ既ニ明カデアルト思フ、アノ位ノ質問ナラ矢張本會ニ於テ出
來ル、又全院委員會ヲ開イテモ無用、無用ト言フテハ無禮デアアルガ、前
日無用ノ質問杯ガ多ク出タノハ何人モ御承知デアラウカラ、今日ハ直グニ本
議ニ取掛ランコトヲ希望致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○鈴木萬次郎君(六十一番) 大藏省ノ部丈ガ半分ニ成ツテ居リマスカラ之ヲ
仕舞ツテソレカラ後トデ全院委員會ヲ開ザル方ガ宜シカラウト思ヒマス、(無
用々々ト呼ブ者アリ) サウデナイト半デ之ヲ止メルハ餘程可笑イカラ、私ハ大
藏省丈ノ質問ヲ終ヘテ、ソコデ以テ全院委員會ヲ閉ヅルト云フコトニシタイ
ト思ヒマス

○井上角五郎君(七十八番) 過日ノ全院委員會ノ結果デ見マシテモ成程質問
ヲ始メレバ質問ハ段々殖エテ來ル、質問ヲシナイトスレバ殆ド無シデモ濟ム
ヤウナ有様デハゴザリマスケレドモ、折角アノヤウニ全院委員會ヲ開イテ中
途ニ成ツテ居ルコトデゴザリマスカラ、本員ハ全院委員會ヲ開ク開カヌト云
フ議論ハ強チ立テマセヌガ、兎モ角質問ヲ續ケテ一應總體ヲ一ト通リ濟マス
ト云フコトニセラレテ、其上本議ニ取掛ルコトヲ希望致シマス

○議長(星亨君) ソレデヤ決ヲ採リマス、全院委員會ヲ開クト云フニ贊成ノ
方モゴザリマスカラシテ即チ一應決ヲ採ツテ其上ニ致シマセウ、全院委員會
ヲ開クト云フコトニ贊成ノ方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、左スレバ全院委員會ハ過日丈デ閉ヅルト
云フコトニ致シマス

○小西甚之助君(九十三番) 私ハ本日ノ議事日程ノ第一ニ取掛ルニ先ツテ緊
急ノ動議ガゴザリマスノデ議事日程ノ變換ノコトヲ述ベヤウト思ヒマス
カ、ドウカ登壇ヲ許サレンコトヲ望ミマス

○議長(星亨君) 緊急ノ動議デスカ
○小西甚之助君(九十三番) サウデス
○議長(星亨君) 宜シウゴザリマスガ、ソレデハ直ニ一ト通り仰ヤツテ贊成
ガナケレバ本題ニ這入ラント考ヘマスガ

○小西甚之助君(九十三番) 宜シイ、是ニテ一ト通り申スコトニ致シマス、
私ガ此場合即チ政府ガ出シタル豫算案ヲ議スルニ當リマシテ此日程ヲ變更シ
テ政府ノ同意ヲ求ムルコトヲ煩ヒガアルニモ拘ラズ、茲ニ日程ヲ變更シヤウ
ト云フハ實ニ萬止ムヲ得ザル事柄ガアルコトデゴザリマス、私ガ議事日程ノ
變更ヲシテ然ル後ニ述ベントスル所ノ緊急動議ナルモノハ何デアアルカト云フ
ニ、即チ此名目ハ豫算ノ再審査ヲ求ムル緊急動議ト云フノデゴザリマス、豫
算ノ再審査ヲ求ムルハ何ノ必要ニ基クカト云フニ即チ故アルコトデゴザリマ
ス、一昨昨豫算委員會ガ本會ニ向ツテ豫算審査ノ結果ヲ報告セラレタルコトデ
ゴザリマスガ、此報告セラレタル所ノ中ニ於テ歲入ノ部ノ末項ニ斯様ナ文字
ガ附記セラレタルデアアル、即チ參考トシテ

原案經常部第二款ニ銃獵稅ニ屬スルモノ、拾三萬貳百五拾圓ヲ編入セリ是
レ本會ノ認メル能ハサル所ナリ故ニ之ヲ刪除セリ而シテ政府ハ更ニ之ヲ第
一款ニ編入シテ提出スヘキコト、思考ス

斯様ナ附記ガアルデアアル、此十三萬二百五十圓ト云フモノハ銃獵稅ニ屬ス
ルモノデアアルガ故ニ、政府ガ原案ノ經常部第二款ニ入レタルモノヲ刪除セ
ラレタト云フハ如何ニモ穩當ノ話デアアル、是ハ如何ニモ刪除セネバナラヌ
コトデアアル、併ナガラ之ヲ刪除シタ止マラズ其創設タル所ノ十三萬二百
五十圓ト云フ金ヲ第一款ニ編入シテ更ニ政府ガ提出スベキモノデアアルト思考
スルト云フニ至ツテハ、大ニ異議ヲ唱ヘナケレバナラヌコトデゴザリマス、

此十三萬二百五十圓ト云フモノハ何ヨリ生シタルモノデアアルカト言ハハ、申
サズトモ即チ銃獵稅ニ屬スルモノデアツテ、又銃獵稅ナルモノハ何ヨリ來ル
モノデアアルカト云ハハ是又申ス迄モナク、夫ノ有名ナル所ノ八十四號ノ勅令
ニ依ツテ發布セラレタル所ノ狩獵規則ニ由ツテ出タル金デアアル、此金ヲ更ニ
政府ガ第一款ニ編入シテ提出セラル、コトガ至當デアラウト云フガ如キモノ
ハ、是レ果シテ其當ヲ得タルモノデアアルカ、本員甚ダ疑ナキ能ハズデゴザリ
マス、本月十三日ノ會議ニ於テ如何ナル決定ヲ致シタカ、即チ此決定ヤ本員
今猶ホ腦底ニ記憶シテ忘レザルモノデアアル、即チ本年八十四號勅令
狩獵規則ハ憲法ニ反違セルヲ以テ當初ヨリ其效力ヲ有スヘキモノニアラス
依テ本院ハ政府發布ヲ非認スルコトヲ決議ス、ト斯様ニ決議シタモノデア
ル、然ラバ此決議ヲシタル瞬間ニ於テ既ニ本會ノ眼中ニハ狩獵規則ナルモノ

ノハ無イノデアル、既ニ狩獵規則ガ無イトスルナラバ此狩獵規則ヨリ生ジタル所ノ十三萬二百五十圓ヲ第二款ヨリ刪除スルコトハ宜シイガ、更ニ之ヲ第一款ニ組入レテ政府ハ提出スベキモノデアルト思考スルニ至ッテハ實ニ決議ノ精神ニ悖ルモノト言ハナケレバナラヌノデアル、既ニ狩獵規則ハ本院ノ眼中ニ無イモノデアル、然ラバ眼中ニ無イ所ノ狩獵規則ヨリ由ッテ來ル此金額ヲ、第一款ニサヘ編入シテ來ルナラバ、認ムベキモノデアルト言ハヌバカリニ此豫算委員ガ決定シタノハ、去ル十三日ノ會議ニ於テ決議シタル趣意ニ背反スル報告デアルト言ハナケレバナラヌ、是レ私ガ豫算委員ニ向ッテ更ニ審査ヲ爲サシムルコトヲ必要トスル第一ノ所以デアル、次ハ去ル十三日ノ會議ニ於テ決議シタル精神ヨリシテ考ヘレバ、此議會ノ眼中ニハ鳥獸獵稅ナルモノハ憲法ニ違反シテアルモノナルガ故ニ其效力ヲ有シナイトシタナラバ、矢張夫ノ鳥獸獵稅免許料ノ存在シテ居ルト云フコトハ……

○東尾平太郎君(二百七十三番) 論旨ハ分ッテ居ルカラ緊急ニスルヤ否ヤヲ極メテ貫ヒタイ

○小西甚之助君(九十三番) ……認メテアルニモ拘ラズ、此鳥獸獵稅免許規則ヨリ生ズル金額ハ此第一款中ニ洩レテ居ルノハ如何ナルコトデアルカ、其始末ヲ付ケナケレバナラヌニ其始末ヲ付ケナケレバナラヌ、以上述べタル理由ニ據レバ一ハ即チ本會ノ演說ノ……決議ノ旨趣ニ反シ、一ハ即チ本會ノ眼中ニ在ル所ノ鳥獸獵稅免許料ノ洩レテ居ル所ヲ、其儘ニ言ハナイト云フコトハ審査ノ全キヲ缺クモノデアル、斯様ナニツノ理由ガゴザイマスカラ、更ニ豫算委員ニ移シテ、適當ナル所ノ再審査ヲ爲サシメントスル斯様ナル緊急動議ヲ出サンガタメニ、茲ニ議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(星亨君) 九十三番一寸伺ヒマスガ、其今ノ貴方ノ動議ハ衆議院規則ノ第三百二十四條ニ據ッテ譯デゴザリマスカ

○小西甚之助君(九十三番) 此條ニハ據ラナイノデゴザリマス

○議長(星亨君) サウスルト何ニ據ル

○小西甚之助君(九十三番) 何モ據ル所ノ條ハゴザイマセヌケレドモ、苟モ本會ノ意思ニ背反スル所ノ報告ヲ爲ストスレバ、條理上之ガ再審査ヲ爲サシムルコトハ決シテ不當ノモノデナイト思フガ故ニ、此議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(星亨君) 尙ホ伺ヒマスガ、是ハ全體ヲ委員ニ付スルト云フノデスカ、査定案所謂修正案全體ヲモウ一應委員ニ付スルノデスカ

○小西甚之助君(九十三番) サウデハナイ、全ク歳入ノ部又ヲ再審査ヲサセ

○議長(星亨君) サウスルト百三十四條ニ據リハシマイカト思ヒマス

○小西甚之助君(九十三番) 百三十四條ニ據ルノハ即チ豫算ノ會議ニ掛ッタ時分ニ始テ再審査ヲ必要トスル、私ガ述べタノハ豫算會議ニ掛ラナイ前ニ於テ此不當ナルコトヲ認メタガ故ニ唯今之ヲ遣ラウト言フノデス

○議長(星亨君) サウスルト先ツ賛成ガアレバ格別デゴザイマスガ、百三十四條ニ據ラナケレバサウ云フコトハ出來ナイ、若シ百三十四條ニ據ルナラ其場所ニ往ッタ時其動議ガ出ルナラ格別、未ダ其場所ニ至ラナイ中ニ出シテ

モ效ガナイト私ハ思ヒマス
○小西甚之助君(九十三番) 私ハ其場所ニ至ッテ始テ必要ヲ見出シタナラバ其場所ニ至ッテ出シテモ宜シイガ、其場所ニ至ラヌ前ニ不當ノコトヲ認メタナラバ何ゾ安閑ト場所ニ際會スルコトヲ待ツヲ要セヌト云フ趣意デゴザイマス

○中野武營君(百五十九番) 議長

○議長(星亨君) 質問デスカ

○中野武營君(二百五十九番) 此事ハ歳入ノ事ニ就イテ疑ヲ起シテ居ル所カラ出タノデゴザイマス

○議長(星亨君) マダ問題ニナッテ居ラヌ

○中野武營君(二百五十九番) 一應辯ジテ置イタラ……

○議長(星亨君) 反對ヲ許シマセヌ、マダ問題ニナッテ居ラヌ

○議長(星亨君) 相當ノ時間中ニ賛成者ガゴザイマセヌカラ今ノ動議ハ成立タヌト存ジマス

○議長(星亨君) 是ヨリ豫算案ノ大體ニ就イテ討論ヲナスッタテ宜カラウト思ヒマス、各省等ハ何レ其順序ニ據リマスガ大體ニ就イテ……

第一 豫算案

○井上角五郎君(七十八番) 最早質問ハ全ク全院委員會モ開カヌカラ御止メニナリマシタカ

○議長(星亨君) 成ルベク止メタイ、在レバ仕方ガナイ

○井上角五郎君(七十八番) 各省ニ往ッテカラデモ問ハレマスカ

○議長(星亨君) 問ハレマス、二百二十九番

○牧朴眞君(二百二十九番) 私ハ討論スル前ニ質問ヲシタイコトガアリマス

○議長(星亨君) 誰ニ

○牧朴眞君(二百二十九番) 豫算ノ大體ニ就イテ……

○議長(星亨君) 併シ委員長ニ向ッテマスカ、政府委員ニ向ッテマスカ

○牧朴眞君(二百二十九番) 政府委員ニ向ッテ質問ヲシタイノデス

○議長(星亨君) 宜シイ

○牧朴眞君(二百二十九番) 私ガ政府委員ニ對シテ、質問ヲ致シタイト云フノハ外デモアリマセヌ、此豫算委員ニ於テ修正シタル所ノ修正案、此修正案ノ修正ニ就イテ一昨日全院委員會ニ於テハ其大要ヲ質問シマシテ、豫算委員案ニ就イテハ第一官制ニ立入り、俸給令ヲ變更セントスルノ事實ガゴザイマス、ソレハドウ云フ所デアルカト申シマスレバ、第一樞密院行政裁判所其他各省ノ大臣次官局長其外種々税關長トカ檢察長トカ種々此官制ニ立入り、或ハ俸給令ヲ變更シテ居ル所ノ條項ガゴザイマス、ソレカラ此文部省ノ部ニ於テモ、第二第四第五ノ三高等中學校ヲ廢スル……削除シテアルト云フコトハ、即チ是レ官制ヲ變更スルモノデアルト信ジマス、之ニ就キマシテハ一昨日ハ全院委員會ニ於テ、委員長デゴザイマシタカ主査デアリマシタカノ説明モアリマシタガ、全ク豫算委員ノ査定方針ト云フノハ、唯目安ヲ立デタモノデア

ルト云フヤウナ説明モゴザイマシタ、又或ル主査ノ説明ニ依ルト大臣ノ俸給ハ五千圓トシ、局長ノ俸給ハ何圓トスルト云フガ如キ所カラト斯ウ説明ヲセ

ラレタ人モアリ、又樞密院ノ俸給額ニ就テ質問致シテ見マシタ所ガ、今日ノ樞密院ト云フモノハ此儘デハ連モ組織スルコトハ出来ナイ、實際ドウシテモ此樞密院ノ官制ヲ變更シ、樞密院ノ俸給額ヲ變更セザレバ、今日ノ通りニ樞密院ヲ成立セシムルコトハ決シテ出来ナイ結果ニナツテ居リマス、是ニ依ッテ考ヘテ見マスレバ、此修正案ハ官制ニ立入ッテ俸給額ヲ變更シテ居ルト云フコトハ申シマセヌケレドモ、第一ニ樞密院或ハ行政裁判所、其他豫算査定方針ニ書イテアリマス所ニ據ッテ見ルト、其人ニ依ッテ俸給額ヲ減削シ俸給額ヲ變更スルト云フコトハ、恰モ官制ニ立入リ俸給額ヲ變更セントスルモノデアルト認定致シマス、然ルニ此事ニ就キマシテ政府委員ニ説明ヲ求メタイト思ヒマスノハ、政府ハ第一議會ニ於テ、即チ第一議會ハドウ云フ時デアッタカト云ヘバ、憲法ヲ發布セラレタ年デアアル、其最初ノ議會其最初ノ國會ニ於テ政府ノ國務大臣ハ如何ナルコトヲ議場ニ注意ヲサレタカト申シマスレバ、私ハ其時ノ書類ヲ持ッテ居リマスコトデアリマスガ、丁度今日ノ此第四議會ノ豫算委員ノ修正ヲシマシタ所ノ方針ト、第一議會ニ於テ修正シマシタ所ノ方針トハ、少シク變ッテ居リマスガ、所謂大同小異デ其方針丈ハ格別變ッテ居ル所ハゴザイマセヌ、其結果モ亦變ッテ居ルコトハゴザイマセヌ、然ルニ第一議會ニ於テ所謂憲法ヲ發布セラレテ初メ議會ヲ開カレテ、又憲法ヲ起草シタ所ノ墨痕モ未ダ乾カヌト云フ時期ニ於テ、其時ニハ如何ナルコトノ解釋ヲ以テ此議會ニ注意ヲサレタカト申シマスルニ、當時ノ速記録ニモゴザイマスガ、即チ明治二十四年二月十六日ニ松方大藏大臣ハ此議場ニ於テ演說ヲセラレタ、其演說中ニ如何ナルコトガゴザイマスルカト云ヘバ、抑豫算ハ政府ガ次ノ年度ノ歳入額ト歳出額トヲ豫定シマシテ議會ノ協賛ヲ經テ財務ノ確實ヲ期スルモノデアリマシテ政府ハ其調制及執行ノ責任ヲ擔ヒマスル譯デゴザイマスル議會ハ又監督者ノ位置ニ立ツ者デゴザイマセウ然ル直ニ官制ニ立入リ其官制ヲ立ツルガ如キハ之ヲ議會正當ノ職分ト申シマセウカ又穩當ノ處置トナスコトヲ得マスルデゴザイマセウカ査定案ハ云々」斯ウ云フコトニ書イテアル、即チ此官制ニ立入ルコトハ議會ニ於テ官制ニ立入ルコトハ宜シクナイト云フコトヲ注意ヲサレタカト申シマス、ソレカラ又議會ノ終リノ頃ニ臨ミマシテ、政府ハ此議會ニ對シテ覆牒ヲ付シタ、其覆牒ヲサレタ所ノ文中ニ如何ナルコトガアルカト云ヘバ「政府ハ之ヲ審查スルニ修正案ハ官制變更セントスルノ點ニ於テ豫算權ヲ超越シタリ」ト斯ウ云フコトガ書イテアル、ソレカラ更ニ其事ニ就キマシテハ島田三郎君並ニ高田早苗君ヨリ質問セラレタ、其質問ノ答辯ニハ如何ナルコトガ書イテアルカト云ヘバ、官制軍制ノ君主ノ大權ニ屬スルコトハ、我帝國憲法ノ明文ニ於テ既ニ一點ノ疑義ヲ殘サシラシメタリ、若シ豫算議定權ニ依リテ年々官制又ハ軍制ヲ變動スルコトヲ企ツルコトヲ得ハ、行政ノ大權ハ實際ニ於テ全ク豫算議定者ノ手ニ移ラントス」斯ウ云フコトヲ政府ハ言フテ居ル、(野出鎬三郎君何ヲ質問シテ居ルカ分ラヌト呼ブ)段々申上ゲナケレバ分ラヌデセウ、少シク御聽ヲ願ヒタイ、此大藏大臣ガ此議場ニ向ッテ注意ヲ與ヘラレ、並ニ總理大臣ガ再ビ斯ノ如キ覆牒ヲサレタ所ノ意味ニ依ッテ考ヘテ見マスレバ、所謂官制軍制及法律ヲ變更スルト云フガ如キコトニ至ッテハ決シテ出来ナイコトデアアル、若モ此豫算ニ於テ之ヲ爲サントスレバ、第一ニ法律勅令ト云フモノヲ變更シ——法律勅令ヲ變更シテ其結果ニ依ッテ、始テ豫算ヲ調制スルコトガ出来ルノデ、斯ウ

云フ意味ニ解釋スルヨリ外ハナイ、然ルニ今日マデ既ニ豫算ニ就イテハ丁度二回モ會議ヲ開イテ居リマスコトデアリマス、ケレドモ政府ハ第一議會ニ於テ憲法ヲ解釋サレタ時ニハ、所謂官制ニ立入リ俸給額ニ立入ルコトハ、議會ニ於テハ爲スベキコトデアリト云ハレタコトハ明カナルコトデアアル、然ルニ今日ノ豫算委員ノ修正案ハ、第一期議會ノ修正案ト大同小異デ、其方針ニ至ッテハ決シテ變ハツタコトハナイ、現ニ事實ニ於テ三中學校ヲ廢セルガ如キハ官制ヲ變更スルモノデアアル、樞密院行政裁判所ノ俸給額ヲ變更セントスルモノデアアル、此俸給額ヲ變更シ官制ヲ變更セントスル豫算委員ノ修正案ニ對シテハ、政府ハ今日如何ナル解釋ヲシテ居ラル、デゴザイマセウカ、第一期議會ニ於テハ十分注意セラレタガ今日ハ何モ注意ハナイ、我々ハ第一期議會ハ憲法制定ノ年デゴザイマスカラ、其起草ヲシタ内閣ガ憲法ヲ解釋シタノデゴザイマスカラ、未ダ他ノ空氣ノ這入ラザル墨痕ノ乾カザル時ニ於テ、解釋ヲ致シタノデゴザイマスカラ餘程間違ハレナイ解釋デアリサウナモノデアラウ、果シテ間違ヒノナイトスレバ此第四議會ニ於テモ何トカアリサウナモノデアアル、然ルニ今日迄何タル御注意ガナイガ此豫算ニ就イテハ如何ナル御見込デゴザイマスカ、政府ノ意見ヲ御示シテ願ヒタイ

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 本件ニ就キマシテハ屢々、委員會ニ於キマシテ既ニ主務大臣モ出席致シ政府委員カラモ注意ヲ促シテ、此ノ如キ急劇ナル削減ハ往クマイト云フコトハ屢々、注意シテアリマス、而シテ六十七條ニ關スル分ハ何レ議定ノ上政府ニ向ッテ議會カラ同意ヲ求メラル、カラ、今日ヨリ往キマセヌト言ッテモ仕方ガナイ話デアリマスカラ、十分諸君ニ於テ討議ヲ盡サレテ同意ヲ求メラルンコトヲ希望シマス、然ルニ屢々、本議會ニ於テ注意シマシタル通り餘程急劇ナル削減デ餘程六ツカシイコトニ違ヒナイト思ヒマス、此點ニ於テハ前ノ第一議會ニ申シタコトハ、一點モ差ハナイカラ左様ニ御承知ヲ願ヒタイ

○牧朴眞君(二百二十九番) 一言申シテ置キタウゴザイマス

○議長(星亨君) 二百二十九番宜イデスガ、通告ガシテアルニ默ッテシテハ通告ノ效ガナクナル、質問デスカ

○牧朴眞君(二百二十九番) 質問シマス

○議長(星亨君) 前置ガ長クテ困ル

○牧朴眞君(二百二十九番) 唯確メテ置キタイ、此修正案ニ議決ヲシテ同意不同意ヲ求ムレバ宜シイト云フ御見込デゴザイマスカ

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) ドウ云フコトデアリマシタカ、今一遍

○牧朴眞君(二百二十九番) 同意不同意ヲ、修正案ニ於テ議シタ上ニ於テ同意ヲ求ムルトキハ、同意スベキモノハ同意シ不同意ノモノハ不同意トスレバ、別段今日ニ於テ注意シナイデモ宜シイト云フノデアリマスカ

○政府委員(田尻稻次郎君) イニ注意ハ屢々致シマシタ

○牧朴眞君(二百二十九番) 議院内ニ於テデスナ

○政府委員(田尻稻次郎君) 左様

○牧朴眞君(二百二十九番) ソレデ宜シイ

(牧朴眞君演壇ニ登ル)

ト茲ニ書イテアル、斯ノ如ク政府ガ要求シタルモノニ向ッテ、之ヲ廢除削減
シヤウト云フ考ハドコカラ起ルカト見マスルト、此積算ヲ増減シヤウト云
フ考デ、若シ之ニ減削ヲ加ヘントスルニ於テハ、先ヅ俸給ノ積リ方ガ多イ
ト云フコトヲ見ルカ、又ハ茲ニ積リ出シタル所ノ官吏ノ人數ガ其省其廳ニ於
ケル事務ノ繁閑等ニ依ッテ考ヘテ見レバ、人數ガ多ウ過ギルトカ云フコト
ニ考フ下スノデアル、人數ガ多イト見マスレバ、人數ノ上カラモ、其積算シタ
ル俸給ノ中ヨリ除クト云フコトヲ考ヘ、給俸令ニ於テ定メタル定額ガ多イ高
ク失スルガタメニ、斯ノ如キ積算ガ出來タト見レバ、其俸給令ニ定メタル定
額ノ上ニ就イテモ、目安ヲ減シテ低ク之ニ乗スルト云フ考ヲスルノデアル、
斯ノ如キ考ヲ以テ審査シシナカッタキニハ、俸給諸給ノ上ニ於テ、六十七
條ニ許サレテ居ル所ノ廢除シ又ハ削減スルコトヲ得ズト云フ此規定ヲ用フル
コトガ出來ナイノデアル、既ニ俸給ニ向ッテ斯ノ如キ考ヲ以テ審査シシテ、
之ヲ廢除スルコトモ削減スルコトモ出來ルト云フ權利ガアレバ少シモ差支ガ
ナイ、唯茲ニ制限ノアルト云フコトハ、我が述ブルガ如キ考ヲ以テ茲ニ審査
ヲ得ルト云フ手續ヲ爲スノデアル……

○湯本義憲君(二百六十八番) 總體論ト云フハ何レノ條項ニ據ッテ遺ルノデ
アルカ、豫算ヲ議スルハ一議會デ終ルノデアリマスガ、或ハ大體論ト云フト
一議會ト心得テ宜シウゴザリマスガ、甚ダ豫算會議ハ是迄ノ例ハ……
○議長(星亨君) 其事ハ今言ハヌデモ宜イデセウ、是ガ濟ンダ後ト云フタ
ラ宜イデセウ

○湯本義憲君(二百六十八番) 何分分ラヌデス
○議長(星亨君) 宜シイ後ト云フ

○岩崎萬次郎君(百四十五番) ……唯一ツノ制限ト云フモノハ審査ヲ遂ゲタ
以上六十七條ノ規定ノモノハ政府ニ向ッテ同意ヲ求ムルト云フノガ制限デア
ル、政府ガ同意ヲシサレバツレバ差支ガ無イノデアル、併ナガラ初メヨリ
俸給令ノ改正ヲ企テ、審査スルモノデハナイ、專ラ經費ノ上ノ必要ト不必要
トヲ考ヘテ審査スルモノデゴザリマスガ、其削減ヲシタ結果ト致シテ政
府ハ之ニ同意スル場合ニ至リマスレバ俸給令ヲ政府ガ改正セネバナラヌト
云フ場合ニ到著スルコトガゴザリマセウ、是ハ政府ガ同意ヲシタ以上ノ結果
デアツテ、我々ガ茲ニ審査スル所ハ六十七條ノ規程ニ毫モ……、少シモ觸
ル、コトハナイノデアル、而シテ夫ノ文部省ニ於テ中學校ノ第二或ハ第四第五
ト云フモノ、經費ヲ止メ、夫ノ經費ヲ削減スルコト云フ上ニ就イテ官制ニ關係ガ
アルケレドモ、何ゾ豫算委員ガ官制ヲ破壊スルノ考ヲ以テスルモノデハナイ、
豫算委員ト云フモノハ專ラ經費ノ上ニ於テ此經費ヲ茲ニ支出スルコト云フコ
トハ果シテ必要デアアルハ必要デアアル、果シテ此經費ハ今日ソレ丈ノ利
益ヲ得ルヤ否ヤト云フ考ヲ下シテ、若シ不必要デアアル不利益デアアルト云ヘバ
ソレヲ削リノデアル、其削減シタ結果トシテ或ハ官制ヲ改革セネバナラヌト
云フ場合ニ到著スルカモ知レヌ、ソレハ政府ガ總テ此豫算案ガ審議決定ノ後
同意ヲ表シタル以上ハ、總テ審査ノ結果ト致シテ俸給令ニ改正ヲ要スベキモ
ノハ改正スルデアラウ、官制ノ上ニ結果及ンデ之ガ改革ヲ爲サネバナラヌコ
トニ立至ッタナラバ政府ハ之ヲ改革スルコトデアル、決シテ此經費ヲ審査ス
ル上ニ於テ廢除削減ヲシタリト云フテモ、六十七條ノ規程ニ於テ既ニ廢除削

減ヲ爲シ……、廢除削減ヲ爲スコトヲ得ルト云フコトノ規程アル以上ハ決シ
テ妨ゲナイノデアル、殊ニ夫ノ牧君ガ前年ノ内閣ノサレタ事務ヲ柄トシテ本
年豫算委員ノ査定セラレタル査定案ヲ破ラントスルカ、彼ヲ持出シテ引證シ
テ政府ニ質問シ政府ヲシテ其通りデアルト言ハシメントシタルモノデア
ル、併ナガラ政府ハ既ニ夫ノ豫算委員會ニ於テモ斯ノ如キ削減ハ大ニ困ルト言ハ
レタ、ケレドモ憲法ノ規程ニ背反スル俸給令ニ抵觸スルツレハナラヌゾト
云フコトハ一言モ言ハヌノデアル、既ニ我々ノ持論タル所ニ大ニ進化シ既ニ
政府モ之ニ同意ヲ表セントシツ、アル今日ニナリ來ッタノデアル、殊更ニ反
對アルカノ如キ前内閣ガ解釋ヲ誤リタルモノヲ引來ッテ、尙ホ今日ノ政府ニ
向ッテ其解釋ヲ誤ラセントスルガ如キニ至ッテハ實ニ奇怪ノ至リト云フ、殊
ニ憲法ノ解釋法律ノ解釋ヲ當局者タル政府ニ向ッテ求ムルト云フガ如キ、反
對論者ノ見弱キコトハ實ニ驚クニ堪ヘタル次第デア
ル、前ニ陳ベタル所ノ俸給或ハ廳費雜給等ノ削減ノ上ニ就イテ不當デア
リト云フコトヲ辯ズル、此俸給或ハ廳費雜給等ニ於テ削減シタル額ハ如何ナル額デア
ルカト云ヘバ、委員長ノ報告ノ當時申シテ居リマスカラ私ハ重複ヲ厭フテ是ヲ
申サヌ、申サヌガ其割合ニ就イテ申シテ見マスルト俸給ノ割合ハ申シマ
セヌ、是ハ特ニ論ズル積リデア
ル、修繕費ト云フモノ、上ニ就イテハ凡ソ一
割ノ外ハ減ゼヌ、何ゾ之ヲ割引ニシタノデハゴザリマセヌガ、總體減シタ所
ノ額ニ就イテ割合ヲ見レバ一割ヨリ減シテ居ラヌ、雜給モ凡ソ一割ヲ減シテ
居ル、廳費ニ於テ二割以上ニ進ンデ居リマス、抑、是等ノ減殺ハ皆理窟ガ
アツテ一々審査ヲシテ減殺ヲシタモノデア
ル、割引等ヲナシタモノデハゴザ
リマセヌ、此理窟ヲ詳細ニ私ガ申述ベマスレバ諸君ハ必シモ甘諾ヲスルノデ
アル、先ヅ此中ニ就イテ何ガ一番額ガ多イカト云ヘバ、過日委員長ガ申サレ
マシタ通り俸給ノ額デゴザリマス、俸給額ハ其減殺額ヲ申シマスレバ二百十
四萬五千餘ト云フコトニナツテ居リマス、是ガ一番多イノデゴザリマスカラ、
若シ政府ガ言ハレタル通り、此ノ如キ減殺ハ行政機關ノ運轉ヲ滑カニスルコ
トガ出來ヌト云フ若シ政府ノ考デア
ルツレバ、第一ニ此官吏ノ俸給ヲ減殺
シタルタメニ行政機關ノ運轉ヲ滑カニスルコトガ出來ヌト云フ理窟ニ歸スル
デア
ラウト思フ、ソレ故ニ私ハ外ノ一割或ハ五分ニ當ル位ノ減殺ノコトニ就
イテ細カナコトハ申シマセヌガ、俸給ノ上ニ就イテ二百十四萬幾ラヲ減シタ
ト申シマシテモ、決シテ妨ゲナイト云フコトハ私ノ言ヲ跋ヲ思フ、此官
吏ノ俸給ガ我國ニ於テハ多額デア
ルツレバ、最早私ガ多辯ヲ費サズシテ
人ノ知ル所デア
ル、其實際ニ於キマシテモ官吏社會ノ生計ノ有様ト此普通ノ
民間ノ生計ノ有様トニ就イテ考ヘテ見マスレバ、最早私ガ多辯ヲ費サズシテ
官吏社會ニ於テ其生計ノ度ニ餘裕ガアルト云フコトハ明カナル事實デア
ル、是等ノコトヲ澤山述立レバ幾ラモゴザリマスガ、是等ノコトハ姑ク措キマ
シテ、先ヅ我國官吏ノ俸給ノ高イト云フコトハ海外諸國ニ於テ官吏ノ俸給ヲ
支給スルト云フ上ニハ如何ナル差ノアルモノデア
ルカト云フコトヲ私ハ試ニ
調べタモノガゴザリマス、デ此俸給ト云フモノハ何ヲ本ト致シテ俸給ノ定額
ヲ定ムルカト申シマスルト、我國ニ於テハ如何ナルモノヲ以テ標準ト致シテ
此定額ヲ定メタモノカハ知ラヌガ、先ヅ我が考ニ據リマスレバ、俸給ノ額ヲ
定ムルト云フモノハ何レノ國ト雖モ其國ノ生活ノ程度ニ依ッテ標準ガ立ツ
即チソレニ依ッテ定ムルト云フ所ノモノデア
ラウト思フ、ソレ故ニ自分ハ我

國ノ生活ノ程度ト又海外二三諸國ノ生活ノ程度ト云フモノヲ認ベテ之ヲ比較シ、而シテ我國官吏ノ俸給ト夫ノ二三諸國ノ官吏ノ俸給ト比較シテ致シテ私ガ見タコトガゴザリマス、其生活ノ度ヲ先ヅ見ルト云フ方法ハ種々ゴザリマセウケレドモ、先ヅ此度ヲ見ルニ就イテハ自分ガ考ニハ其生活費、生活費ヲ要スル者ヨリ直接ニ關係ヲ致シテ定マル所ノ此勞動者ノ賃銀等ニ依ッテ見ルト云フコトモ生活ノ度ヲ見ル一ノ法デアル、或ハ此一番下宿料ト云フヤウナ一番下等ノ普通下宿料ト云フヤウナモノ、上ニ就イテ見或ハ實際其一人ノ生活費ノ上ニ就イテ見ルト云フヤウナ事ガ、生活ノ程度ヲ計ル第一ノ方法デアラウト思ヒマシタガ故ニ、先ヅ我國ノ勞動者ノ賃銀ノ平均セルモノヲ見マシタ所ガ、我國一番最近ノ統計ニ依ッテ調ベタル所ノモノハ、十九錢五厘ト云フコトニ成ッテ居リマス、英國佛國或ハ米國ト云フヤウナモノニ就イテ見マスルト、勞動者ノ一人平均ノ額ハ英國ガ八十錢是レハ凡ソデゴザイマス、端ハ少シハ違ヒマセウケレドモ、佛國ガ七十錢デアル、米國ガ二圓二十錢デアル、シテ見ルト我國ノ十九錢五厘ヨリモ四倍或ハ三倍半、或ハ十倍以上ノ多キニ進ンデ居ルノデゴザイマス、又下等普通ノ下宿料ト云フヤウナモノニ就イテ見レバ、我國今日ノ有様ニ就イテハ、先ヅ五圓位ガ何レノ地ニ往キマシテモ下等普通ノ下宿料デゴザイマス、然ルニ今述ベマシタ所ノ海外二三諸國ニ於テハ、何レノ地ニ於テモ二十圓以上ヲ要スルコトデゴザイマス、是モ四倍或ハ三倍ノ多キニ進ンデ居ルノデアリマス、其他生活費ヲ見マス、是ガ盡ク其國ヲ平均シタル所ノ生活費ニ就イテ茂吉利ハ五十錢四厘、佛國ガ四十三錢三厘米國ガ五十八錢弱デアル、我國ハ未ダ統計上ニ就イテ此平均シタルモノハゴザリマセウケレドモ、自分ガ算當ヲ致シマスレバ矢張是等ノモノニ就イテモ夫ノ諸國ノ二三倍……三四倍多キニ進ンデ居ル、是等ノ點ニ就イテ見マスルト、我國ハ、夫ノ英吉利佛蘭西米國ハ四倍以上ノ生活ノ度ガ高イト云フコトハ判斷ヲ得ラレルノデアリマス、此ノ如ク判斷シテ官吏ノ給料ハ如何デアアルカト云フコトニ就イテ、先ヅ大臣ノ給料ト局長ノ給料トヲ我國ノヲ取ッテ、彼ノ國ノ大臣局長ニ類スルモノ、比較ヲ取ッテモノデゴザイマス、我國ノ大臣ハ今日ノ制度ニ於テハ六千圓ヲ取ッテ居ル、サウシテ見マスルト我國生活ノ度ニ相當シタル六千圓デアアルト云フコトデアッタナラバ、夫ノ英佛米ノ如キハ四倍以上ニ超ヘテ居ルトスレバ、六千圓ト四倍四六二萬四千圓ノ大臣ノ俸給デナケレバナラヌ、然ルニ英ノ如キ佛ノ如キ米ノ如キハ、……英ハ一萬圓デアアル、佛ハ一萬二千圓、米ハ八千圓デアアルト云フヤウニ誠ニ少ナクナッテ居リマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見レバ、我大臣ノ俸給ヲシテ之ニ比例スレバ三千圓カツコラニ成ルノデアアル、然ルニ五千圓丈ノ目安ニスルト云フコトハ決シテ削減、大削減ト云フコトデハナイ、又局長ノ類ニ致シマシテモ我國ノモノハ二千七百五十圓ノ平均ニ成ッテ居リマスガ夫ノ英佛米ニ於テハ四千圓五千圓四千五百圓ト云フコトニ成ッテ居リマス、又若シ生活ノ度ヨリ四倍高イトスレバ夫ノ局長ノ如キ英ハ一萬一千圓ト成ルベク、佛ハ四千六百圓、米ハ一萬一千圓ト成ル、云フコトニ成ラナケレバナラヌ、然ルニ彼ノ國ニ於テハ英ハ四千圓、佛ガ五千圓、米ガ四千五百圓ト云フコトニ成ッテ居リマス、是等ノ點カラ考ヘテ見マシタナラバ、生活ノ度ヨリ官吏俸給額ヲ定ムルノガ相當ノコトデアルトシテ、之ヲ定メマスストキハ我國ノ官吏ノ俸給ノ多額ナルト云フコトハ至極ノコトデアル、ソレ故ニ我

ガ豫算ヲ審議シテ削減ヲ——政費ヲ節減スル上ニ就イテ一番之ガ削減ヲ大ナラシメタノハ、官吏ノ俸給ノ上ニシタノデアアル、此事ハ決シテ我衆議院獨リ官吏ノ俸給ヲ減セントシタモノデナクシテ、既ニ貴族院ニ於テモ過日建議案ガ出タノデアアリマス、貴族院ノ如キ此官吏ノ俸給ヲ減額ヲセントスル所ノモノハ、決シテ衆議院ガ減額スル如ク少ナイモノデハナイ、諸君ハ既ニ速記録ニ於テ御承知デゴザイマセウガ、夫ノ貴族院ニ於テ建議案ノ決定サレタ所ノモノハ夫ノ官吏ノ俸給ヲシテ我國歳入ノ七分ノ一ニ足ラシムデ、其總體ノ上ヨリシテ四百五十萬圓以上ヲ減ズルト云フ考ヲ持ッテ居ル建議案デアリマス、然ルニ我衆議院ノ豫算査定ノ結果ト云フモノハ、二百十四萬圓餘ニ過ギヌノデアリマス、夫ノ貴族院ニ於テハ四百五十萬圓以上ヲ減額スル如キ案ガ出タト云フ、是等ノ點カラ考ヘテ見マシテモ官吏ノ俸給ノ減額ヲスル、此減額ヲセラレタ所ノ俸給ノ審査案ニ向ッテ政府ガ同意セスト云フコトハ決シテナイ答ノモノデアアル、アレハ同意スルト云フコトデアラウト今日信ジテ疑ハヌデアアル、併ナガラ政府ニ於テハ官吏ノ人數ヲ澤山持チ俸給額ヲ澤山與ヘテ、之ヲ使フト云フコトハ大ニ便利ナコトデアアルシ、又此豫算査定案ノ如キ減額ヲサレタ結果ト云フモノハ、詰リ政府ハ俸給額ヲ改ムルト云フコトハ、ナケレバナラヌノデアアル、之ヲ改メテ官吏ノ俸給額ヲ減ズルト云フコトハ、種々ノ關係ニ於テ情實ニ於テ、餘程政府ノ苦シム所デゴザイマセウ、併ナガラ我が前ニ述ブル如ク官吏ノ俸給ノ多額ナルコト、又官吏ノ俸給ヲ減額スルト云フコトガ輿論ナリト云フコトハ、衆議院ノミナラズ貴族院ニ於テモ、此ノ如ク多額ノ減額ヲ加ヘントスル如キ今日ノ傾向ヲ以テ見マスレバ、政府ハ茲ニ斷行シテ此査定案ニ贊成ヲセラル、ト云フ決意アラフコトハ、私ガ今日豫メ政府ニ望ンデ置クノデアアル、ソレデ修繕費デアアル旅費デアアル雜給デアアル廳費デアアルト云フヤウナモノヲ削減シタ、標準目安ハ種々様々ナ事ヲ茲ニ列ベ立ツルコトハ諸君ガ已ニ御聽キ厭キノコトデアリマセウシ、又幾ラモ論者ガアリマスカラ、尙ホ其場合ニ於テ詳細ニ御論ジニ成ルコトデゴザイマセウカラ私ハ先ツ是等ノコトハ略シマシテ、大抵一割或ハ五分ニシカ當ラヌト云フヤウナ此削減ト云フモノハ、當局者ガ總テ物ヲ取扱フ上ニ於テ、物ヲ處置スル上ニ於テ少シ注意ヲ加ヘマスレバ決シテ此位ノ經濟ハ爲シ得ナイコトデハナイト私ハ信ジマスカラ、詳細ノ減額シマシタ理由等ハ茲ニクダシク述ベナイデ置キマス、而シテ此本年ノ削減額ノ甚ダ私ハ少ナキニ失スルト云フ位ノ考ヲ持ッテ居リマス、私ノ調査シタ所ニ依リマス、ソレハドウシテサウ云フ考ヲ持ッテ置カト云フ、先ヅ第一期議會ニ於テハ我々ノ方針ト調ベタル方針ヲ執ッテ調ベタル所ノ査定案ハ破レマシタケレドモ、色々ナ場合ヨリシテ夫ノ特別委員ノ特別修正案ガ成立ッタノデゴザイマス、此特別修正案ノ成立ッタルト云フコトハ決シテ議院全體ノ意思ニ適フモノデハゴザイマセヌ、併シ決議ヲシタカラ、表面適ッタルハ云ヘマセウケレドモ、其當時ニ於テハ政府ガ自分ノ自由自在ニ減額ハ都合好ク、夫ノ特別修正ハ出來タノデゴザイマスカラ、政府ガ彼ヲ以テ相當ナル且ツ十分餘地ヲ與ヘタル夫ノ當時ノ減額ハ先ヅ經常部ノ上ニ就イテ私ハ言ヒマスルガ、第一ノ特別委員修正案ニ於テ政府ガ都合ノ好ク思フ様ニ其減額ヲ加ヘタ額ト云フモノハ、經常部ニ於テ四百三十八萬五千圓ト云フ額デゴザイマス、處デ本年ハ大變ニ査

定案ノ上ニ於テハ豫算ニ切込シタト云フ諸君ノ御感シガアルカモ知レヌ、或ハ
 政府ハ思フカモ知レヌ、然レドモ本年ノ經常部ニ於テ減殺ヲ加ヘタル額ハ幾
 ラデアルカト云ヒマスルト四百九十九萬八千餘圓デアリマス、サウシマスル
 ト經常部ノ上ニ於テドレ程、政府ガ自由自在ニ思フ儘都合好イ様ニシタ修正額
 ヨリモドレ丈澤山減シタカト申シマス、六十一萬圓ヨリ外ニ減殺ガ殖エタ
 ノデハゴザイマセヌ、實ニ此位ノ減殺ト云フモノハ私ハ多キニ失セズシテ寧
 ロ低キニ失セリト思フ位デアル、斯ノ如ク申シマスルト斯ウ云フ理窟ヲ持
 テ來ル、ツレハ夫ノ特別修正委員ノ減殺額ト本年ノ減殺額トヲ單ニ比較シタ
 ラサウデアル、ゲレドモ政府ガ本年ノ要求案ト云フモノハ第一期ノ二十四年
 度ノ要求額ヨリモ經常部ニ於テ減シテ出シタト斯ウ云フノデアル、サウ云フ
 コトヲ言ハレルデアラウ、如何ニモ減シテ出シタニハ相逢ナイ、幾ラ減シテ
 出シタカト申シマスルト、本年ノ要求額ト明治二十四年度ノ豫算ノ要求額ト
 ノ差ハ百五十萬以上至ク減殺ヲシテゴザイマス、ケレドモ此減殺ハ政府ガ總
 テノコトヨリ政費節減ヲ行フト云フ考ヨリ、ツレハ幾分カ考モゴザイマシタ
 ラウケレドモ、減シタモノデハゴザイマセヌ、百五十萬圓ノ内デ百萬圓以上
 ト云フモノハ二十四年度ノ豫算ノ上ニ於テ既ニ仕事ガ竣ツテ、モウ其翌年二十
 五年度二十六年度ト云フモノニハ些ットモ使フコトノ出來ナイ要ラナイ金ガ
 アツタノデアル、要ラナイ目ガ出來テ來タノデアル、其モウ二十四年度ニ竣
 タ仕事其上カラ百萬圓以上ト云フモノハ減ズルコトニナツテ居ルノデゴザイ
 マスカラ、政府ガ二十四年度ノ要求額ヨリ本年ノ要求額ガ實際減殺ヲシテ出
 シタト云フモノハ五十萬圓某ニ過ギヌノデゴザイマス

以上述べブルガ如キコトヲ諸君ガ能ク御了承ニナクナラバ、決シテ本年ノ豫算額ガ餘リ切込ミ過ギタト云フ様ナ御觀念ハナイコトデアル、經常部ニ於テ僅ニ六十一萬圓ニ過ギナイコトデゴザイマスル、是ニ由ツテ之ヲ觀タナラバ如何ニ政府ガ今日迄ノ行掛リトシ或ハ少シノ感情ト致シテ同意シ難イト云フ考ヲ持ツカハ知レヌガ、併ナガラ政府モ第一期以來此衆議院ニ於ケル所ノ方針、政費節減民力休養ト云フ此一事ヲ以テ査定シタル所ノ豫算審査ノ結果トシテ、此減額ハ政府ガ果シテ立憲の動作ヲナサシムルト云フ筈デ、施政ノ方針ニ云ハレタル所ノ此言葉ノ精神ヲ有スルナラバ、國民ノ曾テ希望シタル所ノモノヲ此議會ガ終始一徹貫イテ斯ノ如キ豫算ノ査定ノ出來タ結果ヲ見テモ、果シテ立憲の動作ヲナサシムルト云フ政府デアッタナラバ、輿論ヲ重ンズルト云フ政府デアルカラ此輿論ヲ重ンジ、殊ニ我が前ニ述ベルガ如キ第一ニ多額ノ減額ヲシタ俸給額ノ上ニ就イテハ前ニ細カニ述ブルガ如キ道理ガアツテ、貴衆兩院ノ意向同一ニ出テ居ル今日デゴザイマスルカラ、躊躇ナク之ニ同意セラル、ト云フコトハ私ハ切ニ望ムノデアル

萬一ニモ以上ノ如キ道理アルニモ拘ラズ政府ガ之ニ同意セヌトシタナラバドウナルカ、必シモ其結果ヤ豫算不成立ノ結果トナルデアル、此豫算不成立ト云フコトハ政府ノ名譽議會ノ面目デハナイ、國家ノ幸福デハナイ、必シモ國家ノ不幸ヲ見ルト云フコトニナルノデアル、ソレトモ政府ガ今日迄ノ行掛リトシ又今日ノ感情ト致シテ若シ之ニ同意セヌトシ、遂ニ豫算不成立ト云フ甚ダ不結果ヲ見タト致シ、ソレモ止ムヲ得ヌト茲ニ致シテ見タ所ガ、ソレナラバ來年ノ國會ニ於テハ必ズ政府ノ目的ヲ達シ、議會ガ意見ヲ改メテ政府要求ノ通り豫算案ヲ査定スルカト云フタナラバ決シテサウデナイ、最早今日マ

デ第一期議會以來三四回開イタ議會ニ於テ我議會ハ終始一徹ニ出デテ方針ヲ定メ、斯ノ如キマデハ減殺ヲ加ヘルヲ相當ナリト云フコトヲ信シテ居ル議會デゴザイマスルカラ、決シテ政府ノ懷ヒヲ達スルト云フコトハ出來ナイコトデアル、況ヤ以上述べルガ如キ道理アルモノデゴザイマスルカラ、若シ頑固ニモ政府ガ之ニ同意ヲセヌト言フタナラバ、爾來年々歳々此豫算ノ上ニ衝突ヲ來シテ、却ツテ政府ト議會トハ和衷協同ノ實ヲ見ルト云フ様ナコトハ無クシテ益、反抗ノ念慮ヲ持ツテ、其結果ト云フモノハドウ云フ場合ニ立入ルカモ知レヌノデアル、デ是等ノ點ニ迄政府ガ能ク猛省ヲセラレタルナラバ、本年ノ議會ニ於テ此查定案ニハ必シモ賛成ヲ……、同意ヲ表セラル、コトデアラウト私ハ推察ヲシテ居ル、併ナガラ未ダ款項ニ就イテ同意不同意ヲ表スルコト如何ナル點ニ向ツテ同意セヌト云フコトハ未ダ述べラレテゴザイマセヌカラ、私ハ大體上カラ斯ノ如ク論ジテ、款項ノ上ニ就イテハ必シモ同意ヲ表セラル、様ナランコトヲ希望スルガタメニ此大體ノコトヲ述ベテ置クノデアル

デ前ニモ言フガ如ク政府ガ初メ施政ノ方針ヲ云サレタル中ニ就イテ、果シテ百般行政機關ヲシテ立憲的ノ動作ヲナサシムルト云フ精神デゴザイマスルナラバ、即チ政府ハ輿論ヲ重シムル政府デゴザイマスル故ニ、今日マデ第一期第二期第三期第四期ト議會ガ此查定案ノ方針ガ一ツニ出テ、查定案ノ減殺ト云フモノハ殆ド同一ニ歸シテ居ルト云フ此輿論ヲ熟慮セラレテ、之ニ同意セラハ、ト云フコトハ當然デアル、斯ノ如クスルゴツ之ニ同意スルコト即チ政府ガ此和衷協同ノ實ヲ示スト云フモノデアル、又多年此國民ガ希望スル所ノ政費ヲ節減シ得テ民力休養ノ實ヲ舉ゲルノデアル、斯ノ如クシタナラバ國民ヲ致シテ立憲制度ノ效用ヲ知ラシムルノデアル、立憲政體ノ效用ヲ知ラシメタナラバ國民ハ必シモ國家ノタメニ盡スト云フ義務心ヲ奮起セシムルコトガ出來ルノデアル、果シテ斯ノ如クナツタナラバ茲ニ初メテ政府ト民間トノ軋轢ト云フ様ナモノヲ消散シテ和衷協同ノ實ヲ示シ、又民力休養ノ實ヲ舉ゲテ我國ヲシテ益々隆盛ノ運ニ至ラシムルト云フコトハ、期シテ踰ツベキコトデアルト自分ハ信ズルノデアル、ツレ故ニ切ニ望ム、反對論者ノ諸君或ハ政府ハ必シモ能ク猛省セラレテ、此查定案ニ同意ヲ表セラル、コトヲ我ハ希望シテ此壇ヲ降りマス

○湯本義憲君(二百六十八番) 一寸伺ヒマスルガ起立ノ時分ニ大變迷ヒマス
デ一應伺ツテ置キマス、唯今岩崎君牧君ノ御演説ヲサレマシタノヲ見マスル
ト大體デアルト云フコトヲ言ハレ、又議長ガ先刻大體デアルト云フコトデア
リマスルガ、此豫算案ト云フモノハ第一期以來ノ例ヲ見マスルト一度デ了ハ
ル、然ラバ此大體ト云フコトニ就キマスルト第一讀會ト云フヲ開キ、而シテ
第二讀會ト云フヲ更ニ第四議會ニ於テ新規ナ特例ヲ以テナサルコトデアリマ
スカ、然ラザル以上ニハ先ヅ以テ歳入トカ或ハ歳出トカ云フ所ノ項目ニ就イ
テノ御議論ガナケレバナリマセヌ、又例ヘバ唯今ノ所デアツテ見レバ、外務
省ノ部カラ遞信省ノ部マデ、聯關ヲシテ議題トナツタナラバ宜シイノデアル
カ知リマセヌケレドモ、如何ニセシ我々ハ起立ヲ表スル時分ニ大體ニ就イテ
ドウデアルト云フ時孰ニスルガ宜イカ、我々ハ豫算會ニ於テハ一回ニ議決
ヲシテ仕舞ヒマスルコトデアリマスカラ私ノ考ヲ、之ヲ議長ニ伺ツテ置キマ
セヌト、起立ノ時ニ困リマス

○議長(星亨君) 豫算會議ト云フモノハ他ノ會議トハ別ニ區別シテアリマ

© 2007 Pearson Education, Inc. All rights reserved. This publication is protected by copyright. Any unauthorized distribution or reproduction of this work may result in legal action against the individual(s) responsible.

ス、而シテ今迄ノ慣例ニ依レバ先ツ大體ノ事ニ就イテ討論ヲ致シ、而シテ其各款項ニ就イテ決ヲ採ルコトニナツテ居リマス、サウ云フコトニナツテ、一讀會ニ讀會ト云フヤウナ他ノ法律案ノ會議トハ違ツテ居ル

○湯本義憲君(二百六十八番) サウスルト、總體論ハ何ノ必要ガアリマスカ
○議長(星亨君) 總體論ハ何ノ必要ガアルコト云ヘバ、總體ニ論ズルカラ必要ガアル(笑聲起ル)

○湯本義憲君(二百六十八番) 其款項ニ就イテ一議題トスルノハ、是迄ノ例ニナツテ居リマス

○議長(星亨君) イヤサウシヤナイ、今迄ノ例ハ各款項ニ就イテ、先ツ大體ヲ論ジテアルノガ例デアリマス、サウ致シマセヌト云フト是ガ成程、是カラ後ニナツテ査定案ノ如ク全體ヲ變ヘルヤウナコトガ無クナレバ、貴方ノヤウニナルノデゴザリマス、ケレドモ全體豫算ノ政府提出ト、而シテ査定案ト始終違ツテ居ルノデアルカラ、何レ大體ノ議論ト云フモノガナケレバナラヌ譯デゴザリマスカラ、一期以來矢張大體ノ議論ヲシテ、其後各款項ニ就イテ議論ガアリマス

○湯本義憲君(二百六十八番) サウ致シマスルト、大體ニ就イテハ決ヲ採リマセヌ

○議長(星亨君) 採リマセヌ

○湯本義憲君(二百六十八番) ツレナラバ宜シウゴザリマス
(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今ノ岩崎君ノハ希望ヲ御述ベナスツタ譯デアリマスカラ、別ニ……

○議長(星亨君) 田尻君一寸……今此豫算ハ、三時迄ト云フコトノ日程ニナツテ居リマスケレドモ、今日ノ都合ヲ見レバモウ少シ大體論ヲヤツテ仕舞ツタ方ガ宜シイと思ハレマスカラ、時ヲ延バスト云フコトニ致シマスガ、諸君ニ於テ御議論ガアリマセヌカ(贊成々々ノ聲起ル)然ラバ時ヲ延シマス

○政府委員(田尻稻次郎君) 然ラバ續イテ申シマスルガ、別ニドウモ御希望ニ就イテ別段申述アルコトハアリマセヌガ、唯一二件ノ事ヲ申上ゲテ置カナケレバナラヌコトガアリマスルガ、ツレハ御演說中ニ政府モ議會ノ意向ニ依ツテ段々進化したツ、アツテ、サウシテ同意シツ、アルト云フ御言葉ガ漏レタヤウデアリマスルガ、同意スル同意セヌハ政府ノ自由デアリマスル、且ツ又議會ノ議決ヲ尊重スルト云フハ素ヨリ當然ノ話デアリマスルケレドモ、何モ箇モ其通りニナルト云フノモ是レ又往ケヌコトデアリマスル、ツレカラ役人俸給是モ決シテ我國家ハ役員ヲ待遇シテハ居マセヌ、而シテ又各國ノ模範モ段々ト御話デアリマスルガ、外ノ國デモ随分多イノデス、我國ニ比較シマシテ一二ノ例ヲ舉ゲマスルト、亞米利加合衆國デ以テ總理大臣ガ六千三百……六萬三千七百二十一圓(此時尾崎行雄君、亞米利加合衆國ニ總理大臣ト云フ者ガアリマス)

○議長(星亨君) 九十八番
(佐々木正藏君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 九十八番
(佐々木正藏君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 九十八番
(佐々木正藏君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 九十八番
(佐々木正藏君演壇ニ登ル)

○佐々木正藏君(九十八番) 豫算委員諸君ハ、此大部ナル浩瀚ナル豫算案ヲ成規ノ日限内ニ速ニ調査ヲ終ヘラレテ、本會ニ報達致サレタ段ハ私ハ偏ニ其勞ヲ謝シマス、然ルニ此豫算委員ニ於テ修正致サレマシタ所ノ即チ査定案ヲ通覽致シテ見マスルト、何分不十分不合法ナルモノガアルト私ハ考ヘマス、先ツ前論者モ述ベタル如ク、俸給及諸給ノ部分ニ於テハ俸給令ニ直接ニ立入ツテ即チ勅令ト衝突スル關係ガアルト思ヒマス、其箇條ヲ舉ゲテ見マスレバ、即チ樞密院トカ或ハ行政裁判所トカハ、必ズ勅令ト衝突ヲ致シマス、其他モ詳細ニ取調ベマシタナラバ、經濟ノ小サイ所ノ役所ハ、必ズ之ト同様ノ事デアラウト思ヒマス、ツレカラマ一ツ不合法ト思ヒマスノハ、先日豫算委員長ヨリモ述ベラレマシタル如ク收入ノ部ニ於テ、夫ノ統領手數料ト云フモノヲ此手數料ノ部ニ入レテアルノハ穩當デナイ、之ヲ削除致シテ更ニ租稅ノ中ニ一項ヲ設ケテ之ヲ加ヘント致シタ所ガ、即チ議會ハ其款項ヲ新設スルノ權利ハ無イ、即チ行政權ニ立入ルノ嫌ヒガアルカラ止ムヲ得ズ之ヲ省イテ置イタト云フ、果シテ本會ノ經歷上ヨリ云フテモ其通りデアリマス、誠ニ新ニ設ケ新ニ設ケルコト云フコトハ、行政權ノ爲スベキコトデ本會ノ爲スベキ事柄デハ無イ、無論豫算ノ委員長ノ報告ヲ以テ適當ト考ヘマス、然ルニ果シテ豫算委員ニ於テ調査致シタアル所ノガ其通りニ致シテアルカト云フト、此豫算委員ノ調査致シタ所ノ査定案ヲ通讀致シテ見ルト、支出ノ部ニ於テハ既ニ特別會計ノ部分ノ夫ノ第三高等中學校其項目ヲ……項ヲ二ツ程新設致シテアリマス、是ハ即チ純粹ナル不合法ノ査定ト私ハ斷言致シマス、果シテ是ガ合法デアルト云ハレバ、即チ先日豫算委員長河野君ヨリ述ベラレタ所ハ、之ト矛盾スルヤウニナル、前後撞著スルヤウニナルデ、是ハ諸君ニ於テ不合法ト云フコトヲ考ヘラル、デアラウト私ハ思ヒマス、其他……

○川島宇一郎君(八十九番) 唯今御述ノコトハ訂正シテ直グニ差出シマス
○佐々木正藏君(九十八番) 其他高等中學校ヲ三校廢シタルガ如キ、即チ直接ニ官制ヲ變更致シマシタモノデアツテ、即チ勅令ニ抵觸致ス譯デアリマス、斯ノ如ク俸給及諸給ノ部分ニ於テハ細カニ調査ヲ致シマスレバ、樞密院或ハ行政裁判所ニ限ラズ其他ノ役所ニモ其經濟ノ小サイ所ニハ必ズ違勅ノ廉ガアルト思ヒマスカラレテ、(笑聲起ル)(問題外ト呼ブ者アリ)私ハ俸給令即チ勅令ニ抵觸スルト云フ譯デアリマス、ツレ故ニ唯私ハ全體ニ向ツテ其費用ノ政費ノ節減ト云フコトニ就イテハ反對ヲ致サヌデアリマス、成ルベク平生政費ノ節減ハ即チ官吏ノ月俸ノ如キモノハ成ルベク減額ヲ努メテ居ル譯デアリマス、現ニ前日來モ夫ノ俸給稅法案ノ如キヲ提出シテ即チ官吏ノ俸給ヲ幾分か其實際ニ於テ減ズルトスルト云フ方針ヲ取ツテ居ル譯デアリマス、裁判所構成法案、裁判所構成法案ノ改正案ヲ提出シタル、是レ又其官吏ノ俸給其他元員元費ヲ節減シヤウト云フ所ノ方法ヲ提出シタル譯デアリマス、ツレデ此査定案ニ依ツテ見マシテモ其俸給及諸給ヨリ減額致シテアル所ノモノハ一二百十五萬圓内外ノモノデアアル、私共ガ贊成シテ提出シタ所ノ俸給稅法案且ツ其他法律等ノ改正ノ結果ニ依ツテ計算ヲ致シマシテモ、即チ二百萬圓以上ノ減額ヲ致ス方針ニ成ツテ居ル、ツレ故ニ政費ノ節減ノ金額ノ大體ニ於テハ敢テ不同意ヲ唱フル者デハナイ、併ナガラ其修正其査定ノ方針ガ不十分不合法デアルトキハ、政府ニ同意ヲ求メル時ニ至

テ政府ヲシテ其不同意ノ口實ヲ與ヘルヤウニナリ、政府ヲシテ即チ不同意ノ材料ナカラシメンコトヲ私ハ偏ニ希望スル譯デアリマス、ソレ故ニ更ニ私ハ是ニ於テ動議ヲ提出致シマス、此查定案ハ他ノ全體ニ涉ッテハ餘程能ク出來テ居ル譯デアリマスケレドモ、即チ俸給及諸給ノコトナリ或ハ新項ヲ設ケテアルコトナリ斯ノ如キ事柄ハ十分デナイト思ヒマス、ソレ故ニ此儘決議ヲ致シテ之ヲ政府ニ同意ヲ求ムレバ、或ハ政府ヲシテ不同意ヲ唱フルノ材料ヲ與ヘルヤウナ結果ニナラウト思ヒマス、ソレニ故ニ斯ノ如キ嫌ヒノアル所ノ俸給及諸給ハ一度此全體ニ就イテ再調査ヲ致シテ、且ツ其新項ヲ設ケテ行政權ニ立入ッテ居ル所ノ事柄ヲ調査シテ、果シテ政府ヲシテ不同意ヲ唱フルノ口實ナカラシメヤウト思ヒマスカラ、更ニ豫算委員ニ於テマ一應再調査ヲ致サル、コトヲ希望スルト云フ譯デゴザリマス、斯ノ如キ動議ヲ更ニ提出致シマスカラシテ諸君モ御賛成アッテ、マ一應豫算委員會ニ於テ再調査ヲ致サレズノ如キ嫌ヒノナイヤウニ訂正致サレテ、更ニ議決ヲシタイト云フ私ノ希望デアリマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○立川雲平君(百九十八番) 唯今ノ演說中ニ違勅ト云フコトガゴザリマシタガ違勅ト云フハ何ノ事カ

○佐々木正藏君(九十八番) ソレハ間違デアリマセウガ、本員ノ意ハ俸給令且ツ官制勅令ト此查定案ガ牴觸致スト云フ、即チ此通りデアレバ俸給令ヲ止ムヲ得ズ豫算權ヲ以テ動かサネバナラヌ、官制ヲ止ムヲ得ズ無視セネバナラヌト云フコトニナルカラ、サウ云フコトガアレバ……

○立川雲平君(百九十八番) ソンナ長イ説明ハ要ラヌ、違勅ト云フハ何ノ事カト云フデアアル、ソンナ長タラシイコトハ要ラヌ

○佐々木正藏君(九十八番) ソンナラ今申述べタ通り

○立川雲平君(百九十八番) 場所柄言語ヲ謹マレヨ

○議長(星亨君) 何處ノ所ヲ委員會ノ再調査ニ付スルト云フコトニナラナクテハ困ル、何處々々ト云フコトガ無クテ、サウ云フ所ガ何ダカ有ルダラウカラ搜シテ見ロデハ困ル、何處ノ所ト云フコトヲ言フガ宜シイ

○佐々木正藏君(九十八番) 俸給及諸給ト云フ項目ヲ悉ク再調査シテ貰ウ

○議長(星亨君) 俸給及諸給デスカ

○佐々木正藏君(九十八番) サウデス、ソレト新項ヲ設ケテアルハ不合法ト思ヒマスカラ、ソレモ尙モ他ニモサウ云フコトガアルカ知レナイガ、私ノ氣ノ付イテ居ルハ高等中學ニ現ニ有ルト云フコトヲ申シタノデ、ソレ等ノ所ヲ再調査シテ貰ヒタイ

○川島宇一郎君(八十九番) 唯今佐々木君ノ御述ノ新項ヲ設ケタ高等中學ニ新項ヲ設ケタト申シマシタガ、是ハ少シク誤ガゴザリマシテ、既ニ是ハ本日訂正致シマシテ、程ナク諸君ノ御手許ニ御廻シニナルデアラウガ、決シテ新項ハ設ケナイカラドウゾ左様御承知下サイ

○元田肇君(百四十一番) 唯今ノ何ヲ賛成スルニ就イテ今ノ御方ニ一寸質問シタイガ宜イカ、確メテ置カネバナラヌ、高等中學校ノ中テ削除ニナッテ居ルモノハソレモ御訂正ニナッタカ、一應承リタイ

○議長(星亨君) 其場合ニナッテカラデハ如何デス

○元田肇君(百四十一番) 訂正ニナッテ居レバ餘計ナ議論ハ要ラナイデスガ

○議長(星亨君) 宜イカネ

○元田肇君(百四十一番) 宜クナイ、ソレデハ訂正ニナッテ居ラヌノデスカ

○議長(星亨君) 貴方ハ此動議ヲ賛成スルニ就イテソレガ必要ト云フノデアルカ

○元田肇君(百四十一番) 左様

○議長(星亨君) 百四十一番

○川島宇一郎君(八十九番) 唯今ノ御尋ハ中學校ノ所ヲ訂正シタカドウカト云フ御尋デスカ

○元田肇君(百四十一番) 高等中學校ニ削ッテアルノガ有ルヤウニ考ヘテ居ル、先刻來ノ御論者モアリマシタガ、其論ジタ中ニ既ニ訂正ニナリマシタ訂正ニナリマシタト云フ聲ガシマシタカラ、ソレデ高等中學校ハ――政府ノ要求シテ來タ高等中學校ノ數ハ其儘存シテ置クヤウニナッテ訂正ニナッタカト云フノデアアル

○川島宇一郎君(八十九番) ソレハ違ヒマス、項ヲ新設シタト云フコトヲ述ベラレタカラ、決シテ項ヲ新設シタコトハゴザリマセスト云フコトヲ言ッタデアアル

○議長(星亨君) 諸君ニ御相談シマスガ、此今ノ委員會ニ就イテハ賛成モアリマス、隨分議論ガアリサウニ思ヒマス、ケレドモ先ツ全體ニ就イテ見レバ委員會ニ付スルト云フ動議ノヤウニ思フ、私ナシカノ議論ハ免モアレ、全體ニ就イテ委員會ニ一遍返スト云フ動議ハ先決問題ト看ルノ外ハナイ、先決問題トシテ此問題ニ就イテ可否ノ決ヲ探ルヲ以テ相當ト考ヘル、依ッテ既ニ委員會ニ賛成モゴザリマスレバ是ヨリ此先決問題ニ就イテ討論ヲ始メルノ外ハナイト思ヒマス、サウ云フコトニ致シマセウ

(然リキミト呼ブ者アリ)

○齋藤珪次君(二百二十八番) 此先決問題ニ就イテ討論ヲスルノデスカ

○議長(星亨君) ハイ

○齋藤珪次君(二百二十八番) ソレナラ發言ヲ許サレタイ

○議長(星亨君) 委員會ニ付スルヤ否ヤ最ウ一遍遣ルヤ否ヤト云フコトハ先決問題ノヤウニ思ハレルカラソレニ就イテ

○齋藤珪次君(二百二十八番) 議長

○議長(星亨君) 二百二十八番

○井上角五郎君(七十八番) 一寸議長ニ伺ヒマスガ

○議長(星亨君) 長クナリマスカ

○井上角五郎君(七十八番) 矢張前ノ通告ノ順序ニ依ッテ然ルベシト思ヒマスガ

○議長(星亨君) 然ルベカラズ、先決問題デ此事ガ出來タカラ此事デ一番早イ人ガ先キヘ遣ル

○井上角五郎君(七十八番) 後トカラ又前ノ通りニ遣リマスカ

○議長(星亨君) 是ガ委員會ニ廻ラナカタラ前ノ通りニ遣リマス

(齋藤珪次君演壇ニ登ル)

○齋藤珪次君(二百二十八番) 唯今佐々木君ノ提出ニナリマシタ動議ニハ本員ハ不賛成デゴザリマス、其動議ノ趣意ヲ聽イテ見マスレバ豫算委員會ハ勅令ノ違反デアアル或ハ法律ニ立入ルトカ云フコトヲ申サレマスガ、豫算

委員會ハ未ダ曾テ法律勅令ニ一步モ踏込マザルモノデアアル、決シテ法律勅令ニ違フト云フ言ヲ蒙ルモノデナイ、ソレハ諸君ノ緊急動議ヲ出シタ人ノ如キハ青イ眼鏡ヲ掛ケテ世ノ中ヲ見ルガ故ニ青ク見エタルデアアル、即チ議員タルノ本分ヲ知ラザルガ故ニ斯ノ如キ議論ヲ出スノデアアル、憲法六十七條ハ即チ法律ノ結果ダトカ、或ハ政府ノ義務ニ屬シテ居ルモノ又ハ此大權ニ屬シテ居ルモノハ、政府ノ同意ナクシテハ之ヲ廢除スルコトガ出來ナイ、削減スルコトガ出來ナイト書イタルノデ、同意ナクシテハコトガ出來ナイ、決シテ議院ト云フモノガ腦髓ニ於テ此條給ガ高イ之ヲ斯ク迄ニ減ラシマス、此目安デシヤウト云フコトヲ禁シテ居ルコトガ憲法中孰ニ在リマスカ、一モナイ、果シテ然ラハ豫算ヲ議定スルノ權ハ議院ハ十分持ツテ居ルノデアアル、其結果ガ政府ノ意見ト衝突シタ時ハイザ知ラズ、然ラザル以上ニ於テハ議院ノ權利ヲ拘束スル條ガ憲法ニ在ルト云フハ實ニ驚入ツタルコトデアアル、議院ノ職分ヲ知ラザル所ノ議論デアアルト私ハ申スノデアアル、ソレ故ニ是ハ豫算委員ニ再調査セヨ再考セヨト云フノハ誠ニ驚入ツタ議論デアアツタ寧ロ斯ノ如キ誤ノ議論ヲ出ス人ニハ再考ヲ煩シタイ、再ビ考ヘテ斯ノ如キ議論ヲ出サナイヤウニ私ハ希望致シマス

(採決採決ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 論ガナケレバ先決問題ニ就イテ決ヲ採リマス

○元田肇君(百四十一番) 賛成ノ趣意ヲ述ベマス

○議長(星亨君) 討論終結ガ出テ居ラヌカラ宜シイ、百四十一番

(元田肇君演壇ニ登ル)

○元田肇君(百四十一番) 私ハ佐々木正藏君ノ發議ニ賛成スル者デアリマス、デ唯今滿場諸君ノ模様ヲ見マスルニ佐々木君ノ云フ事柄ノ如キハ殆ド問題ニナラナイ、(無論ト呼ブ者アリ)實ニ輕々タルモノ、様ニ言ハレテ居ル、ケレドモ私ハ決シテサウハ思ハヌ、何ゼ思ハヌカト云フニ佐々木君ノ言フノハ間違デアアルカモ知レヌ、又唯今齋藤圭次君デアリマシタカ述ベラレタノガ本當デアアルカモ知レヌ、然レドモ是ハ青天白日ニ何カヲ見ルヤウニ明ニ極リ切ツタ問題デアハナイト思フ、(極リ切ツタ居ルト呼ブ者アリ)諸君ガ之ニ反對スル事柄ハ何カ我々ガ此處ニ登ラテ再調査ヲ命ゼヤウト云フコトヲ言ヘバ、豫算ニ削減ヲ加ヘタノガ氣ニ喰ハヌカラもちツト俸給ヲ餘計遣ルト云フ趣意デアラウガ、大ナル誤解デアアル、私共ハサウ云フ精神デ言フノデアアリマセヌ、即チ豫算ニ於テ削減スルコトハ官制等ニ立入ッテ爲スベキモノデナイト云フコトハ我々ハ確信致シマス、憲法十條ニ 天皇ノ大權ニ屬スルト云フコトガ書イタル、若シ之ヲ立法權ヲ有シテ居ルト云フノデ、議院ガ勝手ニ削減スルコトガ出來テ、行政部ガ同意サヘスレバ宜シイト云フテ議定スルコトニナレバ、天皇ノ大權ニ屬スルト云フコトハ無クナツテ仕舞フ、(誤解誤解ト呼ブ者アリ)ソレ故ニ私ハ前以テ御斷リヲ申シテ置キマシタ、誤解カモ知レマセヌ、(其通リト呼ブ者アリ)私ハ斷言シテ已レノ意思ガ眞理ニ合シテ居ルト云フコトヲ極論スル者デハナイ、隨分私共ハ研究中デアアルカラ誤解シテ居ルカモ知ラヌ、諸君ニハ無イカモ知ラヌガ、私ノ信ズル所ニ據ツテ研究スルノデアリマス、斯ノ如キコトハ決シテ帝國議會ノ爲シ得ベキ範圍内ノモノデナイト信ズルノデアアル、例ヘバ若シ是ガ出來ルト云フコトデ

アルナラバ裁判所ヲ廢スルナド、云フコトヲ豫算デ直ニ遣ツテ仕舞フコトガ出來ル、サウ云フコトニナツタ時分ニハ法律ハ殘ツテ居ツテ經費ガ丸デ無クナツテ仕舞フ、幾ラモサウ云フ結果ガ出ル、此處デ此豫算ノ決議例ヘバ裁判所ノ俸給ヲ皆無ナクシテ仕舞フコトガ出來マスカ、諸君ハ是ガ議會ノ議定權デ出來ルト言ハル、ガ、果シテ其權能ガアルナラバ……、スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フ論ニナレバ、ソレハ出來ルト歸著シナケレバナラヌ、出來ルトコトニナレバ裁判所ノ俸給ハ削減シテ仕舞フコトガ出來テ、裁判所ノ官制ガ殘ツテ居ルヲ土臺トシテ豫算ノ議論ヲシナケレバナラヌト云フノガ私ノ意ナノデゴザイマス、諸君ノ說デハ豫算ニ依ツテカラニ勝手ニ削減シテ機關ノ廻ラヌヤウニスルト云フノガ諸君ノ說デアアルガ、此處等ハサウ誤解タト云フ直打ノモノデナイト思ヒマス、能ク御考ニナルガ宜シイ、諸君ガ本年ハ誤解ト言フカ知ラヌガ、今五六年議會ニ坐ツテ居ルタナラバ元田ノ言フノガ本當デアアツタト言フデアリマセウ、(笑聲起ル)今日諸君ハ其様ニ笑フコトハ一向頓著シナイガ、サウ云フコトガナケレバ宜シイガト思フノデアリマス、ソレカラ先刻ノ第一番ノ岩崎君ノ說ニ、貴族院ニ於テモ既ニ俸給ヲ減ズルト云フコトノ建議ヲ出シテアルト言ハレタガ、私共モ賛成デゴザイマス、貴族院ハ減額スルニ其道ヲ以テシテ居ルノデアアル、衆議院ハ減額スルニ其道ヲ以テシナイノデアアル、自ラ好シテ其道ニ背イタコトヲ以テ減スヨリ相當ノ道ガアルノデアアルカラ、其道ヲ以テシタラ宜カラウト云フコトヲ我々ハ言フノデアリマス、殊ニ私ハ人様ト少シ違フカ知レマセヌガ今度ノ何ヲ見マスル……、査定案ヲ見マスル學校ヲ廢シタレモアラマス、ソレカラ樞密院ノ如キハ、殆ド月給ハ遣ラヌガ宜イト云フヤウナ體裁ニナツテ居ル、斯ノ如キ處即チ樞密院ハ如何ナル所デアアルカ 天皇陛下ノ最高顧問府デゴザイマス、其最高顧問府ニ與ヘラレタル所ノ俸給ノ如キハ人民ニ於テ萬止ムヲ得ナイコトガアルナレバ、建議等ヲ致ストカ、其他相當ノ手續ガアル、我々人民ガドウモ堪ヘナイカラシテ之ヲ減シテ貰ヒタイトカ色ニ減ズル所ノ實ニ嚴重ナル方法ガアルノデアアル、然ルニ僅カ 天皇陛下ノ最高顧問府ノ月給ガ幾ラニナリマス、皆減ラシタ所デ……二萬カ三萬ト云フ所ノモノヲ豫算ノ議定權内デドリツサリ之ヲ削減シテ仕舞フ、何カマア言フテ見レバ貴様ガ言フコトヲ肯カヌナレバ、斯ウシテ遣ルゾト云フヤウナコトハ、帝國議會ノ宜シク爲スベキコトデナカラウト思ヒマス、斯様ナル然カモ 陛下ノ最高顧問府ノ此樞密院ノ如キハ、我々人民タル者ハ謹デ、減シナケレバナラヌ必要ガアルナレバ、其道ヲ以テ恭シク減少ノ建議ナリ請願ナリスルガ當然デアラウト思ヒマス、然ルニ豫算ノ當リヲ以テ之ヲ削減ルト云フノハ、官制ニ立入ッテ居ル俸給令ニ立入ッテ居ルト云フ疵ガアルノミナラズ、日本帝國ノ國民タル者ガ宜シク爲スベカラザルコトデアリ、後來ニ斯ノ如キ模範ヲ殘スベカラザルモノデアルト思ヒマス、ソレデ之ヲ削減スルコトニ至ツテハ御同意デゴザイマスケレドモ、今一應御調ニナツテ斯様ナル我々ガ同意シナガラモ不同意ヲ唱ヘルヤウナ方法デナイヤウニシテ貰ヒタイト云フコトヲ冀望スルノデゴザイマス、(誤解タト呼ブ者アリ)之ヲ主張スルニ就イテ(憲法ヲ能ク讀ミ給ヘト呼ブ者アリ)私ハ始終ハ演壇ニ登ラヌ少シ御聽キナサイ、願ヒマスコトハ反對ノ人モ自分デ期シテゴザラウト思フ、尾崎君ガ或ル省ノ主査デ答ヘラル、ニハ……俸給令

ニハ關係ハナイガ官制ニハ立入りハセヌカト云フ質問ヲシタ所ガ、其答ニ我
我ハ遣ッテ往ケル積リデアルカラ、此所デ減シテ置ケバ、後トハ行政官ノ御勝
手次第ノ話デアルト答ヘテ居ル、此答ヘ振リハ如何デアルカ、官制ニ立入
居ラヌ、俸給令ニモ立入ッテ居ラヌト云フコトヲ云ハズシテ、尾崎君ノ表
面免レルガタメノ返辭デアッタト云フコトハ明カナコトデアラウ、又大藏省
ノ部デ中野武營君ノ答ニ——段々尋ネマシタ所ガ、詰リ我々ハ目安デ立
議員ノ腹ノ中デ方針ヲ定メタノデアルカラ差支ハナイト云ハレタ、腹ノ中
定メテモ算盤ヲ取ッテ見レバ、直グ分ルジヤナイカト云フコト、中野君ノ答
フル、ニツレハ君ノ考デアルト云フ、然ラバ決シテ官制改革等ニハ立入ッ
居リマセヌト云フコトハ、改進黨ノ名士ナル尾崎君ト云ヒ中野武營君ト云
ヒ、辯舌ニハ巧ミノ人デアリ議論モ十分爲サル御方デアッテ、最モ憲法等ニ
ハ明ルイト仰ヤッテゴザル御方、答ヘ振リハ——斯ル問ニ對シテ、答ヘ振
リハ如何デアリマス、私ハ今此處ニ言フ所ガ、分リ切ッテ虚言ヲ云フコトカ
違ッタコトヲ言フコトカデナクシテ、何ヲ苦ンデ尾崎君中野君ハ斯ノ如キ返答
ヲ致シテ居ルカ、賛成ノ不賛成ノト云フヨリハ自ラ良心ニ問フテ見ルト云フ
ト、果シテサウ云フコトハ云ヘナイト云フコトハ明カデアラウト思フ、(尾
崎行雄君、第一期ノ先例ヲ見ヨト呼ブ)斯ク申シマスルト云フト、何か諸君
非難スルヤウニ聞エマスガ決シテ非難ヲ致スノデハアリマセヌガ、尾崎君中
野武營君ノ兩君ハ豫算ノ事ニ就イテ、如何ナル主意ヲ持ッテ居ル人ト云フコ
トガ分ッテ居リマス、サウ云フ人ガ然カモ議員ノ質問ニ對シテカラニ、躊躇
逡巡シテ彼ニ答ヲ紛ラシタト云フヤウナ苦シイコトヲセズトモ、正面ヨリ
ドシノ往ケルヤウナ方法ニシテ宜カラウト云フノデアル、サウシタラバ
若シ政府委員ガ肯カヌトキハソレ迄ノコト、肯クカモ知レヌガドシノ責掛
ケタ方ガ、寧ロ其方ガ立派デアラウ、即チ貴族院デ遣ッテヤウニ建議ナリ何
リ休給令ノ改正案ナリ立派ニ遣ラガ宜シイ、若シ失言ガゴザリマシタナレバ
諸君ニ謝シマスガ、詰ラヌ一文ノ價直モナイト一括リノ御考ニナラズシテ、
少シハ味ガアルカモ知レマセヌカラ、宜シク御再考ヲ願ヒマス

(討論終結ト呼ブ者アリ)

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、先決問題ノ決ヲ採リマス

○折田兼至君(九十番) 決シテ決ヲ採ルベキモノデハナカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 採ルベキモノデス

○鈴木萬次郎君(六十一番) 討論終結ノ動議ヲ起シマス

○議長(星亨君) 討論終結デナクテ宜シイト思フ

○折田兼至君(九十番) 委員會デ確定シテ來タカラ此修正ガ……決ヲ採ルニ
ハ及バヌ

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、先決問題即チ九十八番佐々木君ノ動議デゴ
ザイマス、即チ今議シツ、アル豫算全體ヲ再ビ委員會ニ付スルト云フ動議デ
ゴザイマス

○尾崎行雄君(百五十二番) ツンナ事ガ出來マスカ、規則ニハナイ

○議長(星亨君) 出來ルカ出來ナイカ知レマセヌガ……出來ルコトハ出來ル
ニ相違ナイ、ツレデアルカラ動議ガ成立ッテ居ル、依ッテ此說ニ賛成ノ御方
ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス依ッテ佐々木君ノ動議ハ成立チマセヌ、否
決ニナリマシタ——二百五十九番

(中野武營君演壇ニ登ル)

○中野武營君(二百五十九番) 諸君、本員ハ此豫算總會ニ就キマシテハ政府
ノ案ニ同意ヲ表スルコトガ出來ナイ、而シテ査定案ノ大體ヲ賛成スル者ノ一
人デアアル、査定案中ニ於テモ或ル費目ニ就キマシテハ、尙ホ修正ヲ冀望スル
點モ一二無イデアハアリマセヌガ、全體ノ上ニ就キマシテハ、査定案ノ方針ト
云ヒ其結果ト云ヒ私ハ賛成ヲシテ居ル、先ヅ此査定案ノ方針ヲ明カニシ其結
果ヲ明カニシテ、而シテ一方ニハ其精神ヲ貫キ、一方ニハ政府ノ猛省ヲ求ム
ル譯デゴザイマス、故ニ私ハ豫算ノ總體ノ上ノコトヲ明カニ算數ノコトヲ
先ヅ申上ゲテ見ヤウト思フ、政府ノ提出シマシタ豫算案ニハ其歲入歳出ノ差
ト申シマスルモノハ、二百七萬一千四百八十八圓八十五錢ト云フ裕餘ヲ生ジ
テ、居リマスルデゴザイマスガ、我々ガ査定ヲ致シマシタル所ノモノハドウ
ナッテ居ルカト申セバ、其歲入ハ八千八百二十一萬八千六百五十二圓六十五
錢七厘トアル、而シテ歳出ハ如何程カト申スト七千四百九十一萬三千四百六
十五圓二十三錢五厘トアル、此歳入歳出ノ差額ガ千四百一十一萬五千八百七
圓四十二錢二厘ト相成リマス、而シテ其歳入ノ内ニ前年度繰入金ト申シマス
財源ヲ充テ、アリマスル所ガゴザイマス、其金額ガ三百八十八萬九千六百四十
二圓八十五錢八厘ゴザイマスガ、斯様ニ前年度ノ剩餘金ヲ以テ此財源ニ充テ
タモノハ如何ナル費目ニ當ッテ斯様ニシタカト云フト斯様ニ相成ッテ居リマ
ス、蓋シ此費目ヲ明ニスルコトハ、此歳入歳出ノ財源ト云フモノハ他日民
力休養或ハ其他ノ起業ノ財源ニ當ル標準トナリマスルカラ、之ヲ明ニスルコ
トハ必要ト思ヒマス、私ガ調デハ此陸軍省所管ノ第一款ノ第四項ノ兵器彈藥
費ト云フモノガアル、此兵器彈藥費ニ七萬一千二百圓程此金ガ這入ッテ居
ル、ツレカラ同ジク第二款ノ第二項紀淡海峽要塞砲兵營新營費ガ八萬六千四
百餘圓ト申スモノガアル、是ガ即チ財源ヲ取ッテ居ルモノデアアル、其次ノ第
三項下ノ關海峽要塞砲兵營新營費是モ其中ヘ這入ル、第三款ノ連發銃製造費
是モ其中ヘ這入ル、第四款ノ棉火藥製造場新設費、同ジク第五款ノ住製絨所
工場増築費、ツレカラ外務省ノ臨時費ノ方デ、軍艦製造費ノ方デ、第一項デ
二十四年度起業軍艦製造費ト云フモノガ這入ッテ居ル、ツレカラ第三款ノ二
十六年度起業巡洋艦及報知艦製造費是ガ這入ッテ居ル、ツレカラ第二款ノ兵
器水雷費ト云フモノガ這入ッテ居ル、ツレカラ農商務省ノころんぶす世界博覽
會費、同ジク第四回內國勸業博覽會費ト是程ノ費目ノ財源ヲ要シマスルタメ
ニ、此前年度繰入金三百八十萬餘リノモノヲ茲ニ八レテアリマス、左様致
シテ此査定案ニ於テ此費用ニ當リマスモノヲドレ程節減致シテ居ルカト申シ
マス、千住製絨所工場増築費此内四千六百六十七圓九十七錢四厘ガ査定デ
減シテアリマス、ツレカラ第四回內國勸業博覽會費此内四千六百三十二圓
十八錢減シテアリマス、ツレカラ二十六年度ノ起業巡洋艦及報知艦製造費ヲ九
十八萬三千七百四十七圓トアルヲ全ク廢シテ居リマス、是等ノ金額ヲ合セマ
スト百萬二千九百七十五圓四厘ト相成リマス、サウ致シマスト大分總體ノ
内デ前年度ノ繰入金ト云フモノハ其財源ガ一ツニ限ルモノデゴザイマスガ

ラ、此内カラ百萬餘ノ金ガ減リマシテ之ヲ以テ他ノ民力休養ノ財源ニ充ツルコトハ出來ヌモノデアル、ツレ故ニ歳入歳出ノ差即チ千百四十一萬五千八百十七圓四十二錢二厘ノ内ヨリ百萬二千九十七圓十五錢四厘ヲ引イテ、残り千四十一萬三千四十圓四十六錢八厘ト云フモノガ、民力休養ノ費途ニ充テ又ハ後來他ノ事業ヲ起シマス財源ニ充ツベキ金額トナツテ居ルノデアリマス、抑々斯様ニ政費ヲ節減シテ參ル以上ハ如何ナル結果ヲ見ルデアラウカ、或ハ甚シキハ國防上ニ關係ヲ生ジテ來ルデハナイカト云フ懸念ヲ爲サル、方モ無イデハゴザイマスマイガ、現ニ査定案ニゴザリマス陸軍ノ費用ノ如キハ其俸給及諸給ノ如ク又廳費ノ如キモノハ一般ノ例ニ依ツテ節減ヲ致シテ居リマス、ケレドモ其他ノ目ハ十分ニ要求ヲ容レテ居ルコトデアル、現ニ陸軍ノ政府委員杯ハ大ニ満足ヲ表シテ豫算總會ニ於テハ一言モ此節減ニ對シテハ喙ヲ容レヌデ同意ヲ表シテ居ル所デアリマス、海軍ニ至リマシテモ獨リ二十六年度ノ起業巡洋艦及報知艦製造費此點ニ就イテハ一ツノ問題トナツテ居リマスガ、其他ノコトハ是レ以テ大ニ此豫算ニ於テハ斟酌ヲレテ要求ヲ滿タシテ居リマスノデゴザイマス、然ラバ此節減ハ大ニ國防上ノコトモ障礙スルト云フノデハナイ、軍艦ノ事ニ致シマシテモ豫テ委員長ヨリ報告致シマシタル通り、其方針サヘ精確ニナリ基礎ガ鞏固ニナリ財政ノ整理ガ整ヘバ、進ンデ拵エテ往クコトニ躊躇シナイト云フコトハ豫算委員ノ精神デアル、唯此節減ヲシタノハ外デハナイ、岩崎君ノ言ハレマシタル通り要スルニ俸給及諸給廳費ト申ス様ナ件ニ就イテ大ニ節減ヲ加ヘタノデ、是ハ御參考ニナルコト、考ヘマスカラ、私ハ此處ニ總テノ全體ノモノヲ集メテ其他特別會計ガゴザイマスヲ私ガ此處ニ申述ベヤウト思フ、臨時部經常部其他特別會計ニ列記シテ居リマス分迄ニ合セマシテ、俸給及諸給デ要求額ガ千八百二十七萬四千七百九十七圓六十五錢八厘、其修正額ガ千六百四萬八千八百八十五圓七十四錢四厘、此減シ高キガ二百二十二萬五千九百一十一圓九十一錢四厘、修繕費ガ要求額ガ四十二萬七千五百五十九圓三錢五厘トナリマス、修正額ガ三十八萬二千三百八十一圓九千五百五十七圓四十二錢是ガ要求額デアル、修正額ガ百六十二萬四千五百四十三圓四十五錢トナリマス、此減シ高ガ八萬五千五百一十二圓九十九錢デアリマス、雜給デ如何程減ジテ居ルカト申スト、要求額ガ百八十六萬三千三百四圓十五錢九厘、修正額ガ百六十七萬三千二百三十三圓二十四錢七厘、減シ高ガ十八萬八千七百七十圓九十一錢二厘、ツレカラ廳費ノ要求額ガ二百九十九萬九千九百一十四圓四錢五厘トナツテ居ル、修正額ガ二百五十二萬二千四百一圓八十七錢三厘、減シ高ガ四十七萬七千五百八十八圓二十七錢二厘、之ヲ總計シマスルト要求額ガ二千五百二十七萬三千二百三十八圓四十三錢四厘、修正額ガ二千二百二十五萬四百四十五圓二十六錢四厘、減シ高ガ三百二萬二千七百九十三圓十七錢デゴザイマス、斯様ニ此俸給修繕費旅費雜給廳費ト云フモノヲ要シマスト其總計ガ斯様ニ相成ルノデゴザイマス、此中デモ修繕費旅費ノ如キハ、大ニニ節減上ニ於テモ注意ヲ致シテ僅ニ旅費ハ五分ノ減シニナツテ居ル、修繕費ガ八分四厘九毛位ニナツテ居ル、唯俸給ノ所ニ至リマシテ一割二分餘減シニナツテ居ル、雜給ノ所デハ一割バカリノ減シ廳費ノ所デ一割五分九厘某ト云フ減シ、斯様ニ調査ヲ致シマシタガ、扱ス様ナコトハ政府委員ノ常ニ言ハル、如ク急激ナル節減デアル、斯ウ申サレマスルケレドモ決シテ急激ノ譯デハナイ

ノデゴザリマス、今日マデ政府ガ斯ノ如キコトハ議會ノ申スヲ俟タズシテ、政府自ラ疾クニセネバナラヌ筈ノモノデアル、ソレハ何故ナラバ此明治十四年ニ國會ノ詔ガ出マシタ以後二十三年ニ於テ國會ヲ開カレマシタ間、十年一日ノ如ク人民ハ政費節減民力休養ヲ唱へ來ッタノデアル、而シテ二十三年ニ至ッテ國會ヲ開カレタ初メニ於テ、議會ハ如何ナルコトデアッタカト申セバ十分ニ其意ヲ發表シタノデアル、其當時薩カ西穀一君ト私ハ記憶シテ居リマスガ、初期ノ議會ニ於テ政費ヲ節減スルナレバ年ヲ逐フテ漸々シタガ宜イ、即チ最初五百萬圓減セバ翌年一千萬圓ト云フ風ニ、度ヲ履ンデ行クガ宜シイト云フ演說ヲセラレタ所ガ、今日國會ガ開ケマシテ三度目ニ相成リマス、然ルニ政府ハ依然トシテ自分ノ計畫ヲ少シモ改メナイノデアル、此ニ至ッテ此修正案ガ出マスト云フモノモ、畢竟スルニ急激デハナクシテ政府ノ怠慢、又輿論ヲ省ミズシテ等閑ニ此ニ至ッタ結果デ、而シテ此節減ノ如キモノハ官吏自ラガ仕ヤウト思ヘバ節減ヲシ、質素儉約ヲ守ッテ行カウトスレバ直キニ出來ベキ事柄ト私ハ信ジテ居ルノデアル、先刻政府委員ハ俸給ノコトニ就キテ外國ノ比例ヲ申サレマシタガ、併シ金額丈ノ所ノ比例デ果シテ其國ノ民度、即チ人民ノ富ノ度合或ハ物價ノ度合ノ如キガ日本トドレ程ノ權衡ヲ持ッテ居ルカ、ドレ程ノ不釣合ノモノデアルカト云フコトハ少シモ仰ヤラナイ、ソレ故ニ唯亞米利加ノ總理大臣トカ云フ御話デアツタガ、即チ總理大臣ナル者ノ俸給ノ額ト云フモノヲ唯日本ノ大臣ノ金額ニ較ベテ見テ、斯ノ如キ比例タルト云ハルハ、ガ決シテ左様ナ事實ノモノデハナイ、我々ハ此節減ヲスル方針目的ト云フモノハ、日本ノ人民ノ富ノ度合、日本ノ現在ニ於テ官吏ガ是程位ナルモノデ相當デアルト云フ、算法カラ割出シタノデアル、常ニ此日本ハ此民度ノ釣合ヲ外シテ居ルモノハ何デアアルカト申セバ總テ此官衙ノ有様デアアル、官吏ノ有様ガ始終民度ト伴ハズシテ相反シテ居ル有様ナコトハ誰モ皆知ツテ居ルコトデ、今更申スマデノコトデナイト私ハ信ズル、然ラバ此ニ至ッテ政府ハ十分ニ用ヲ節シ贅澤ヲ改メマシテ、サウシテ勤儉ニ政治ヲ行フテ参リマスナラバ、實ニ此事柄ハ易クシテ行ハレルコトデアアル、人ノ手ヲ籍ラズシテ官吏自ラガ爲セバ、直キ出來得ラレル節減法デアアルノデアル、大體此政費ノ節減ノ要タル右申シタル即チ統計上明カニ斯様ニ相成ッテ其他ノモノ、即チ此事業上ニ關係シテ居ル勤キノ上ニ關スル事柄ノ如キ費目ハ大ニ注意致シマシテ調ベデゴザリマシテ、甚シキ節制ハ加ヘテゴザイマセヌ、斯様ナ次第デゴザリマス故ニ政府ハ宜シク猛省シテ此輿論ヲ容レ此希望ヲ容レラレルコトハ、政府ノ即チ和衷協同ト云フ趣意ヲ立テマスルノ道デアアルジャラウト考ヘル、又我々ガ此查定案ノ方針ヲ助ケ此查定案ヲ徹底シマスル事柄ハ即チ輿論ノ上ニ於キ、又議院ノ職分トシテ協贊ノ實ヲ盡クスベキモノデアアルト私ハ考ヘルノデアリマス

終ニ臨ンデ一言申シマスルノハ、若シ政府ニシテ斯ノ如キ修正案ヲ過激ナモノトシ、或ハ急激ナモノトシテ之ニ同意ヲ與ヘヌト申ストキニハ、如何デアアルカト申シマスレバ、人民ハ必ズ申スデアアルジャラウト思フ、即チ現内閣ハ目前ナル同僚或ハ官吏社會ノ事情情實ト云フモノ、タメニ其情ヲ酌ムコトノ篤クシテ、他ノ人民ノ輿望即チ國民ガ希望シテ居ル所ニ對シテ甚ダ冷淡ナル人デアアル、不親切ノ者デアルト云フ評ハ決シテ社會ニ於テ下ルコトデアラウト思フ、然ラバ此事ヲ能ク考ヘテ而シテ此一度議會ノ希望ヲ容レテ協同一致

ヲシメシタナラバ、他日此政治ヲシテ行キマスことモ大ニ圓滑——、滑カニ出來テ國家太平ヲ歌フト云フ時ガアルダラウト思ヒマス、若シ之ニ反シタナラバ幾年經タウトモ決シテ政府ガ其目的ヲ達スルコトガ出來ヌ、我々モ亦決シテ此議ニ列テ居ル以上ハ、此意見ヲ容レラレヌ以上ハ決シテ外ノ事ヲ協賛セヌト云フ積リデアリマス、是又一言……

○大岡育造君(八十四番) 質問シマス中野君ニ、是ハ中野君ニハ少シ御迷惑カモ知レマセヌガ、先刻御述ニナツタ御言葉ノ中ニゴザリマスカラ——、委員長カラモ言ハレマシタ如クニ軍艦ヲ否決シタノハ方針ヲ改メルコト基礎ヲ定ムルコトヲモテカテラデアル、ソレヲ定メレバ何時ニテモ賛成スル所云フ風ニ仰ヤツテアル、ソレハ能ク分リマシタガ、我々モ若シ良イ法ナラバ御賛成申スカモ知レナイ、就イテハ私ハ承リマスガ、此軍艦製造ノ費用ヲ皆削ッテ之ヲ民力休養ニ合セテ仕舞フトシテ、後ト貴方ガタノ御注文通りニ政府ガ應ジマシタル時ニ於テノ財源ハ何處ニアルデスカ、例ノ酒稅煙草稅ヲ御増シニナルカ、或ハ外國カラ金ヲ御借リニナルノカ、金ノ出所ガ無カラウト思フ

(無用ヤツト呼ブ者アリ)

○中野武營君(二百五十九番) 貴方ノ問ヲ極メテ御仕舞ヒナサイ

○大岡育造君(八十四番) 無用デナイ問ハ、此處デ軍艦製造費ヲ削ッテ其費用ハ民力休養ニ廻ハスト云フ御説明デアル、ソレハ宜シイカ知レナイ、處デ政府ガ君ガ言フ通り改革スルナラバ軍艦製造ニ賛成スルト言フガ、其費用ハ何處カラ得ラル、ト云フノデス

○中野武營君(二百五十九番) 私ガ申シタコトヲ貴方ガ御聽違ニナツタ、即チ私ガ先刻申シタ事柄ハ財源ガ是程アルト云フ即チ千餘萬アル、是ハ民力休養ニモ又將來ノ大起業ニモ充ツベキモノダト言フタノデス

○大岡育造君(八十四番) サウスレバ軍艦製造費等ニ御用ヒニナルノデスカ

○中野武營君(二百五十九番) サウスデス、此報知艦巡洋艦ノ財源ハ千何程ノ中ニ入レテナイ、ソレ故ニ千何程ヲ引イタノデアアル

○大岡育造君(八十四番) 分リマシタ

○井上角五郎君(七十八番) 本員ハ豫算委員修正案ニ就イテ本員ノ即チ反對スル所ノ大體ノ意見ヲ述ベヤウト思フノデゴザリマス、處ガ先刻來一方ニ牧君ト云ヒ佐々木君ト云ヒ元田君ト云ヒ其述ベラレタ所ハ、大體論トハ云ヒナガラ僅ニ各省局ノ俸給諸給ノミニ涉ッテ居ッタ、之ニ對シテ即チ大體ニ就イテ賛成ヲ表セラレタ所ノ岩崎君其人ノ議論ハ私ハ餘リ彼是茲ニ引證シマセヌ、中野武營君、第一期以來凡ソ此議會ニ於テ豫算ノ事ニ就イテ明シイ人ハ澤山アルケレドモ、就中中野武營君ノ如キ我々ガ立派ニ反對シテモ直打ガアルハ贊成者トシテモ直打ガアルハ、十分豫算ノ事ニ就イテ明ナ人デアアルト思フテ居ッタ中野武營君ガ演說セラレタ、此演說コト私ニ取ッテハ私ガ反對スルニ十分ナル價值ヲ與ヘルモノト思フテ、演說ハ即チ速記ヲ致シマシタガ、奈何セシ要求額ヲ總計スレバ俸給諸給ガ幾ラ廳費ガ幾ラ、修正額ヲ合計スレバ俸給諸給——、修正額ヲ合計スレバ要求額ガ幾ラ、修正額ガ幾ラ、即チ減ラシタ金高ガ幾ラデアアル、乃至歲入歳出ニ於テハ別途繰入金ヲ斯樣斯樣ニヤリクリスルカラ其差ガ千何十萬圓デアアルト云フガ如キ、要求書ノ拔讀ミ若クハ僅ニ書生ヲ集メテ總テノ數ヲ集メテ見サシタ所ノ結果ノミヲ言

ハレタ、其後ニ曰ク各國ノ役人ノ月給日本ノ役人ノ月給ソレヲ比較シテ見レバ、各國ノ役人ノ方ガ安ク割合ガ或ル他ノ方カラ比較スレバ安ク日本ノ方ハ高イ、斯ノ如ク減ラシテモ宜イト仰セラレタノハ少シ驚イタ、中野武營君ヲ今日迄私ガ待設ケタ所ニ據ッテ見レバ斯ノ如キ此淺基ナ御議論ヲ爲サル、皆ハナカラウガ、是ハ即チ滿場ノ大多數ガ既ニ修正案賛成デアアルカラ喋々ノ辯ハ用ヒナイト云フコトデ、中野武營君ガ折角腦中御蓄ヘアル所ヲ御漏シニナラナカッタノハ反對者タル私ニ取ッテハ遺憾千萬ノ次第デアリマス、即チ今ヤ本員ガ此大體論ヲ爲スニ就イテハ、今日迄唯今迄議題ニ就イテノ總テノ議論ハ本員ガ反對ヲ爲スノ論據ト爲スニ足ラヌ論ノミデアルト言ヘバ、本員ハ本員躬自カラ考ヘル所ヲ以テコ、ニ本問題ニ就イテ反對ノ趣意ヲ表スル積リデゴザリマス、今回豫算委員ノ査定案、此査定案ヲ政府要求ニ比較シテ見レバ、即チ經常部ノ減ラシ高ガ四百九十九萬臨時部ノ減ラシ高ガ三百八十五萬、之ヲ合計スレバ——、此他或ハ特別會計減ラシタ、メニ歳入ニ殖エ、若クハ狩獵免許料ニ苦情ヲ付ケテ歳入ヲ減ラシタト云フ様ナコト出入ノ差ハゴザリマスガ、姑ク特別會計若クハ歳入ノ部ヲ外ニ措イテ唯經常臨時部丈ノ削減ヲ以テ言ヘバ、右ノ四百九十九萬三百八十五萬合計シテ八十八——、八百八十四萬六千五百一圓四十七錢デアアル、此八百八十四萬六千五百一圓ト云フ今回ノ豫算委員ノ減シ高ハ、第一期即チ議會始メテ開ケタ時ノ所謂當時ノ硬派ナルモノガ減ラシタ九百二十萬ノ金ニ比ベテ、減シ様ガ多カラウカ少ナカラウカ、又第二期即チソレガタメニ議會ガ解散セラレタ所ノ冬ニ於テ所謂民黨ガ減ラシタ七百九十五萬圓ト云フ削減ニ比ベテ、本同ノ八百八十四萬圓ハ多カラウカ少ナカラウカト云ヘバ、本員ハ斷然明言ス即チ諸君ハ漸クニシテ溫和派ノ勢力ニ傾キツ、アル、溫派ノ勢力ニ制セラレツ、アルト云フコトヲ明言スルノデアアル、何故ナレバ減シ様ガ少ナイノデアアル、諸君第一期ノ議會ノ九百二十萬ヲ減ラシテ其殘タ所ノ各官省ノ各款項ノ全高ト、又第二期議會ニ於テ七百九十五萬圓ヲ減シテ、其殘タ所ノ各官省ノ各款項ノ全高ト、今年八百八十四萬餘圓ヲ減ラシテ、ソレガタメニ殘タ所ノ即チ各官省ノ各款項ノ全高ト較ベテ見マシマス、査定案、昨年ノ査定案ヨリモ一昨年ノ査定案ヨリモ即チ殘タ所ノ金ト云フモノハ殖エテ居リマス、其殖エテ居ル所ノ一ツノ證據トシテ各項各款悉ク舉ゲテ申シマレタナラバ、時間モ掛ルシ諸君モ御退屈又本員モ誠ニ時間ヲ費スノハ望マヌカラ、唯各本省ニ就イテ本省ノミヲ舉ゲテ言ッテ見マシマス、昨年冬諸君ガ爲シタ所ノ査定案ヨリ今諸君ガ爲シタ所ノ査定案ハ、外務本省ニ於テ凡ソ一割方金ガ殖エテ居リマス、即チ政府ノ使ヒ得ル金ガ一割程殖エテ居ル、内務本省デハ彼是二分程殖エテ居リマス、陸軍本省デモ二分ハ殖エテ居リマス、海軍本省デハ五分、司法本省デハ即チ一割殖エテ居ル、サウシテ政府提出ノ金高ガ昨今ト今年ト同シヤウナト云フ、文部省ニ向ッテハ僅カニ少コウシ殖エテ居ル、農商務省遞信省ノ如キハ政府ノ要求額モ大變今年ハ昨年ヨリ少ナイニ對シテ、又諸君ノ減シ方モ大ニ少ナクナツテ居ル、是ハ各本省ニ就イテノ大體ノ例デアアル、此各本省ニ就イテノ大體ノ例ハ即チ豫算全體ニ向ッテ明カナル證據デアッテ取リモ直サズ諸君ハ一昨年ヨリモ昨年ヨリモ、今年ハ餘程溫和派ニ御傾キニナツタ、一溫和派ニナツタノデアハナイ、一方ニ政府ガ要求シテ來タル所ノ二十六年度ノ歲計豫算表ト云フモノヲ取ッテ、之ヲ昨今不成立ニナツタ明治二十五年年度ノ歳入豫

算ト比較シテ見マスレバ、如何ナル有様デアル、即チ是モ各款各項悉ク云フノ面倒デアルカラ時間ガ掛ルカラ、即チ各本省ニ就イテ言ヒマスレバ、外務本省デハ昨年ノ要求ヨリ減ツテ居ルコトガ五千二百三十三圓減ツテ居ル、内務本省デハ即チ色々ノ項ニ就イテ増スベキ理由ヲ附シテハ居ルガ、増シテ居ルモノガ一萬九千九百七十二圓六錢二厘、陸軍本省デハ七十一圓減リ、海軍本省デハ六十九圓減リ、大藏本省ニ於テ一萬二千六百七十一圓八十三錢三厘減ツテ居ル、司法本省デハ七千九百五十四圓八十一錢七厘減ツテ居ル、文部本省ハ増減ハゴザリマセヌ、農商務本省デハ減シタ高ガ三千七百三十三圓四十三錢減リ、逓信省ノ減シタ高ガ大變多シ、是ガ減シタ理由ハ航路標識事業費ト云フモノガ昨年度マデアリマシタケレドモ、本年度ハ是ガ此本省ノ部ニ出テ居リマセヌカラ、四萬三千圓ト云フモノガ故ラニ減ツタノデアリマスカラ、即チ昨年ノ要求ノ内カラ四萬三千圓ヲ引イテ今年ノ要求高ト較ベテ見ルト、逓信省ノ減シタ高ハ六萬二千九百九十六圓二十六錢三厘ト云フモノガ政府ノ要求額ガ減ツテ居ル、僅ニ殖産タノハ内務本省ノ部ノミデ合計シテ云ヘバ、新シイ事業費ト云フモノハ隨分増サナケレバナラヌト云フモノ、或ハ或ル事故ガアツテ減ラス答ノモノハ暫ク措イテ、年々大概同シデアル答デアルト云フ、各本省ノ經費ハ總テ本年度政府ノ要求ハ昨年度ヨリ減ツテ居ルト云フ、一方ニ諸君ノ其減ツテ出タモノニ對スルノ減ラシ方ハ却テ減ツテ出タト云フコトノタメニ、減ラシ方ガ少ナイト云フヨリモ、一層少ナク減ツタト云フナラバ諸君ノ節減ノ希望ト、政府自ラナス節減ト云フモノハ漸ク近付イテ來タ、今ヤ諸君ト政府ト減ラシ方ハ昨年ノ如クデナク、一昨年ノ如クデナク、大ニ近ヅキ得タト云フコトハ明白デアアルト思フ、是ガ近ヅキ得タト云フコトハ、即チ政府ハ節減ヲスル考ヲ以テ議案ヲ節減シテ出ス、又諸君ニ於テモ過激ナル節減ハ爲スベカラズトシテ、自ラ節減スル高ヲ減シテ出テ漸ク近ヅイタト云フコトハ、本員ハ此議會ニ於テ本年度ノ豫算案ニ對シテ、將タ日本國家將來ニ向ッテ大ニ之ヲ賀セナケレバナラヌノデアアル、之ヲ賀スルト同時ニ豫算委員ノ諸君ノ之ニ對シテ御骨折ハ、昨年冬ノ豫算案デモ實ニ違算ガ澤山アツタ、一昨年冬ノ豫算案ニ違算ガ澤山アツタ、ソレノミナラズ取調ガ粗漏デアリマシタガ、本年ハ十分ニ調ベ且ツ違算ト云フベキ程ノ違算ハ見エナイ、固ヨリ誤植其他ノ事ニ至ツテハ多少アルガ、甚シキ違算ハ今年ノ豫算ニ就イテ見ナカッタト云フノハ、諸君ガ精密ナル御取調、且ツソレノミナラズ政府ノ趣意ト漸ク相近ヅイタ、其政府ト議會ノ衝突ノ點ヲ狭ク短クシタト云フコトニ對シテハ、諸君豫算委員諸君ノ勞ヲ謝スルノ外ハナイケレドモ、本員ヲシテ言ハシメタナラバ此本豫算案ニハ井上角五郎ハ反對スルカト云ヘバ、決シテ左様ハ言ハナイ、先刻此議場ニ於テ先決問題ガ起ツテ、此豫算ニ就イテ官制ニ立入ルベキヤ否ヤト云フ論ガ起ツタ本員ハ再ビ此事ハ言ハナイ、俸給令ニ此議會ハ立入ルコトヲ得ルヤ否ヤト云フ問題ガ起ツタ本員ハ之ニ就イテ再ビ言ハナイケレドモ、此俸給令ニ立入ッテハナラヌ官制ニ立入ッテハナラヌト云フコトハ、第一期以來政府ト議會ノ衝突デアッタノデ、第一期ニハ之ガタメニ諸君ガ爲シタ所ノ査定案ハ反古ニ歸シテ、我々——諸君カラ軟派ト稱セラレタル所ノ者ガ勝リ得タノデアアル、第二期ニハ之ガタメニ諸君ト政府ト衝突ヲ起シテ、政府ガ同意セスト云ヘバ即チ諸君ハ政府ハ同意ス

ベキデアアルト云ヒ、同意セズ同意スベキデアアルト云フコトニ就イテ、政府ガ同意シナイト云フモノヲ諸君ガ議定シタタメニ、議會ハ解散ニナッタノデアアル、此ノ如キ論デアアル此ノ如キ論點ヲ諸君ガ輕々ニ唯其事ノ賛成ノタメニ立ツテ演說ヲスル者ガアレバ、笑ツテ其演說ヲ聞キ流スガ如キコトガアッタノハ、餘リ諸君モ懲リ性ガ無イノデハナイイカト云フコトハ一言云ハナケレバナラヌノデアアル、諸君ヨシ是ガ官制ニ立入ル立入ラヌト云フ論ハ既ニ元田君之ヲ證明シ俸給令ニ立入ル立入ラヌト云フ論ハ牧君モ佐々木君モ之ヲ證明シタ、我々ハ再ビ之ヲ言ハナイ、我々ハ再ビ之ヲ言ハナイ所ガ、今年ハ此論ハ今日ハ已ニ否決ヲ致シマシタケレドモ、諸君ニ對シテ私共預ッテ置クト云フコトハ一言申サナケレバナラヌ、何故トナラバ既定ノ歳出ニ立入ルト云フコトハ我々ハ不同意デアアルト云フコトハ、第一期議會ニ於テ政府委員ハ、豫算委員會ニ於テ述ベ本會ニ於テ述ベタ、又昨年度即チ豫算委員會ニ於テ述ベ、本會ニ於テ述ベ政府ハ既定ノ歳出ニ立入ルトコトハ不同意デアアルト述ベタ、然ルニ過日本修正案ヲ議會ニ河野廣中君ヨリ報告セラレタ後ニ、渡邊大藏大臣ハ立ッテ演說セラレテ如何ニ言ハレタカト云ヘバ、其簡單ナル演說ノ終リニ於テ極ク簡單ナル言葉ヲ以テ、何レ既定ノ歳出ニ就イテハ諸君ヨリ同意ヲ求メラルハ言フノデアアル、又求メテ來タ時ニ是ガ官制ニ立入ルガ宜シイカ宜シクナイカラ言フノデアアル、俸給令ニ立入ルハ宜シイカ宜シクナイカト云フノデアアルガ、兎ニ角同意ヲ求メテ來タルマデハ默シテ止ムト云フ意味カ、此渡邊大藏大臣ノ簡單ナル御演說デアッタト思ヘバ本員ハ即チ其時ニ於テ諸君ト渡邊大藏大臣ト衝突スルノ日ヲ蹊ツタ、再ビ佐々木君ヲ喚起シテ再ビ元田君ヲ喚起シテ此演壇ニ於テ雄辯ヲ振ハシムルト云フ時機ガ確カニアリ得ルデアラウト思フカラ、本日ノ先決問題ハ姑ク諸君ニ對シテ御預リヲシタイト云フノデアアル諸君ヨ、兎ニ角此官制ニ立入ルノガ宜シイカ惡シイカ俸給令ニ立入ルノガ宜シイカ惡シイカ姑クトシテ措イテ、政府ニ諸君ガ同意ヲ求メテ即チ政府ガ之ニ同意ヲシナケレバ減ラサレナイト云フ金ハ、先刻申上グタ所ノ經常部臨時部ニ於テ八百八十四萬圓ノ内凡ツ幾百萬圓アルカト云フコトヲ本員ガ計算ヲシテ見ルニ、即チ政府ニ同意ヲ求ムベキ金高ト云フモノハ幾何アルカト云フコトヲ本員ガ計算シテ見ルニ、甚ダ少ナクナイ金デアアル、此既定歳出ト云フモノハ如何ナルモノヲ以テ既定ノ歳出ト曰フカト云フコトハ、マダ——議會ニ於テモ決セザル一問題デアアラウト思フ、是迄ハ既定ノ歳出デアアル否是迄ハ既定ノ歳出デアアルト云フコトハ一問題デアアツタ未ダ決セザル問題デアアルガ、姑ク其決セザル問題ニ就イテ本員ハ本員ノ意見ヲ此處ニ發表スルコトナク、會計法補則ヲ取來ツテ其會計法補則ニ稱シテ既定歳出ト云フモノハ一切既定ノ歳出デアアル、併ナガラ此既定ノ歳出ト云フモノハ先年曾テ議會ガ協賛シタモノデナケレバ既定ノ歳出デナイカラシテ、先年協賛シタ金高ヨリ澤山ナル金高ヲ政府ガ要求シタ時ハ、其澤山ナル金高ヲ減ラスト云フ丈ハ固ヨリ議會ノ自由ナル權利ノ中ニアルコトデアアツテ、増シタ金デナク前年度ト同様ノ金額ニ就イテ會計法補則ニ舉ゲル所ノモノヲ議會ガ削減セントスレバ、即チ憲法六十七條ニ依ッテ政府ニ同意ヲ求メナケレバナラヌ、之ガ既定ノ歳出幾許アリト云フコトヲ計算スレバ極ク簡單デゴザイマス、ザットコンナモノデアアル、經常

部ノ俸給及諸給ガ百三十三萬三千三百四十五圓八十九錢二厘、廳費ガ二十二萬八千五百二十一圓四十八錢七厘、修繕費ガ六千九百十七圓二十錢九厘、陸軍省屯田費ガ二千七百一圓四十七錢六厘、陸軍省憲兵費ガ七千二百八十五圓五十七錢七厘、海軍省軍事費ガ二十一萬三千六百三十九圓八十三錢、帝國議會ノ經費衆議院貴族院其法律ノ結果ニ據ルモノガ二萬六千三百五十四圓七十八錢三厘、裁判所ガ六十三萬四千五百六十六圓四十九錢二厘、行政裁判所ガ二萬三千六百三十三圓五十四錢、諸學校及圖書館支出金ガ二十四萬二千八百八十八圓四厘、會計検査院三萬二千六百六十九圓九錢四厘、沖繩縣地方費三千七百五十六圓六十六錢、小笠原地方費百三十二圓八十錢、合計シテ經常部中既定ノ歳出ト稱スベキモノガ二百七十四萬五千四百七十九圓三十二錢四厘、二百七十四萬五千四百七十九圓三十二錢四厘ハ經常部中ヨリ諸君ガ削減シタ既定ノ歳出デアルト云フコトハ本員ガ先刻申上タル如キ註解テ往ケバ明白ニ分ルノデアアル、ソレカラ臨時部ニ於テ即チ既定歳出ト稱スベキ臨時部中ノ俸給及諸給デ一萬四千八百八十七圓六十五錢五厘、廳費デ三千九百四十七圓二十二錢、合計シテ臨時部中ノ政府ノ同意ヲ求ムベキ所ノ既定ノ歳出一萬八千八百三十四圓八十七錢五厘、然レバ此經常部此臨時部雙方ノ既定歳出ヲ合計シテ見レバ、即チ諸君ガ削減シタル八百八十六萬圓ノ中ニハ二百七十六萬四千三百三十四圓十九錢六厘、二百七十六萬四千三百三十四圓十九錢六厘ハ確定ノ歳出デアリ、政府ノ同意ヲ求メナケレバ削減スルコトノ得ラレヌモノデアアルト御承知アツテ然ルベキ問題ガウ、之ヲ削減スルニ就テ政府ノ同意ヲ求メントスルヤ、先刻ノ先決問題ガ此議場ニ顯ハレ來ルモノデアルト云フ覺悟アツテ然ルベキデアラウ、處ガ此八百八十四萬圓ノ修正案ノ削減ノ中カラ唯今ノ自由討議、自由討議ハ間違デアル、唯今ノ既定ノ歳出二百七十六萬圓ヲ差引イタル殘リハ何デアアル、政府ガ同意シナケレバ到底削減セヌノデアアル、此金ハ果シテ政府ガ同意スルヤ否ヤト云フコトヲ本員ヲシテ考ヘシムレバ、是カラ後刻政府ガ斯クシタルバ同意スル答デアアルガ斯クシナカッタバ同意シナイト云フコトノ理由ハ後刻述ベマスルガ、兎ニ角本員ガ斷言スルハ出來マス、此二百七十六萬圓ノ既定ノ歳出ノ削減ハ政府ハ容易ニ同意スルコトハ出來マス、若シ之ヲ同意シ得ルナラバ在來ノ内閣ノ方針ハ目茶若茶ニナツタモノデアルト云フコト茲ニ言ハナケレバナラヌノデアアル、諸君八百八十六萬圓ノ今回ノ削減ノ内カラ唯今ノ既定ノ歳出ヲ除イタルバ、其殘リノ金ハ何デアゴザイマス、何ミヲ減ラシテ居ルカ、中野武營君曰ク之ヲ以テ必要ノ事業ニ充テ之ヲ以テ民力ノ休養ニ充テントス、日本人民四千萬若シ忠義ノ心アラシメバ、若シ萬一ヲ豫防スルト云フ所ノ用心深キ心アラシメバ、日本人民四千萬此四千萬人ヲシテ我帝國アリ我國家アリト云フヲ知ラシムル者ナラバ、中野武營君ノ言ハレタ之ヲ以テ民力休養ニ充テルト云フ其言葉ヲ聽イテ、餘リ人民ハ満足シナイコトデアラウト私ハ信ズルノデアアル、何ゼカ即チ八百八十六萬圓ノ減ラシタル金ノ内カラ既定ノ歳出ヲ引イテ、殘ル中ニハ凡ソ三百三十二萬圓ト云フモノハ軍艦製造費デアゴザイマス、此三百三十二萬圓ノ軍艦製造費ヲ減ラシタルト云フコトガ、果シテ忠義ナル國家アルコトヲ知ッテ居ル所ノ用心深キ日本人民ノ希望デアラウカ否ヤ、決シテ希望デハナイ、能ク杉田定一君ハ此處ニ立ッテ演説ヲセラルルガ、私ハ其言葉ヲ借リテ云フ、日本ハ環海ノ一國デアゴザイマス、環海

トハ海ヲ環ラスト云フコトデアゴザイマス、是ハ杉田定一君ノ言葉ヲ借リテ茲ニ言ヘバ此環海ノ一國ニ於テノ海軍唯今ノ海軍ハ或ハ不完全デアアルカモ知レヌ、其海軍ノ將校士官ハ果シテ不熟練デアアルカモ知レヌ、不熟練ナル將校士官之ヲ熟練ナサシメルガ必要デアアル、不完全ナル制度デアアル所ノ海軍省、此海軍ノ制度ヲ改革スルコトハ必要デアアル、本員ハ悉ク杉田定一君ノ改革上奏案ニハ贊成ハシナイケレドモ、又大ニ取ルベキ所アリト云フコトハ自ラ信ジテ居ル一人デアアル、併シ此改革ヲセント云フコト、此士官將校ヲシテ熟練ナラシメルト云フコト、軍艦ノ製造ヲ見合スベシ、否急グベシト云フコトハ同一ノ論デアラウカ、海軍ノ制度ガ完全シナイカラ士官ガ熟練シナイカラト云フデ、熟練スルノヲ待チ完全ナルヲ待ッテ、始メテ軍艦ヲ製造セントスレバ、其間ニ日本ノ軍艦ハ漸々老朽シテ來ル、ドウモ是ハ世ノ中ノ自然ノ勢ヒ、船ガ海ニアツテモ山ニアツテモ段々古クナルト役ニ立タナクナルモノト見エテ、諸君ガ之ヲ完全ニスル間ニ、此士官ヲ熟練サセル間ニモ天然ノ規則ハ待ツコトナクシテ、段々軍艦ヲ役ニ立タナイヤウニシテ行キツ、アルノデアアル、然ラバ完全ニスルコトモ宜シイ熟練サセルコトモ宜シイケレドモ、一方ニ軍艦ヲ製造シナケレバナラヌノハ明白ナルコトデアアル、況ヤ若シ完全ナラバ若シ熟練ナラバ、若シ我ミヲシテ海軍大臣ヲシメバ、若シ我ミヲシテ取ッテ代ラシメタナラバ、即チ十五萬噸ノ軍艦ヲ製造スルト云フ所ノ諸君ハ、今ヤ三百三十幾萬ノ金ヲ減ラシタル所ガ、其時ニハ使ハナケレバナラヌ、三百三十幾萬所デハ無イ、尙ホ澤山ノ金ヲ使ハナケレバナラヌコトヲ知ッテ居ルナラバ、此軍艦製造費即チ臨時部ノ二項ヲ削減タ、……削減シタルト云フコトハ總テ民力休養ト云フコトニ關係ガ無イト云フコトヲ御存知ナクテハナラヌ、是ハ昔シ支那ニ在ル古キ御話デアリマスガ、諸君ハ多分、私モ諸君モ曾テ子供タリシ時ニ親カラ聽イタ事デアリマスガ、諸君モ聽イタデアリマセウ、支那ニ昔シ金持ガアツタ、其金持ハ金ヲ使フコトガイヤデアツテカラ、トウク、垣ガ倒レテモ修繕セズ門ガ倒レテモ修繕セズ、金バカリ溜メルコトヲ考ヘテ居ツタ所ガ、一夜強盜ガ來テ皆シテ取ツタ往ツタト云フ話ガアル、ソレダカラ儉約モ度ガアルモノデアアル、曾テ子供ニ話サレタノヲ覺ヘテ居ルガ、(笑聲起ル)諸君ハ軍艦製造セザルモ我ミハ地價サヘ修正スレバ宜シイ地租サヘ輕減スレバ宜シイト云フナラバ、即チ昔ノ支那ノ金持ノ如キ事ニ立至ルト云フコトガ無イトハ云ヘナイカラ、諸君母親ノ教訓モ少シハ御守リニナツテ然ルベキコトダラウト深く信ジテ居ルノデアゴザイマス、(笑聲起ル)諸君ヨ、諸君ハ口ヲ開ケバ即チ曰ク民力休養、筆ヲ持テバ即チ曰ク民力休養、要スルニ支那ノ歴史ヲ見テモ日本ノ歴史ヲ見テモ將タ西洋各國ノ歴史ヲ見テモ、惡ルキ者ガ天下ヲ取ラントスレバ其唱ヘル所ハ民力休養デアッタノデアアル(拍手スル者アリ)善キ者ガ天下ヲ治メントスレバ其爲ス所ハ民力休養デアッタノデアアル、唱フル所ハ民力休養ハ惡シキ豪傑ヲ示シ、其爲ス所ハ民力休養ハ即チ善キ人物ヲ表シタルト云フコトハ、歴史上明白ノコトデアリマスガ、諸君ハ一期以來二期以來三期以來若シ速記録ヲ出シテ見タナラバ、速記録ノ百分一トハ云ハナイガ、先ッ萬分ノ一位ハ民力休養ト云フ文字デアラウ、其民力休養ヲ云フハ何人カラ出タカ民黨カラ出タト云フ、其民黨ノ諸君ノ爲ス所果シテ民力休養ナルヤ否ヤ、若シ斯ノ如ク諸君ノ度々唱フル所ノ民力休養ヲシテ、諸君ノ爲ス所民力休養タラシメバ、本員ハ實ニ昔ノ惡

ハ經常部デ七分ノ削減アルカニ必ズ政府ハ同意ノ出来ヌコトハアルマイト云ハレタガ、若シ割引算用ガ豫算ヲ減ラシ或ハ増スト云フ即チ國家ノ豫算ヲ編制スルコト云フノガ、割引算用ヲ用ヒラル、ナラバ、一割四分ノ削減ニ同意シタ政府ハ七分ノ削減ニハ無論同意スルデアラウト云フコトハ云ヘル、ケレドモ必要ノモノハ割引算用ニ必要ノモノ、ミ削ルト云フ論カラ見レバ、豫算編制ノ當リ前ノ仕方デアルト云フコトハ明白デアラナラバ、一割四分ニシテ同意スルモノ何故ニ七分ニシテ同意シナイト云フ論ハ立テラレナイ、中野君岩崎君河野委員長ノ三人ノ議論ハ確カニ衝突シテ、ドレカ本當デアアルカドレカ嘘デアアルカ、豫算委員ノ中ニハ割引算用ノ諸君モアルシ、不必要ナルモノヲ削減スルト云フ論モアル、何デモ數ヲ澤山減ラシサヘスレバ是デ愚民ヲ欺クニ足リルト云フヤウナ色ニ様々ナ議論ガ、委員中ニ混ジテ居ルト云フコトノ結論シカ得ラヌノデアアル、諸君若シ是ガ誤解デアアル——中野君ハ唯今誤解デアアルト云ツタガ、是ガ誤解デアアルナラバ岩崎君ノ如キハ割引算用ヲ用ヒタルデアナク河野廣中君ノ之ニシテ同意ガ出来ナイコトハナイト云フタコトハ、流石ハ河野廣中君、餘リ考モナシニ一時塞ギニ言ツタトシテ先ヅ恕シテ置イテ、之ニ割引算用ヲシタ證據立ヲサスレバ、木員ハ此所ニ證據立テラ修繕費——各本省ノ修繕費ニ就イテ一言シマス、外務本省ノ修繕費此修繕費ニハ、即チ何項ト云フ外務本省ノ第二項ノ修繕費ハ政府ハ要求書ヲ出シ、其要求書ノ外ニ細目ト云フモノヲ豫算委員ニ示シテアル、此要求書ノ外ニ細目ト云フモノヲ出シタ所デ、外務本省ノ修繕費カラ丁度一割ヲ削リテアル、丁度一割削リタノ何ヲ一割削リタシタ、丁度一割ニ當ル所ノ或ル細目ガアルカ或ル一ノ細目、ソレハ一項ノ丁度一割ニ當ルモノガアツテ、ソレヲ削リタ云フナレバ、割引算用デ無カッタデアアル、處ガ本員ハ外務本省即チ第二項ノ修繕費ノ細目デ、一割ニ當ルモノガナイト云フ、ニ一割減ラシタト云フコトヲ明白ニ見居ケテ居ル、内務本省ハ修繕費ハ何時モ穩カデアアツテ、此度モ減ラテ居ラナイ、海軍省ハ如何デアアルカ丁度一割減ラシテ居ル、海軍省ハ如何デアアルカ丁度一割減ラシタ、農商務省大藏省ハ或ル一項目ヲ減ラシテアルカラ、是ハ一割割引算用デナカッタ、遞信本省ハ是ハ一割五分減ラシテ居ル、ナゼ他ノ省ハ一割、一割、或ハ不必要ト認メタモノヲ減シナカラ、遞信省ハ一割五分デアアルガ、委員ハ誰デアアルカ知ラナイガ、遞信省ノ受持ノ御方ハ——私ハソレヲ知ラズシテ想像シテ思フニハ、過激派中ノ過激ノ御方デアアツタ云フコトハ確カニ想像ガ出来ルト思フ、斯ノ如ク割引算用ヲシテ居リ、割引算用ガ同一デナイト云フコトハ明カデアアル

旅費ハ如何デアアルマスカ、各本省ノ旅費、此旅費ハ如何デアアルカト云ヘバ、外務省ハ即チ或ル細目ニアルモノヲ減ラシテ居ル、即チ之ガ不必要ト認メラレタノヲ減ラシタデアアツテ、岩崎萬次郎君ノ御議論ハ誠ニ御尤モデアアル、内務本省陸軍省大藏省ノ如キハ稍ツレニ近イ所ハアルケレドモ、海軍省ノ如キハ細目ニ就イテハドウシテモ是ハ一割ニ當ルモノヲ減ラシタモノデアアルトハ認メラレナイ、確カニ一割ヲ減ラシテ居ル、文部省ハ一割半程減ラシテアル、處ガ司法省ト農商務省トハ二割ヲ減ラシタ、遞信省ハ二割餘リ減ラシタ、此割引算用ヲ旅費ニ就イテ用ヒタルハ外務省ニ司法省ニ農商務デアアルガ、甚ダ氣ノ毒ノコトニハ二割減ラサレテ居ル、海軍省ハ一割デ済ンデ居ル、其他ハ見計ライデ成ツテ居ル、斯ノ如ク修繕費ニ於テ證據立ツテラレラ

據ガアルノニ——斯ノ如ク旅費ニ於テ證據立テラレラ事實ガアルノニ、諸君ハ割引算用ヲ用ヒテカラニ自由討議ニ二百一萬圓ノ金ヲ削リ出シタノデアルト云ヘバ、曰ク誤解デアアル、岩崎萬次郎君曰ク決シテ割引算用ヲ用ヒナカッタ、——割引算用ヲ用ヒナイト云フノハ古イ言葉ダガ、今ニ諸君ハ採リツツアルノデアアル、成ル程此處ニ今年ノ豫算委員ハ流石三年經テバ三ツ兒デアアル(笑聲起ル)——一昨年豫算委員ヨリモ昨年ノ豫算委員ヨリモ大ニ進歩シテ居ル、幾分カ改良シテ居ル、併シ品物ナラバ改良ダガ、諸君デアアルカラ幾分カ斷斷ガ發達シテ居ル(笑聲起ル)豫算委員ノ査定ノ方針ハ今回定メラレタノハ確カ七箇條ト思ツテ居リマス、今回定メラレタ査定ノ方針ハ之ヲ第一期ニ較ベ第二期ニ較ベテ多少ノ相違ハアルケレドモ、左迄違ツタ所ヲ見ナイ、唯一ツ違ツタ所ヲ見タルハ、即チ別表トシテ廳費ノ減シ方ノ標準ガ出テ居ル、ソレハ如何デアアルカト云ヘバ、各省ニ是迄ノ廳費ヲ細目ニ分ツテ、或ハ其備品費トカ或ハ備ヘル品ノ入費トカ或ハ印刷費トカ、ソレノ細目ニ分ツテ、其細目ニ分ツタモノヲ在來ノ各省ノ定員ニ割付ケテ見テ、其割付ケタ平均ヲ以テカラニ、是カラ是マデ位ニスレバ在來モ濟ンデ來タルデアアルカラ、僅カ一割位ニ割位ノ用捨ヲスレバ濟ムダラウ、故ニ各省共ニ同一ノ割引ヲナサズシテ、在來餘計ニ使ツタ所ハ若クハ餘計要ルト思フ所ハ餘計ニ殖ヤシテ置ケト云フ細目ノ標準ヲ定メテ、一項ノ廳費ニ當テ、減ラシタト云フコトガ本年ノ豫算ニ出テ居ル、廳費ハ昨年モ減ラシテ居ル、現ニ昨年ノ方針ノ如キハ一割五分ヲ減ラスト云フコトヲ明白ニ書イタ程ニ減ラシタ割引キシタデアアル、處ガ今年ハ廳費丈ハ流石ハ諸君ノ三年經ツタカラ御發明ヲナサツタデアアル、本員ハ此一項ノ廳費ノコトニ就イテハ、諸君ノ苦心ノ程ハ深ク察シ奉ルノデゴザイマス、處ガ廳費ニ就イテ割引算用ヲ用ヒナイ方ガ割引算用ヲ用ヒルヨリハ豫算編制ノ順序ニ於テ宜シイト云フコトヲ知ツタカラ、諸君ガ即チ昨年一昨年ノ非ヲ知ツタ此方法ヲ採シタナラバ、何故ニ何ヲ若シデ何ガタメニ修繕費旅費ニ於テ相替ラズシテ在來ノ非ヲ悟ラズシテ、相替ラズ割引算用ヲセラル、ノデアアルカ、諸君ヨ此一點ニ就イテ尙ホ委シク言ヘバ段々長ナリマスカラ委シクハ申シマセヌガ、此一點ニ就イテ先刻來ノ中野武營君ノ議論モ、河野廣中君ノ議論モ、岩崎萬次郎君ノ議論モ、各國ノ役人ニ較ブレバ日本ノ官吏ハ割合ニ高イト云フ御議論——割引算用ハ用ヒマセヌデアアル、割引算用ヲ用ヒマセヌト云フコトハ、反對論者ガ云ヒ、割引算用ヲシタノデアルト云ヘバ即チ誤解デアアルト云フ、誤解デアアルト云フ以上ハ割引算用ト云フモノハ、豫算ノ編制上宜クナイト云フコトハ反對論者ガ知ツテ居ルノデアアル、其宜クナイトヲ知リツ、反對者ガ之ヲ匿サントスルコトハ明白ニ豫算ノ數ノ上ニ現ハレタト云フナラバ、此査定案既定ノ歳出ハ姑ク問ハズ、軍艦ノ需品費常備品費ノコトハ姑ク問ハズ、即チ自由討議ニ二百一萬圓ノ削減ト云ツテモ、斯ナコトヲシテハ滅茶苦茶デアアツテ到底行政ノ機關ハ動カナイノデアアル、斯ナモノハ流石今日ノ政府デアアル御同意ハ爲サラヌデアアラウ、ソレトモ板垣サンヤ大隈サンガ内閣ニ立ツテ、自分ノ財産ヲ御持出シニナルナラバイザ知ラズ、自分ノ月給ハ當リ前ニ取ラウトスル人慾ノアル大臣ニハ斯ナ豫算デハ仕事ハ出来ナイノデアアル、諸君ハ行政機關ノ滯滯ヲ來サントシテ二百一萬圓ノ削減、其削減ハ割引算用デアアツテ到底出来ナイコトヲ以テ望

ムノデアル、出來ナイコトヲ望シテ民力休養ヲスベシ、斯クシテ地
租輕減ヲスベシ、斯クシテ地價修正ヲスベシト諸君ガ唱ヘルノハ取リモ直
サズ我四千萬ノ國民ヲ哺養スルノデアルト云フコトハ角五郎茲ニ斷言シテ少
シモ憚ラヌノデアル、(田中正造君、哺養ノ語ハ汝反省セヨト言フ)諸君、之ヲ
要スルニ即チ既定ノ歲出ハ二百七十幾萬ノ節減ハ政府ガ同意ヲシナケレバ
往カナイ、又軍艦製造費國庫像備金ノ減額ハ四百幾萬是ハ減額ヲ所ガ是
ハ減額ヲ所ガ是ハ減額ヲ所ガ是ハ減額ヲ所ガ是ハ減額ヲ所ガ是ハ減額ヲ所ガ是
減ハドウカト云フニ係給諸給ノ削減モ同ジ病ニ罹ラセ居ル、其病ハびつこデ
アル妙目デアルト云フ程ナ病ニ罹ラセ居ル、況ヤ諸君ガ割引算用ヲ致シマセ
ヌト言フテ算用ガ確カニ行ハレテ居ルト云フナラバ、八百八十四萬餘圓ノ削
減ヲ爲シタルト云フモノハ此結局ノ運命何ノ處ニ到ルデアラウ、此結局ノ運命
何ノ處ニ到ルデアラウ、第一期ノ査定案ノ運命ヲ得タラ諸君ノ仕合セデア
ル、第二期ノ運命ヲ得タラ是ハ諸君ト我ノ不幸デアアル、今回ハ如何ナル運
命ニ立至ルデアラウカ、十五日間委員諸君ガ先キニ議ヲ遂ゲ尙ホ幾日間ノ議
論ヲ爲シタルハ到底水ノ泡ニ歸スルノデアル、元田肇君ハ五年カ七年經ッ
テ元田ノ論ガ宜イト言フデアラウト云フコトヲ茲ニ明言シテ置クノデアル
近イ中ニサウナルデアラウ、諸君ハ年々戲レ計リシテ遂ニ議會ハ廢止スベシ
ト云フ論ガ起ラデアラウト云フコトヲ茲ニ明言シテ置クノデアル
諸君ヨ、併ナガラ免ニ角本員ハ本豫算案ノ今回ノ修正ハ昨年ヨリモ進歩シテ
居ルト言ハナケレバナラヌ、或ル點ニ就イテ又其金ノ減額ヲシ方ガ政府ノ節減
ト相近ゾイテ居ル、況ヤ政府ハ同意ノ事ニ就イテ諸君ガ同意ヲ求メレバ政府
ハ即チ其同意不同意ヲ發表スルガ、ソレ迄ハ政府ト諸君ト衝突ノ時期ガ延ビ
テ居ル、是等ノ事ニ就イテ本豫算案ニ本員ガ反對スルノ熱心ハ前年度前々年
度ニ反對シタル熱心デナシテ置クノデアル、反對スルニ就イテモ又大ニ賛成ヲスル所
アルガ、唯奈何セシ減額ヲシ方ガ惡シ、唯奈何セシ諸君ハ何故ニ和衷協同和衷協同
ト云フ言葉ヲ口ニ唱ヘ、岩崎君モ河野廣中君モ言ヒ中野武營君モ亦言ハレタ
和衷協同和衷協同ト云フコトヲ以テ飽迄モ彼ハ何モ箇モ讓リ積リデアアル
ト言フテ其辭讓リマセヌ、何モ箇モ議會ト仲ヲ好クスルト云フ癖ニ實際ハ仲ガ
好クナイ、此和衷協同ノ四字ヲ以テ口實ト爲シテ居ルノニ、諸君ガ殊更ニ之
ニ背ク様ナコトヲナシ諸君ガ殊更ニ口實ト爲シテ居ルノニ、諸君ガ殊更ニ之
反對スル結果ニナル、政府ハ和衷協同ヲ爲スト云フコトヲ他年爲サシメント
スルノカ、第一期議會ニ於テ本員ハ唱ヘタ、第二期ニモ唱ヘタ、況ヤ第一期
ニ特別委員九名ヲ選ビ特別委員九名ガ政府ト協議シタル結果ハ、特別委
員九名ガ協議シタル結果ハ確カニ六百五十一萬二千幾ラヲ減ラスコトガ出來タ
ト云フコトデアアルガ、今回ハ豫算委員會ニ於テ政府ト協議スベシト云フ議論
モ起ラヌ、曾テ協議シタルコトモナイ、尤モ先刻中野武營君ハ海軍省ノ金ヲ減
シタルコトニ就イテ軍艦製造費ノ事ハ反對シタケレドモ、其外ハ大抵政府委員
モ同意シタル先刻中野武營君ハ言ハレタガ、委員會ノ速記録ハ配付シテ我
ノ手ニアリマス、又政府委員モ現在此處ニ居ラレデアアルガ其様ナコトハナ
イ、中野君ガ此言葉ヲ發セラレタノハ唯議場ヲ哺養スル言葉ニ過ギナカッタ
ト云フナラ免モ角、是ガ事實ト云フナラバ委員會ノ速記録ノ何レノ處ニ政

府ガ同意スルト云フコトガ書イテアル、又政府委員ハ現在此處ニ現ハレテ陸
軍省海軍省ノ豫算削減ニ同意ヲ表スルト云フコトヲ言ハレタカ、要スルニ政
府委員ハ左様ナコトヲ言フタ覺ユハナイト言フニ違ヒナイ、若シ言フタ云フ
コトデアレバ今日既ニ政府委員ハ此處ニ居ルコトガ出來ヌ程デアアル、政府ガ
軍艦製造費削減ニ不同意ヲ唱ヘタ者ガ之ニ同意スルト云フコトハアリマス
マイ、然ルニ不同意ヲ唱ヘタ者ヲ既ニ同意スルト云フテ居リマスト云フテ、
和衷協同ノ四字ヲ利用セントスル中野武營君岩崎萬次郎君河野廣中君ガ此ノ
如キコトヲ言フテ此議場ヲ哺養セントスルガ如キニ至ッテ、更ニ多數ノ決議
ヲ以テ之ヲ告訴スル外ハ無カラウト思フ程ノコトデアアル、(笑聲起ル)諸君、
併ナガラ本員ハ是ニ於テ先刻ノ動議ノ如クニ再ビ之ヲ豫算委員會ニ付託シヤウ
ト云フコトハシマセヌ、何ゼ言ハナイカト云フニ此豫算ノ修正ハ昨年ヨリ一
歩進シデアアルト認メタ以上ハ、我々ハ更ニ豫算委員會ニ付託スルガ宜シイト云
フ様ナコトハ言ハヌ、又是ニ於テ政府ト協議スベシト云フ様ナコトモ言ハ
ヌ、本員ハ此豫算修正案ノ全體ニ就イテ反對デアアル、各款各項ニ於テ或ル部
ハ賛成ヲ表シマス、併ナガラ全體ニ於テハ反對デアアル、斯ク大體ニ於テ反對
ヲ表シ多數ノ部分ニ、各款項ニ反對ヲ表スルケレドモ、一々其項其款ニ
就イテ演説ヲナシテハ之ガタメニ時日ヲ費スカラ述ベヌ、ソレデモ之ガタメ
ニ時日ヲ費シテモ是ガ他年一日修正案ガ用ラル、コトガ出來ルモノナラバ、
ソレハ議論モ費スガ、到底反古ニ歸スル此案ニ就イテ無闇ニ時日ヲ費スコト
ハ厭ヤデアアルカラ、豫算修正案ニ就イテ反對ノ意見ヲ述ベテ置クノデアル、
諸君ハドウカ是ヨリ政府ト協議スベシ諸君ハドウカ再調査ヲナスベシト云フ
コトハ敢テ注文シナイガ、第一期ノ例モアッテ和衷協同ノ四字ニ依ッテ
同意ヲシテ居ルニ何故ニ斯ク迄諸君ガ彼ニ口實ヲ與ヘ、民力休養ヲ口ニ唱ヘ
テナガラ何故ニ之ガ出來ヌカト云フコトニ就イテハ一言非難ヲスルノデアル、
終リニ臨ンデ、(簡單ト呼ブ者アリ)未ダ(遺ルベシト呼ブ者アリ)
○議長(星亨君) 成ルベク簡單……
○井上角五郎君(七十八番) 未ダ六時ニハ間ガアリマス、(簡單々々ト呼ブ者
アリ)今一時間迄ハ掛リマセヌ、(遣リ給ヘト呼ブ者アリ)諸君ガ七時迄待
テ呉レバ宜シイ、(ドウ云フ趣意デスカト呼ブ者アリ)反對ト云フノデアアリマ
ス、(査定案ヲドウスルト云フノデスカト呼ブ者アリ)即チ査定案ニ反對ト云
フノデスカト云フノ如ク論ジ來ッテ、即チ先刻岩崎萬次郎君ノ言ハレル如クニ
豫算不成立——此豫算不成立ト云フモノハ、政府ニ取ッテモ議會ニ取ッテモ
將タ國家ニ取ッテモ、不仕合ナコトデアアルカラ、ドウカ豫算不成立ノナイ様
ニト云フコトヲ言ハレタガ、如何ニモ其通り豫算不成立ハ宜クナイコトデア
ル、此宜クナイ所ノ豫算不成立ト云フモノハ、右本員ガ述べ來リタル如ク自
由討議ノ削減ノ仕業、右本員ノ述べ來リタル如ク既定歲出ノ削減ノ仕業、況ヤ
軍艦製造費ノ削減、國庫像備金ノ削減ノアル以上ハ、即チ本員ハ此豫算不成
立ノ結果ガ生ジテ來ルト云フコトヲ信ジテ居ルノデアアル、處ガ此豫算不成
立ト云フコトニ就イテ、議會ノ多數就中民黨ノ諸君ハ甚シキ想像ヲナスノデア
ル、何ヲ甚シキ想像トカ云ヘバ、豫算不成立ハ政府ノ困難シナイノデアアル、困
難シナイノデアアル、本員ハ言フ決シテハ政府ハ困難シナイノデアアル、困
難シナイノデアアル、是ハドウ云フ思想カラ起リ來ッタカト云ヘバ、維新前二國ノ政治

ハ一切萬事政府ガ爲シテ、御上様ノ御命令我々下方ニ於テハ背クコトハ出来ナイト云フ時分ノ腦髓ガマダノ諸君ノ頭ニ殘テ居ルカラデアラウト思フ、何故ナレバ政府ノ使フモノハ一切政府ノ費用デアルト思ヘバコソ、取リ直サズ豫算不成立ハ政府ノ困難ニナルト云フカモ知レマセヌ、併ナガラ現在ニ於テ俸給諸給ハドウデアルカ、既定ノ歳出ハ前年度通りニ使ヘバ、之ガタメニ役人ヲ減ラスコトモ要ラナイ、廳費ハ如何デアルカ既定ノ歳出之ヲ前年度通り使ヘバ廳費ノタメニ此等ノ所ノ石炭ヲ減ラシ、朝晩ニ飲ム所ノ茶ヲ少ナクスルト云フ必要ハナイ、況ヤ修繕費トカ營繕費トカソレソレ大概ノモノハ、皆是ハ前年度通りニヤルコトガ出来テ、豫算不成立ノタメニ出来ヌト云フハ、總テ各官省ノ新事業デ、先年ニ其例ガナクシテ今年新ニ始メルト云フ新事業ノミデアル、其新事業ガ出来ナカッタナラ政府ガ困マルカ、出来ナカッタナラ議會ガ困マルカ、出来ナカッタナラ國民ガ困マルデアラウト云フコト、鐵道ガ架ラヌ所ガ政府ハ何トモナイ、大學校ノ新築ガ出来ナイ所ガ政府何トモナイ、砲臺ノ建築ガ出来ナイ所ガ政府何トモナイ、最モ國家ノタメニ憂フベキコトデアルケレドモ、政府ハ其タメニハ少シモ困難ガナクシテ、却テ前年度通りニヤレバ役人モ減ラサズニ濟ム、飲ムベキ茶モ飲ミ焚クベキ薪モすゑニ焚クコトガ出来ルナラバ、豫算不成立ハ諸君ノ思フ如ク政府ハ苦ムモノデハナイ、然ルニ尙ホ且ツ政府ガ苦ム如ク諸君ノ想像スルノハ、政府ノ入費ト云ヘバ御上様ノ御使ヒデアル入費デアルト云フ、舊來ノ思想ガアラフコト云フコトヲ茲ニ言フテ置カナレバナラヌ、然ルニ其ノ如ク政府ハ之ヲ苦マズ、寧ロ苦ムモノハ即チ新事業ガ出来ナイノデアル、新規ノ費目ノ支出ガ出来ナイ位ナコトモ、今同モ追加豫算ヲ出シテ必要ノ事業ニ支辨シ、國庫豫備金ヲ以テ臨時支出ヲ爲シテ必要ナルモノハ支拂ヒ來テ、少シモ政府ハ不成立ノ痛痒ヲ感ゼザル、然ルニ痛痒ヲ感ゼザル所ノ不成立ト云フコトヲ、諸君ガ一ノ……トシテ若シ政府ガ此既定ノ歳出ノ削減ニ同意シナケレバ、即チ豫算ハ不成立トナツテ政府ヲ苦メル、若シ政府ガ此自由討議ノ如キ削減ニ向ツテ満足シナケレバ、議會ハ即チ豫算ヲ不成立ニシテ政府ヲ苦メル……、就中中野武營君ノ如キ斯様ナコトデアルカラ、岩崎萬次郎君ノ如キ道理デアルカラ、此豫算ニハ政府ガ同意スルニ相違ナイ、既定ノ歳出ニ二百七十六萬圓ノ削減モ政府ハ之ニ同意シ、其他……同意スルニ相違ナイト云フガ如キ想像ヲナスノハ、餘リニモ諸君ガ豫算ヲ取調ベナイ結果デアツテ、諸君今日ノ仕業ハ他日人民ヲシテ、彼等民黨今度斯ノ如キ仕業ヲ爲シタカラ地價修正モ出来ナイ、地租輕減モ出来ナイ、彼等民黨ハ斯ノ如キ仕業ヲ爲シタカラ又今年モ陳情委員ヲ東京ニ出シテ、色々様々ノ入費ヲ使ツテ政府ニ歎願シナケレバナラヌト云フ如キ、歎息ノ聲ヲ發セシムルハ必ズ諸君デアツテ、諸君ガ斯ノ如キ歎息ノ聲ヲ發セシムルガ如キ罪ヲ作ラントスルモノハ、豫算不成立ニ就イテ諸君ガ十分ナル考ヲ持タヌカラデアアル、豫算編制ノ順序ニ就イテ割引算用ヲ致シテ、此目的ヲ達シテ無闇ニ政府ヲ威シテ同意サセヤウトスルカラデアアル、取リモ直サズ諸君ハ和衷協同ノ四字ニ就イテ考ヲ忘レタカラデアルト云フコトハ、茲ニ明言シナケレバナラヌノデア

ノデアリマス、豫算ノ削減ノコトノ終リト、本論ノ結末ヲ付ケルノデアル、諸君ハ此伊藤内閣——本員ハ即チ此處ニ明言スル伊藤内閣ノ方針ニ賛成ヲ表スルカ、反對ヲスルカト云ヘバ、悉クト云フコトハ言ヘナイコトハ、過日モ酒稅改正烟草稅ノ改正ニ起リテ表シナカッタガ、併ナガラ寧ロ彼等民黨ニ贊成スルヨリハ即チ本員ハ此政府ニ贊成ヲ表シテ、政府ノ方針ニ從ツテ行カウト云フ者デアルト云フコトハ、茲ニ明言スルノデアアル、處ガ此政府ハ過日方針ヲ諸君ニ示スニ當ツテ、如何ナルコトヲ初メニ言フタ即チ伊藤伯ノ方針ヲ井上伯ガ朗讀シテ——演說デハナイ朗讀シテ言フ、其首メニ余輩先キニ至尊ノ大命ヲ格ニ國務大臣ノ重任ヲ辱フシ嗣後僅ニ數箇月——即チ現内閣ハ此ニ内閣ヲ組織シテ、現内閣ハ現内閣ノ地位ヲ取ツテ僅ニ三四箇月デアアル、サウシテ其方針中ニ唱ヘタコトハ地方官ハ如何ニスルトカ、或ハ國家ノ經濟ハ如何ニスルトカ、軍備ノ擴張ハ如何ニスルトカ、或ハ大體政治ノ方針ハ如何ニスルトカ云フコトハ、是迄斯ノ如クセズトカ斯ノ如クシテ來タト云フ方針デアナル、其後來斯ノ如クスル積リデアルト云フコトヲ示シテアル方針ハ、諸君ニ取ツテ御不同意ノ點モゴザイマセウ同意ノ點モアルデアラウガ、然ルニ斯ノ如キ内閣ヲ組織シテ以來、僅ニ數箇月、此政府ニ向ツテ、諸君曰ク是丈ノ削減ヲシナケレバナラヌ、是丈ノ削減ニ同意シナケレバナラヌ、何故選舉干渉ノ始末ヲ十分ニシナイ、何故ソレハ斯ウスルカラ、スルカト云フコトハ餘リ諸君ガ早マリ過キハシナイカ、少シク假スニ時日ヲ以テスルト云フコトガ出来ハシナイデアラウカト云フコトヲ諸君ニ言フコトデアアル、之ヲ諸君ニ述ベルト同時ニ諸君ハ在來政權爭奪、政府ヲ取ツテ代ルコト云フノ考ノ御方デアアルト思フタ、ケレドモ思ヒノ外政權爭奪ト云フガ如キ大望、政權ヲ取ツテ代ルテ自分デ内閣ヲ組織シテ見ヤウツ云フガ如キ膽力ハ無キ御方デアアルコトヲ一言シナケレバナラヌ譯デアアル、何故デアアル、斯ノ如キ査定案ヲ以テ諸君内閣ヲ組織シテ御覽ナサイ、大隈サンノ身代板垣サンノ身代ハ一日ニ費チ十二月ノ議會ニ立派ニ何事モ始末シ得ルカ、積年ノ積弊——中野武營君ハ曰ク斯ノ如キコトガ政府ニ出来ナイノハ情實デアアル、是ガ中野武營君ノ演說ヲ終ル時ノ言葉デアツタガ、總テ政府ニハ情實事情ト云フコトガアルカラ何モ出来ナイト云フガ、此情實事情ト云フモノハ又政府ニハ幾年間續キ來ツテ居ルカ、二十幾年間續キ來ツテ居ルノデアアル、況ヤ諸君ガ攻撃スル非難スル選舉干渉——事實ノ有無ハ私ハ茲ニ言ハヌ、假ニアリトシタ所ガ前ノ内閣ニ起ツテ幾日前ニ起ツタノデアアルカ、是ガ板垣君是ガ大隈君此政府ヲ取ツテ代ルタ其即日出來得ルデアラウカ、今日迄ノ此豫算修正ノ諸君ノ御手際デハ、今日マデノ諸君ノ議論ノ有様デハ、就中昨日ノ海軍省改訂ノ建議案ノ御出シ方ノ御手際デハ到底出來ナイ、出來ナイコトヲ望ミ、ドウシテモ此豫算ハ斯ノ如キ修正ヲ爲シテハ實行ガ出来ナイコトヲ遺ラントスル、就中一方ニ十五萬噸ノ軍艦ヲ製造シツ、一方ニハ地租輕減地價修正ヲ爲シ菓子稅ヲ廢シ人力車稅ヲ廢シ、出來ヤウカ出來ナイコトヲ望ミツ、政府ヲ責メルノハ他年一日ドウシテモ我々取ツテ代ルコトハナイノデアアル、ドウセ到頭末マデ次男デ終ルノデアアル厄介物デ終ルノデアアルカラ、今日ニ於テ苦情ヲ言ハヌノハ損デアルト云フ御思召デ、遂ニ今日諸君ハ相續人ニナルト云フ御思召ノナイ

ト云フコトハ明白ノコトデアラガ、斯ク申シタラ諸君ハ満足セヌノデアラウ、満足セヌナラバ他年一日民黨内閣ヲ作り、他年一日民黨政治ヲナシテ、國民ヲシテ民力休養ノ實ヲ知ラシメントスル御希望ガアルナラバ、正々堂々ノ陣ヲ張ツテコソ然ルベシト思フ、正々堂々ノ陣ヲ御張りニナルナラバ斯ノ如キ豫算査定、政府ハ到底同意シナイノデアアル、斯ノ如キ豫算ノ査定、到底是ガ實際ニ行ハレヌノデアアルト云フコトガ御分リニナラウト思フナレバ、取りモ直サズ本員ハ此豫算修正案ノ本議會ニ於テ否決セラレシコトヲ希望スルガタメニ是丈ノ演説ヲ致シマシタ

○議長(星亨君) 諸君ニ御諮リ申シマスガ、モウ大體議ニ就イテ随分長イ討論ガアツタト考ヘマスカラ、討論ハ此處デ終結シタラドウデセウ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(星亨君) 然ラバ明日カラ各省ニ就イテ……

○議長(星亨君) 唯今ヨリ次ノ議事日程ニ移リマス、朗讀ヲ省キマス

第二 取引所法案(政府提出)

第一讀會

取引所法

第一章 取引所ノ設立

第一條 賣買取引ノ繁盛ナル地區内ノ商人ハ政府ノ免許ヲ受ケテ一種若ハ數種ノ物件ノ取引ヲ設立スルコトヲ得

第二條 同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ハ一地區一箇所ニ限り設立スルコトヲ得

第三條 取引所ノ免許年限ハ七箇年トス但土地商業ノ情況ニ依リ更ニ繼續ノ出願ヲ爲スコトヲ得

第四條 株式會社組織ノ取引所ハ營業保證金ヲ政府ニ納ムヘシ

第五條 取引所ハ土地商業ノ情況及賣買取引スヘキ物件ノ種類ニ由リ會員組織又ハ株式會社組織ト爲スコトヲ得

第六條 會員組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲立人及會員ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得

株式會社組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲立人ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得

第七條 取引所ハ法人トシテ財産ヲ所有シ及之ヲ處分スルコトヲ得

取引所ノ責任ハ其ノ財産ニ限ルモノトス

第八條 取引所ノ定款ハ政府ノ認可ヲ受ケヘシ

第三章 取引ノ會員、株主及仲立人

第九條 取引所設立ノ府縣内ニ於テ一箇年以上其ノ取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ハ定款ノ規程ニ從ヒ其ノ取引所ノ會員トナルコトヲ得

二箇年以上其ノ取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ニシテ年齡二十五歳以上ノ者ハ政府ノ免許ヲ受ケ其ノ取引所ノ仲立人トナルコトヲ得

一種ノ商業ニ付前項ノ資格ヲ有スル者ハ土地商業ノ情況ニ依リ二種以上

ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ノ仲立人タル免許ヲ受クルコトヲ得

第十條 帝國臣民ニ非サレハ取引所ノ會員、株主又ハ仲立人トナルコトヲ得ス

婦女、未成年者、公權剝奪及停止中ノ者、復權セサル破産者及家資分散者並取引所ニ於テ除名ノ處分ヲ受ケタル者ハ取引所ノ會員タルコトヲ得ス

重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用ヲ害スル罪、財産ニ對スル罪、商業及農工業ヲ妨害スル罪ヲ犯シテ刑ニ處セラレ其ノ満期若ハ赦免後二箇年ヲ經サル者及前項ニ該當スル者ハ取引所ノ仲立人タルコトヲ得ス

第十一條 取引所ノ會員ハ自己ノ計算ヲ以テスルノ外取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

仲立人ハ自己ノ計算ヲ以テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

仲立人ハ委託者違約シタル場合ニ於テ相手方ノ請求アルトキハ自己ノ計算ヲ以テ其ノ取引ヲ繼續スヘシ

第十二條 取引所ノ仲立人ハ其ノ免許ヲ受クルトキ免許料ヲ納ムヘシ

第十三條 取引所ノ會員及仲立人ハ身元保證金ヲ其ノ取引所ニ納ムヘシ

第十四條 取引所ハ其ノ秩序ヲ保持スルカ爲メ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ仲立人ノ營業ヲ停止シ五百圓以内ノ過怠金ヲ課シ且政府ノ認可ヲ受ケ會員又ハ仲立人ヲ除名スルコトヲ得

第十五條 取引所ノ役員ハ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ株主中ヨリ二箇年以内ノ任期ヲ以テ之ヲ選舉シ政府ノ認可ヲ受ケヘシ

取引所ノ役員左ノ如シ

理事長 一人

理事 二人以上

監查役 若干人

理事長及理事ハ會員ニ非サル者ヲ選舉スルモ妨ケナシ

第十六條 第三項ニ該當スル者ハ取引所ノ役員ト爲スコトヲ得ス

第十七條 取引所ノ役員及雇人ハ取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス但監查役ハ此ノ限ニアラス

第五章 取引所ノ賣買取引

第十八條 取引所ノ賣買取引ハ直取引、延取引及定期取引ノ三種トス

第十九條 取引所ノ賣買取引ノ方法ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 取引所ハ其ノ定款ニ依リ賣買取引ニ付證據金ヲ納メシムルコトヲ得

第二十一條 取引所ハ賣買取引ノ責任ヲ履行セサル者アルトキハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第二十二條 株式會社組織ノ取引所ハ賣買取引所ノ違約ヨリ生スル損害ニ付賠償ノ責任ヲ任セシ

前項ノ場合ニ於テ取引所ハ其ノ賠償シタル金額及之ニ關スル諸費ノ追償ヲ其ノ違約者ニ要求スルコトヲ得

第二十三條 取引所ハ賣買取引高ニ應シ賣買双方ヨリ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

トヲ得其ノ率ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ
第二十三條 取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債主ニ對シ優先權ヲ有ス

第二十四條 取引所外ニ於テ取引所ノ定期取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス
第二十五條 市場ノ體裁ヲ成シ取引所ノ延取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲サント欲スル者ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第二十六條 取引所ニ於テ賣買取引シタル物件ノ相場ハ公定相場トス
第六章 取引所ノ監督
第二十七條 農商務大臣ハ取引所ノ行爲法律命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取引所ノ解散
二 取引所ノ停止
三 取引所ノ一部ノ停止若ハ禁止
四 役員ノ解職
五 會員又ハ仲立人ノ營業停止若ハ除名

第二十八條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ官吏ヲシテ取引所ノ業務、帳簿、財產其ノ他一切ノ物件及仲立人ノ帳簿ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ取引所ノ役員及仲立人ハ其ノ物件ヲ提供シ質問ニ應答スヘシ

第二十九條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ取引所ノ定款ヲ改正セシメ又ハ其ノ決議及處分ヲ停止シ、禁止シ若ハ取消スコトヲ得
第三十條 取引所任意ノ解散ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第七章 罰則
第三十一條 第十一條、第十六條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十二條 第二十四條、第二十五條ニ違背シタル者及公定相場ヲ偽リタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則
第三十三條 取引所ノ資本金、營業保證金、株式手数料及積立金ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 本法ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス
明治九年布告第百五號米商會所條例、明治十一年布告第八號株式取引所條例及明治二十年勅令第十一號取引所條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十五條 本法發布以前ヨリ營業スル米商會所、株式取引所及取引所ハ本法ニ依リ更ニ免許ヲ受ケ其ノ營業ヲ繼續シルコトヲ得但本法施行ノ日ヨリ三箇月以前ニ於テ出願ノ手續ヲ爲サシムルモノハ此ノ限ニアラス

(農商務大臣伯爵後藤象二郎君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(伯爵後藤象二郎君) 諸君、本案即チ取引所法案ヲ當議場ニ提出致シマシタ其所以ハ本案ノ理由書ニ大略記載シテゴザリマス、ソレ故ニ敢テ之ヲ詳細ニ述ブルコトハ致シマセヌ、本日ハ唯本案ノ制定ノ要旨ヲ述ベマスデゴザリマス、其一ニハ方針統一ノ必要ニ依リマシテ現行三條例ヲ統合一定スルガ一ノ趣意デゴザリマス、二ニハ諸慣習ノ調和ヲ圖リマシテ、即

チ三條例ノ規定ニ就イテ其害ヲ避ケ其弊ヲ防ギマシテ、之ヲ採擇一定シテ違由ノ便ヲ得セシメヤウト思ヒマス、第三ニ於キマシテハ人權物權等ニ關スル永久ノ事項ヲ規定致シマシテ、賣買取引ノ方法商業ノ發達ニ隨伴シテ市場ノ異動ニ應ジ……、ヲ要スル事項ハ唯其大綱領ノミヲ規定致シマシタ、手續順序ニ屬スルモノハ輕重ヲ計リマシテ勅令及定款ノ規定ニ委託致シマシタ、尙ホ本案ハ全國商業會議所ニ諮問ヲ致シマシテ、其諮問斟酌ヲ致シマシテ此案ヲ提出致シマシタ、何卒速ニ諸君ノ協賛セラレシムルコトヲ希望致シマス、尤モ此本案ニ就イテハ諸君モ御承知ノ通り隨分入組ミマシタモノデゴザリマスカラ、更ニ委員會ヲ御開キニナリマセウカラ其際ニ詳細ノ事ハ開陳致ス積リデアリマス

○中村彌六君(百六十九番) 私ハ農商務大臣ニ質問ヲ致シマス、簡單ニ質問ヲ述ベマスルデ一々之ニ答辯ヲ希望スルノデ、申ス迄モナク此ニ就テハ此條例ノ前ニ於テハ御承知モゴザリマス通り……、此營業滿期ヲ以テ……、其條例中ニ於テハ株式米商等ノ事ハ營業ガ……、故ニ此營業ノ年限ガ切レタ時ニ……、ト云フコトノ明文ニナラズ居ルノデアル、故ニ此營業ノ年限ガ切レタ時ニ……、イテ遺ルコトヲ……、即チ營業ノ延期ヲ許シタルノデアル、而シテ見ルト云フト……、即チ農商務大臣ノ意見ヲ以テ……、其條例ノ執行ヲ停止シタルカ……、果シテ斯様ナコトガ出來ルモノデアルハ此理由書ニハ若モ從來ノ方法即チ數百年來ノ沿革ヲ有シタモノヲ、其モノヲ一時ニ廢止スレバ、實際却テ其激變ニ因リ意外ノ影響ヲ商業上ニ及ボス斯ウ云フコトガアル、如何ナル影響ヲ商業上ニ及ボスデアルカ、ソレヲ承ハリタイノデアルガ、又其次ニハ今迄……、其條例ニ從テ出願シテ來タモノ……、唯僅カニ佐賀デアルトカ神戸デアルトカ云フ理由デアル、ソレカラシテ又此重ナル株主ト云フ者ハドウ云フ者カラ成立ツ御積リデアラウカ、即チ實業以外世ニ所謂紳商トカ云フ者ヨリ成立ツモノガ、之ヲ承ハリタイ、又此……、發布ノ當時ハ丁度今日ノ總理大臣タル伊藤ガ……、伊藤伯ガ居ラレタ時デアル、世ノ中ガ此……、其條例ニ對シテ反對スルニモ拘ラズ、元老院ノ議決ヲ經テ斷然之ヲ行フコトニシタノデアル、然ルニ其後黒田伯ガ農商務大臣ニ爲テ一年延期シタ、一年延期シタノハマダ準備ガ出來ヌト云フコトデアル、續イテ井上伯ガ出テ是モ三年ノ間營業年限ヲ延期シタ、又陸奥大臣ニ爲テ又二年、到頭折角ニ行ナタ所ノモノヲ斯様ナモノニシテ仕舞ツタ、今日ハ丁度皆此延期ヲシタ方モ……、其條例ノ斷行シタ方モ皆内閣ニ御願斷デアル、能ク是等ノ是ニ至リマシタ理由ヲ詳明ニ御説明アラシムコトヲ望ミマス、尙ホ箇條ガ……

○議長(星亨君) マダアルデスカ、ソレデスカ
○中村彌六君(百六十九番) イエ答ガアリマシタ後ニマダ段々出シマス
○議長(星亨君) ソナナラドウデスカ長イ途行ハ止メテ第一何第二何トシタラ、第一ニハ出サレルカ出サレナイカト云フサウニ聽イテ往タラ、第一ニハ全體斯ウ云フ法律ヲ延期シテ又出サレルカ出サレナイカト云フサウニ、サウ云フヤウニチヨイノ仰タナラバ早ク分ルデセウ

杖ヲ結紼モフカト云フ様ニ
ソレヲテノ所ハ前ノミリ
睨眄ミテ居リマフ

○農商務大臣(伯爵後藤象二郎君) 固コリぶるすト云フコトハ御説ノ通リ、外國ヘモ調ベニモ遣リ又日本ノ商業ノ因襲モ調ベマシテ段々其中ニ調ラ見タ所ガ、丸デぶるすノ此規則ノ通り用ヒルト云フコトハ、日本ノ歴史上カラ出来マセヌノデゴザイマス宜クナイデゴザイマス、ソレデ前ニモ斯ノ如キ調モシタ、併ナガラソレハぶるすデナクテハナラヌカラ、其ぶるすノコトガ分ラヌカラ外國ヘ問ヒニ遣タガ、必ズぶるすニスルト云フ定議モナカッタノデアル、ソレデソレ段々調ベテ見タ所ガ、即チ此法案ガ適當ノモノデヤト本大臣ハ信ジテ本案ヲ提出スル所以デゴザイマス

○栗谷品三君(六番) 今一言尋ネマスルガ、然ルニ兵庫縣ノ如キハぶるすヲ行ツタガ是ハ明治二十七年カラ行フト云フコトデアルガ、今日ぶるすヲ行ツテ居ル所ハドウナリマスカ

○農商務大臣(伯爵後藤象二郎君) 即チ唯今マデ行フテアル所モ或ハぶるすデナイ所モ、此法律案ガ諸君ノ賛同ヲ得マシテ、サウシテ其手續ヲ經テ發布シタ以上ハデス、新ニ此式ニ從ツテ願ヒ出ル様ニナリマス

○栗谷品三君(六番) ソレハ説明ニアリマスルガ……

○農商務大臣(伯爵後藤象二郎君) 説明デアリマセヌ、法律ノ條ニアル例モ時々其大臣ノ代ル度ニ其條例ノ其米商ノ頭取トカ株式ノ頭取トカ色々請願ヲシテソレガタメニソレガ流レテ、延期々々ト相成ツテ不都合ナ所ノ條例ニ今日ナツトルガ、若シ大臣ガ代ル度ニ若シ變リハ致シマセヌカ、ソレニ……(笑聲起ル)

○農商務大臣(伯爵後藤象二郎君) ソレハ無用ナ話デアルデ御答シマセヌガ、ソレ等ノコトニ就イテ本大臣ニ於テ此法律案ヲ出シ……

○議長(星亨君) 是ハ委員會ニ付スルコトニナリマスカラ、委員會ニ於テ質問シタ宜イト考ヘマス(贊成々々ト呼ブ者多シ) サウシタラドウデス(此時發言ヲ求ムル者多シ) 此處デ時ヲ費スヨリ成ルベク……(此時發言スル者多シ、特別委員ハ議長ノ指名ト呼ブ者アリ) サウ云フ様ナコトニスルト云フコトニシテ、質問ハ委員會ニスルマセウ

○中村彌六君(百六十九番) 私ハ委員ニ付託スル前ニ當ツテ委員ニ注意シテ置キタイコトガアル、ソレ故發言ヲ求メル……

○議長(星亨君) 今議シテ居リマス取引所ノ法案ハ之ヲ一應質問等ガ濟シデ仕舞ヒマシタ、而シテ第三ノ議事日程ニ移ツテ、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ヲ選舉スルト云フ條ニ移リマセウ

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○田中島雄君(二百五十二番) 委員ハ各部選舉
(贊成々々ト呼ブ者多シ)
(發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(星亨君) 六番
○栗谷品三君(六番) 今……

○中村彌六君(百六十九番) 委員ノ選舉ハ餘程諸君ガ注意シナケレバナラヌ、是ハ實ニ非常ナル……

○議長(星亨君) 中村サン貴方デアリマセヌ、六番ニ許シデアリマス

○中村彌六君(百六十九番) 前ニ通告シデアリマス
○議長(星亨君) 通告シデアッテモ貴方ニハ許シテ居ラナイ、六番ニ許シデアルノデゴザイマス

○中村彌六君(百六十九番) 請求シデアル者ニ許サナイト云フコトガナイ

○議長(星亨君) 許シデアナイ

○中村彌六君(百六十九番) 通告ガシデアル、通告シデアルカラ故ナクシテ止メルト云フコトハナイ

○議長(星亨君) 通告シデアッテモ通告ノ順序ガアリマス、此方ニ許シデアルカラ貴方ニ許ス譯ニナリマセヌ、御坐リニナラナケレバ私ハ考ヲ持ツテ居ル

○中村彌六君(百六十九番) ドンナ考カ知ラヌガ前ニ通告ガシデアル

○議長(星亨君) 通告ガシデアッタ所ガ、即チ此方ノ方ニ先キニ許シデアル以上ハ、坐ラナケレバナラヌ……六番

○栗谷品三君(六番) 本員ガ一言申シタイノハ、段々議長ノ指名ト云フノモアレバ、或ハ各部選舉ト云フコトモアリマスルガ、是ハ大分入り組ンダコトデ諸君ニモ心得ノ御方計リ出リヤエイレドモ、此ぶるすノ起リトカ或ハ米商條例ナド、云フモノハ、随分分リ惡イ品物ダ、依ツテ失敬ナガラ諸君ノ農家ノ金持計リデハ分ラナイ、ソレデドウカ相當ノ人ヲ選バネバナラヌト云フ大事件デアルト云フモノハ、名稱ト云フモノモぶるすトカ取引トカ云フデアリマスケレドモ、是ハ隨分諸方デ身代ヲ失フ者ガ幾ラモアル、依ツテ此事ハ氣ヲ付ケネバナラナイ品物ダ、依ツテドウカ議長ノ指名デソレ相應ノ人ヲ選ンデ、注意シテ議長ノ指名ニ願ヒタイ

(贊成々々ト呼ブ者多シ)

○中村彌六君(百六十九番) 私ハ議長ノ指名デナクテ、各部デ十分選舉シテ貰ヒタイ、如何トナレバ此條例ト云フモノハ已ニ七年ト云フモノガ實施ヲ妨ガラレテ居ルモノデアル、此間ニ於テドノ位弊害ガアリ、ドノ位ノコトガアツタト云フコトハ、ぶるすノ條例ヲ發行シタ當時ヨリ今日マデノ沿革其他ヲ見タラ能ク分ツテ居ル、ナカク輕々ニスベキコトデナイデアル、ソレ故ニ決シテ議長ノ指名ヲ拒ムデモ何デモナイガ、其所以アツテ議長ノ指名ヲ拒ムノデハナイガ、能ク各部ニ於テ三百人ノ代議士ヲ皆ドノ人ガドウデアルト云フコトガ相當デアラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 決ヲ採リマセウ、併シ唯諸君ニ御注意申スノハ議長ノ指名ニシヤウノ各部ニシヤウカ、七年間ノ問題ダカラシテ要用デアルニ就イテモ議長ノ指名ハ要用デナイ、輕イノガ議長ノ指名ダト云フ意味デハナイト考ヘマス、是ハ私ガ言ツテ置キマス、同ジコト、考ヘルノデ

即チ各部デ選舉スルト云フ說ガ先キニ出マシタカラソレカラ決ヲ採リマス、即チ各部ニ於テ選舉スルト云フ說ニ贊成ノ御方ハ、起立ナスツテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、依ツテ各部ノ選舉ト云フコトハ止マリマシタ、是ヨリ議長ノ指名ト云フノ決ヲ採リマセウ、議長ノ指名ト云フニ御贊成ノ方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス(此時鋤鋤ノ頭領ニハ分カリ惡イワイト呼

○議長(星亨君) 依ッテ議長ノ指名ニ致シマス、是ヨリ時間ニナリマシタガ即チマ御報道スルコトガゴザイマスカラ、御報道致シマス

(水野書記官長朗讀)

一政府ヨリ銀行條例及貯蓄銀行條例施行延期法律案ヲ提出セラレタリ
一右議案ニ付別紙要求アリタリ

銀行條例及貯蓄銀行條例施行延期法律案
右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也

明治二十五年十二月二十一日

内閣總理大臣臨時代理
内務大臣伯爵井上馨

衆議院議長星亨殿

○議長(星亨君) 明日ノ議事日程ヲ御報道申シマス

(水野書記官長朗讀)

議事日程 第十九號 明治二十五年十二月二十二日

午後一時開議

第一 豫算案

三時迄

第二 銀行條例及貯蓄銀行條例施行延期法律案

第一讀會

(政府提出緊急事件)

第三 外國工藝視察員派遣建議案(島田三郎君外三名提出)

三名提出)

第四 貯蓄銀行條例廢止法律案(小坂善之助君外一名提出)

一名提出)

第五 日本銀行課稅法案(石田貫之助君外三名提出)

三名提出)

第六 日本銀行條例改正案(石田貫之助君外三名提出)

三名提出)

第七 鑛業條例改正案(中村彌六君外四名提出)

四名提出)

第八 明治二十三年法律第八十四號改正案

登記法改正法律案

○議長(星亨君) 散會致シマス

午後六時三分散會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第二讀會

(特別委員
長報告)